



SigmaSystemCenter 2.0

**リファレンスガイド
Web コンソール編**

— 第 3 版 —

改版履歴

版数	改版	内容
1	2008.3	新規作成
2	2008.4	機能追加に伴い改版
3	2008.5	機能追加に伴い改版

Copyright © NEC Corporation 2003-2008. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。
本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。
本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。
日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標および著作権

SigmaSystemCenter、WebSAM、NetvisorPro、iStorageManager、ESMPRO、および EXPRESSBUILDER は日本電気株式会社の商標および登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Internet Explorer、および SQL Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Linux は Linux Travalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
SUSE は、米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標もしくは商標です。
Red Hat は、米国 Red Hat Software, Inc. の登録商標です。
HP-UX、Ignite-UX、および HP OpenView は、米国 Hewlett-Packard 社の登録商標です。
Intel、Pentium、Xeon、Itanium は、米国 Intel 社の登録商標です。
AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

EMC、Symmetrix、CLARiX、Navisphere は EMC Corporation の登録商標です。
VMware、ESX Server および VMotion は、VMware, Inc. の登録商標もしくは商標です。
Xen、Citrix、XenServer、XenCenter は、Citrix Systems, Inc. の登録商標もしくは商標です。

ORACLE は、米国 ORACLE Corporation の登録商標です。
PXE Software Copyright (C) 1997 - 2000 Intel Corporation.
Copyright (C) 2005, 2007, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.
(C) 1992-2007 Cisco Systems Inc. All rights reserved.
Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United States and other countries.
BIG-IP は米国および他の国における F5 Networks, Inc. の登録商標です。
InstallShield is a registered trademark and service mark of Macrovision Corporation and/or Macrovision Europe Ltd. in the United States and/or other countries.

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
Apache は、Apache Software Foundation の商標です。
本製品には、Sun Microsystems 社が無償で配布している JRE (Java Runtime Environment)、および、Apache Software Foundation が無償で配布している TOMCAT を含んでいます。これらの製品については、それぞれの製品の使用許諾に同意したうえでご利用願います。著作権、所有権の詳細につきましては以下の LICENSE ファイルを参照してください。
TOMCAT: TOMCAT をインストールしたフォルダ¥LICENSE
JRE: JRE をインストールしたフォルダ¥LICENSE

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under a Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。
なお、® マーク、TM マークは本書に明記していません。

目次

はじめに	vii
対象読者と目的	vii
本書の構成	vii
SigmaSystemCenter マニュアル体系	viii
本書の表記規則	x
1. Webコンソールの概要	3
1.1. Webコンソールの概要	4
1.1.1. ログインウィンドウ	7
1.1.2. 検索	8
1.1.3. マシンのステータス	10
1.1.4. マシンの種別	13
1.1.5. キャパシティ値、コスト値の設定	14
2. 管理	15
2.1. [管理] ビュー	16
2.2. [ライセンス] アイコン	16
2.3. [ユーザ] アイコン	18
2.4. ユーザの詳細情報	19
2.4.1. ユーザ追加	21
2.4.2. ユーザ編集	22
2.4.3. ユーザ削除	24
2.4.4. ロール追加	24
2.4.5. ロール編集	25
2.4.6. ロールにグループを割り当てる (ロール範囲編集)	26
2.4.7. ロール削除	27
2.5. [ポリシー] アイコン	28
2.6. ポリシーの詳細情報	28
2.6.1. ポリシー追加	29
2.6.2. 標準ポリシー複製	30
2.6.3. 標準ポリシー (仮想マシンサーバ) 複製	30
2.6.4. 標準ポリシー (省電力) 複製	30
2.6.5. ポリシー削除	30
2.7. ポリシープロパティ設定	31
2.7.1. 対応処置詳細設定	34
2.8. [サブシステム] アイコン	36
2.9. サブシステムの詳細情報	36
2.10. サブシステム追加	37
2.10.1. サブシステム追加 (VMware VirtualCenter)	38
2.10.2. サブシステム追加 (XenEnterprise Pool Master)	39
2.10.3. サブシステム追加 (Webサーバ for DPM)	40
2.10.4. サブシステム追加 (管理サーバ for DPM (HP-UX))	41
2.10.5. サブシステム追加 (SIGMABLADE controller)	42
2.10.6. サブシステム追加 (WebSAM NetvisorPro)	43
2.10.7. サブシステム追加 (スイッチブレード)	44
2.10.8. サブシステム追加 (ストレージ管理サーバ)	45
2.11. サブシステム編集	46
2.11.1. サブシステム編集 (VMware VirtualCenter)	46
2.11.2. サブシステム編集 (XenEnterprise Pool Master)	48
2.11.3. サブシステム編集 (Webサーバ for DPM)	50
2.11.4. サブシステム編集 (管理サーバ for DPM (HP-UX))	51

2.11.5.サブシステム編集 (SIGMABLADE controller)	53
2.11.6.サブシステム編集 (WebSAM NetvisorPro)	54
2.11.7.サブシステム編集 (スイッチブレード).....	55
2.11.8.サブシステム編集 (ストレージ管理サーバ).....	56
2.12. サブシステム削除	57
2.13. [環境設定] アイコン	58
2.13.1.[全般] タブ	58
2.13.2.[通報] タブ	59
2.13.3.[ログ] タブ.....	60
2.13.4.[仮想リソース] タブ	61
2.13.5.[表示] タブ	62
2.13.6.[その他] タブ	63
3. システムリソース.....	65
3.1. [リソース] ビュー.....	66
3.2. [マシン] アイコン.....	66
3.3. リソースグループ	68
3.4. リソースグループの詳細情報	68
3.4.1.リソースグループ追加	69
3.4.2.リソースグループ編集	70
3.4.3.リソースグループ移動	71
3.4.4.リソースグループ削除	71
3.5. ラック	72
3.6. ラックの詳細情報	72
3.6.1.ラック追加.....	73
3.6.2.ラック編集.....	74
3.6.3.ラック移動.....	75
3.6.4.ラック削除.....	75
3.7. マシンの詳細情報	76
3.7.1.マシン登録	78
3.7.2.マシン移動	80
3.7.3.マシン管理外	81
3.8. マシンプロパティ設定	82
3.8.1.[全般] タブ	82
3.8.2.[ネットワーク] タブ	84
3.8.3.[ストレージ] タブ	86
3.8.4.[ソフトウェア] タブ	88
3.8.5.[配布済みソフトウェア] タブ.....	90
3.9. [ストレージ] アイコン	91
3.10. ストレージの詳細情報	92
3.10.1.ディスクアレイとディスクボリューム登録	93
3.10.2.ディスクボリューム共有	94
3.10.3.ディスクボリューム非共有	94
3.10.4.ディスクボリューム解除	94
3.10.5.ストレージ解除.....	94
3.11. [ネットワークデバイス] アイコン	95
3.12. スイッチの詳細情報	96
3.12.1.スイッチ登録.....	97
3.12.2.スイッチ編集.....	98
3.12.3.スイッチ解除.....	98
3.12.4.スイッチブレード登録.....	99
3.12.5.VLAN追加.....	100
3.12.6.VLAN編集.....	102
3.12.7.VLAN削除.....	103
3.13. ロードバランサの詳細情報	104
3.13.1.ロードバランサ登録.....	105

3.13.2.ロードバランサ編集	106
3.13.3.ロードバランサ解除	107
3.13.4.ロードバランサグループ追加	108
3.13.5.ロードバランサグループ編集	110
3.13.6.ロードバランサグループ削除	111
3.14. [ソフトウェア] アイコン	112
3.15. ソフトウェアの詳細情報	114
3.15.1.ソフトウェア編集	116
3.15.2.ローカルスクリプト追加	119
3.15.3.ローカルスクリプト削除	119
3.16. リソースグループへのメニュー操作	120
3.16.1.起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン	120
3.16.2.指定ソフトウェア配布	120
3.16.3.ジョブ実行結果のリセット	121
3.16.4.故障状態の解除	121
3.16.5.メンテナンスモードオン / メンテナンスモードオフ	122
3.16.6. 収集	122
4. 運用	123
4.1. [運用] ビュー	124
4.2. カテゴリ	126
4.3. カテゴリの詳細情報	126
4.3.1.カテゴリ追加	127
4.3.2.カテゴリ編集	128
4.3.3.カテゴリ移動	129
4.3.4.カテゴリ削除	129
4.4. 運用グループ	130
4.5. 運用グループの詳細情報	130
4.5.1.運用グループ追加	133
4.5.2.運用グループ編集	134
4.5.3.運用グループ移動	135
4.5.4.運用グループ削除	135
4.6. グループプロパティ設定	136
4.6.1.[全般] タブ	136
4.6.2.[モデル] タブ	138
4.6.3.[ホスト] タブ	140
4.6.4.[ソフトウェア] タブ	142
4.6.5.[VLAN設定] タブ	144
4.6.6.[LB設定] タブ	146
4.6.7.[OS設定] タブ (Windowsの場合)	148
4.6.8.[OS設定] タブ (Linuxの場合)	150
4.6.9.[OS設定] タブ (HP-UXの場合)	151
4.7. モデルプロパティ設定	152
4.7.1.[全般] タブ (物理マシンの場合)	152
4.7.2.[全般] タブ (仮想マシンの場合)	154
4.7.3.[全般] タブ (仮想マシンサーバの場合)	156
4.7.4.[ソフトウェア] タブ	158
4.7.5.[ネットワーク] タブ (仮想マシンの場合)	160
4.7.6.[VM最適配置] タブ (仮想マシンサーバの場合)	161
4.8. ホストの詳細情報	162
4.9. ホスト設定	164
4.9.1.[全般] タブ	164
4.9.2.[ネットワーク] タブ	166
4.9.3.[ストレージ] タブ	169
4.9.4.[ソフトウェア] タブ	171
4.10. 運用グループへのメニュー操作	173

4.10.1.スケールアウト.....	173
4.10.2.スケールイン	173
4.10.3.プールに追加	173
4.10.4.起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド.....	174
4.10.5.リソース割り当て.....	175
4.10.6.新規リソース割り当て.....	178
4.10.7.割り当て解除.....	179
4.10.8.マスタマシン登録.....	180
4.10.9.マシンの置換.....	182
4.10.10.マシンの用途変更.....	183
4.10.11.VM移動.....	184
4.10.12.ソフトウェア配布 ([ホスト一覧] グループボックス).....	186
4.10.13.ソフトウェア配布 ([リソースプール] グループボックス).....	188
4.10.14.ソフトウェア再配布	189
4.10.15.ジョブ実行結果のリセット.....	190
4.10.16.故障状態の解除.....	190
4.10.17.メンテナンスオン / メンテナンスオフ.....	190
4.10.18.プールから削除	191
5. 仮想.....	193
5.1. [仮想] ビュー.....	194
5.2. [仮想] アイコン	194
5.3. 仮想マネージャの詳細情報.....	195
5.4. データセンターの詳細情報.....	198
5.4.1.データセンター追加.....	200
5.4.2.データセンター編集.....	201
5.4.3.データセンター削除.....	201
5.5. VMサーバの詳細情報	202
5.5.1.VMサーバ編集.....	206
5.5.2.VM作成 (テンプレート).....	207
5.6. VMの詳細情報.....	208
5.6.1.VM編集.....	210
5.6.2.VM移動.....	212
5.6.3.VM削除.....	213
5.6.4.テンプレート作成.....	214
5.6.5.テンプレート編集.....	216
5.6.6.テンプレート削除.....	217
5.7. 仮想マシンサーバおよび仮想マシンへのメニュー操作.....	218
5.7.1.起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシンサーバ).....	218
5.7.2.起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシン).....	218
6. 監視.....	219
6.1. [監視] ビュー.....	220
6.2. [ダッシュボード] アイコン.....	220
6.3. [運用ログ] アイコン.....	222
6.4. [ジョブ] アイコン.....	224
6.5. [管理サーバ群] アイコン.....	226
6.5.1.管理サーバ追加.....	228
6.5.2.管理サーバ編集.....	230
6.5.3.管理サーバ削除.....	231
7. 構成情報管理.....	235
7.1. 構成情報管理画面	236

はじめに

対象読者と目的

「SigmaSystemCenter リファレンスガイド～Web コンソール編～」は、SigmaSystemCenter の管理者を対象に、SigmaSystemCenterの構築時、運用時に理解しておくべき製品の画面の説明について記載しています。「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」を補完する役割を持ちます。SigmaSystemCenter の構築時、運用時に必要な情報を参照してください。

本書の構成

セクション I Webコンソール一覧

- 1 「Webコンソールの概要」: Webコンソールの各名称および概要について説明します。
- 2 「管理」: SigmaSystemCenterの [管理] ビューのWebコンソールについて説明します。
- 3 「システムリソース」: SigmaSystemCenterの [リソース] ビューのWebコンソールについて説明します。
- 4 「運用」: SigmaSystemCenterの [運用] ビューのWebコンソールについて説明します。
- 5 「仮想」: SigmaSystemCenterの [仮想] ビューのWebコンソールについて説明します。
- 6 「監視」: SigmaSystemCenterの [監視] ビューのWebコンソールについて説明します。

セクション II Webコンソール以外の設定

- 7 「構成情報管理」: Webコンソール以外での設定に関する画面について説明します。

SigmaSystemCenter マニュアル体系

SigmaSystemCenter のマニュアルは、各製品およびコンポーネントごとに以下のように構成されています。

また、本書内では、各マニュアルは「本書での呼び方」の名称で記載されます。

製品 / コンポーネント名	マニュアル名	本書での呼び方
SigmaSystemCenter	SigmaSystemCenter 2.0 ファーストステップガイド	SigmaSystemCenter ファーストステップガイド
	SigmaSystemCenter 2.0 インストールガイド	SigmaSystemCenter インストールガイド
	SigmaSystemCenter 2.0 コンフィグレーションガイド	SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド
	SigmaSystemCenter 2.0 リファレンスガイド	SigmaSystemCenter リファレンスガイド
ESMPRO/ServerManager 4.41	ESMPRO/ServerManager Ver.4.4 インストールガイド	ESMPRO/ServerManager インストールガイド
	ESMPRO サーバ管理ガイド	ESMPRO サーバ管理ガイド
WebSAM DeploymentManager 5.1	WebSAM DeploymentManager Ver5.1 ユーザーズガイド 導入編	DeploymentManager ユーザーズガイド導入編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.1 ユーザーズガイド 基本操作編	DeploymentManager ユーザーズガイド基本操作編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.1 ユーザーズガイド 応用編	DeploymentManager ユーザーズガイド応用編
	WebSAM DeploymentManager Ver5.1 ユーザーズガイド PackageDescriber編	DeploymentManager ユーザーズガイド PackageDescriber編
	パッケージビルダマニュアル	DeploymentManager パッケージビルダマニュアル
WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) R1.4.3	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド (導入編)	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド導入編
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド (機能編)	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド機能編
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) 操作マニュアル	DeploymentManager (HP-UX版) 操作マニュアル
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド エラーメッセージ集	DeploymentManager (HP-UX版) ユーザーズガイド エラーメッセージ集
	WebSAM DeploymentManager (HP-UX版) R1.4.3 リリースメモ	DeploymentManager (HP-UX版) リリースメモ
SystemMonitor性能監視 4.0	SystemMonitor性能監視 ユーザーズガイド	SystemMonitor性能監視 ユーザーズガイド
	SigmaSystemCenter クラスタ構築資料 第4版	SigmaSystemCenter クラスタ構築資料

製品 / コンポーネント名	マニュアル名	本書での呼び方
SIGMABLADE controller 1.1	SigmaSystemCenter SIGMABLADE controller セットアップカード	SIGMABLADE controller セットアップカード
	SigmaSystemCenter SIGMABLADE controller ユーザーズガイド	SIGMABLADE controller ユーザーズガイド

SigmaSystemCenter の製品概要、インストール、設定、運用、保守に関する情報は、以下の4つのマニュアルに含みます。各マニュアルの役割を以下に示します。

「SigmaSystemCenter ファーストステップガイド」

SigmaSystemCenter を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、システム設計方法、動作環境などについて記載します。

「SigmaSystemCenter インストールガイド」

SigmaSystemCenter のインストール、アップグレードインストール、およびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」

インストール後の設定全般を行うシステム管理者と、その後の運用・保守を行うシステム管理者を対象読者とし、インストール後の設定から運用に関する操作手順を実際の流れに則して説明します。また、保守の操作についても説明します。

「SigmaSystemCenter リファレンスガイド」

SigmaSystemCenter の管理者を対象読者とし、SigmaSystemCenter の機能説明、操作画面一覧、操作方法、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報などを記載します。「SigmaSystemCenter インストールガイド」および「SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド」を補完する役割を持ちます。

本書の表記規則

本書では、注意すべき事項、重要な事項、および関連情報を以下のように表記します。

注: は、機能、操作、および設定に関する注意事項、警告事項、および補足事項です。

関連情報: は、参照先の情報の場所を表します。

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[] 角かっこ	画面に表示される項目 (テキストボックス、チェックボックス、タブなど) の前後	[コンピュータ名] にコンピュータ名を入力します。 [すべて] チェックボックス
「 」 かぎかっこ	画面名 (ダイアログボックス、ウィンドウなど)、他のマニュアル名の前後	「設定」ウィンドウ 「インストールガイド」
コマンドライン中の [] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	add [/a] Gr1
モノスペースフォント (courier)	コマンドライン、システムからの出力 (メッセージ、プロンプトなど)	以下のコマンドを実行してください。 replace Gr1
モノスペースフォント斜体 (courier)	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目 値の中にスペースが含まれる場合は " " (二重引用符) で値を囲ってください。	add <i>GroupName</i> InstallPath=" <i>Install Path</i> "

セクション I Web コンソール一覽

このセクションでは、SigmaSystemCenter の Web コンソールの説明や SigmaSystemCenter の Web コンソールの各項目の一覽を記載します。

• 1	Webコンソールの概要.....	3
• 2	管理.....	15
• 3	システムリソース	65
• 4	運用.....	123
• 5	仮想.....	193
• 6	監視.....	219

1. Web コンソールの概要

SigmaSystemCenter の Web コンソールの各名称および概要について説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 1.1 Webコンソールの概要4

1.1. Web コンソールの概要

Web コンソールを使用して、管理対象マシンの操作やグループ管理など様々な操作を行うことができます。

Web コンソールは、以下の 5 つのパーツから構成されています。



(1) タイトルバー

Web コンソール上部には常にタイトルバーが表示されています。

タイトルバーは、検索機能、メインメニュー、アカウント管理機能から構成されています。

- ユーザ名
ログインしているユーザ名およびユーザの役割 (権限) を表示します。

- アカウント管理機能
ログインしているユーザのパスワードを変更できます。

ユーザのパスワード変更	
古いパスワード (入力必須)	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード (入力必須)	変更するパスワードを入力します。入力できる文字はスペースを除く半角英数字、文字数は128文字以内です。
パスワード (確認用) (入力必須)	確認のため再度同じパスワードを入力します。
[OK]	パスワード情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	パスワード情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

- ログアウト
SystemProvisioning からログアウトします。
- メインメニュー
各メニューをクリックすると、ツリービューおよびメインウィンドウの表示を切り替えることができます。
- 検索機能
マシンの検索ができます。検索機能の詳細は、「1.1.2 検索」を参照してください。

(2) ツリービュー

メインメニューをクリックすることにより、ツリービューが切り替わります。

ツリービューのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに詳細情報、[設定] メニューおよび [操作] メニューが表示され、操作を進めることができます。

(3) メインウィンドウ

SystemProvisioning のメインウィンドウです。

- グループボックス

グループボックスは、メインウィンドウに表示される詳細情報、各一覧表示ボックスを指します。



(4) [設定] メニュー、[操作] メニュー

対象リソースの設定を管理するためのメニューです。メニューの内容は、操作の状態によって異なります。メニューで行う操作は、ツリービューで選択したビュー内のすべてのリソースに対して行うことができます。

(5) [アクション] メニュー

[アクション] メニューとは、各グループボックス内にあるメニューおよびプルダウンボックスのことを指し、指定の対象リソースの操作を行うためのメニューです。

メインウィンドウに表示されるグループボックス内のリストから操作する対象リソースを選択し、[アクション] メニューの操作を実行します。

[アクション] メニューで行う操作は、各グループボックスでチェックボックスを選択したリソースに対して行うことができます。

1.1.1. ログインウィンドウ

SystemProvisioning の Web コンソールを起動すると表示されます。
ユーザ名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

注: 初めてログインする場合は、ユーザ名およびパスワードに “admin” を入力してください。
また、管理者権限を持つ任意のユーザを 1 つ以上登録すると、初期ユーザは使用できなくなります。

SigmaSystemCenter ログイン	
ユーザ名 (入力必須)	ユーザ名を入力します。
パスワード (入力必須)	パスワードを入力します。
次回からユーザ名の入力を省略	チェックボックスをオンにすると、次回起動する場合にユーザ名の入力を省略できます。
[ログイン]	ユーザ名、パスワードを確認し、SystemProvisioningにログインします。

1.1.2. 検索

マシンの検索を行います。

タイトルバーのテキストボックスにマシン検索のキーワードを入力し、[検索] をクリックします。



マシン検索	
(テキストボックス) (入力必須)	マシンを検索するキーワードとなる文字列を入力します。マシンを検索するキーワードに関しては以下に記載します。
[検索]	マシン検索で入力された情報を元にマシンを検索します。
全てのマシン (未稼働マシン、管理対象外マシンを含む)	未稼働マシン、管理対象外マシンを含むすべてのマシンを検索する場合、チェックボックスをオンにします。
検索結果一覧	
表示件数	検索結果一覧の表示件数を選択できます。
マシン名	検索で該当したマシン名を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
グループ名	マシンが所属しているグループ名を表示します。
ホスト名	ホスト名を表示します。
IP アドレス	マシンのIPアドレスを表示します。
≤	前のページの検索結果一覧に遷移します。
≥	次のページの検索結果一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページの検索結果一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページの検索結果一覧に遷移します。
(テキストボックス)	検索結果一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定された検索結果一覧のページに遷移します。

マシン検索のキーワードについては、以下のキーワードを入力することができます。

検索キーワード		例
マシン名、ホスト名		OLIVE12
MACアドレス		00:00:4C:71:CE:17
UUID		50281E7B-4547-6463-07CE-F10EFAFA7201
サマリステータス		NORMAL (正常に稼動しているマシン) ERROR (異常が発生しているマシン) WARNING (警告状態のマシン) MAINTENANCE (メンテナンス中のマシン) EXECUTE (処理中のマシン)
IPアドレス	単独指定	192.168.10.1
	範囲指定 ※1	192.168.10.1 - 192.168.10.100

※1 IPアドレス + 半角空白 + 半角ハイフン + 半角空白 + IPアドレス

1.1.3. マシンのステータス

SystemProvisioning は、マシンごとに以下のようなステータス情報を管理します。

Web コンソールでは、一覧表示やマシン、ホストの詳細情報にて、状態 (サマリステータス)、電源状態、稼動ステータス、OS ステータス、ハードウェアステータス、実行ステータス、ポリシー状態、メンテナンスステータス、SystemProvisioning の管理状態を表示、管理します。

◆ サマリステータス

マシンのサマリ状態 (ハードウェアステータスの異常、実行ステータスの異常終了などをまとめたステータス) を表示、管理します。

状態	説明
正常	障害が発生していない状態です。
異常 異常 (異常終了) 異常 (異常終了、故障) 異常 (異常終了、一部故障) 異常 (故障) 異常 (一部故障)	重大な障害が発生し、マシンは停止しています。
警告	縮退など一部機能で障害が発生しましたが、マシンは稼動している状態です。
処理中	マシンに対する構成変更などの操作を実行中です。
メンテナンス中	マシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。
待機中 (プール)	グループで稼動する準備段階として待機している状態です。
管理外	SystemProvisioningは、マシンとして認識していますが、管理対象にしている状態です。
—	グループで待機しているなどで、ステータスが取得できない状態です。

◆ 電源状態

マシンへの接続状態を表示、管理します。

状態	説明
On	管理対象マシンの電源がオンの状態です。
Off	管理対象マシンの電源がオフの状態です。
サスペンド	管理対象マシンの電源が一時停止の状態です。 (仮想マシンの場合のみ表示されます)
—	管理対象マシンの電源が不明の状態です。

注:

- ・ 管理対象マシンの電源が On の状態でも、連携ソフトウェアから管理対象マシンの状態を取得できない場合は、Off と表示されます。
- ・ "サスペンド" の仮想マシンに対して移動や追加などの操作を行う場合、必ず事前に "サスペンド" を Web コンソールなどから起動操作でレジュームしてください。仮想マシンの電源状態が "サスペンド" の場合、電源操作に失敗するため正常に動作しない場合があります。

◆ 稼動ステータス

マシンがグループでホストに割り当てられて稼動している状態を表示、管理します。

状態	説明
On	グループで稼動中です。
Off	グループで稼動していない状態です。

◆ OS ステータス

マシンにインストールされた OS の状態を表示、管理します。

状態	説明
On	OSが正常に稼動しています。
Off	シャットダウンなどでOSが停止している状態です。

◆ ハードウェアステータス

マシンのハードウェア状態を表示、管理します。

状態	説明
正常	障害が発生していない状態です。
故障	重大な障害が発生し、マシンは停止しています。
一部故障	縮退など一部機能で障害が発生しましたが、マシンは稼動している状態です。
—	ハードウェア状態を管理していません。

“故障”、“一部故障” は ESMPRO などの監視機能で検出し、SystemProvisioning に通報された場合、ポリシーより設定できるステータスです。

◆ 実行ステータス

マシンのアクション実行状態を表示、管理します。

状態	説明
処理中	マシンに対する構成変更などの操作を実行中です。
異常終了	マシンに対する構成変更などの操作が異常終了した状態です。
—	構成変更は行われていない、または実行したアクションが正常に終了した状態です。

◆ ポリシーステータス

イベント通報処理などで SystemProvisioning 内部にて管理する状態です。

状態	説明
全て有効	受信したイベントに対してポリシーが割り当てられている場合、ポリシーが実行されます。
全て無効	既にポリシーが実行されている状態で、この状態の間はイベントを受信してもポリシーは動作しません。
一部有効	既にポリシーが実行されている状態で、電源操作のイベント（起動、シャットダウンなど）のみ無効とし、ポリシー動作を行いません。電源操作以外のイベント受信時は、ポリシーを実行します。

◆ メンテナンスステータス

マシンの保守状態を表示、管理します。

状態	説明
On	マシンがメンテナンスモードに設定されている状態です。
Off	運用で利用できる状態です。

◆ 管理状態

SystemProvisioning での処理状態を表示、管理します。

状態	説明
管理中	マシンが運用で利用できる状態です。
管理外	SystemProvisioningはマシンとして認識していますが、管理対象としていない状態です。

1.1.4. マシンの種別

SystemProvisioning で管理するマシンの種別は以下となります。

種別	説明
Unitary	管理サーバ for DPM (Windows/Linux) にて一般マシンのグループに管理されているマシン、および、管理サーバ for DPM (HP-UX) で管理されているマシンです。
Blade	管理サーバ for DPM (Windows/Linux) にてBladeサーバグループに管理されているマシンです。
SigmaBlade	SIGMABLADE controllerが管理しているマシンです。管理サーバ for DPM (Window / Linux) にて同じマシンが登録 / 管理されている場合でも “SigmaBlade” と表示されます。 ("Unitary"、"Blade" とは表示されません。)
VMware、VM Server	VMWare VirtualCenterが管理する仮想マシンサーバです。 他のサブシステムに同じマシンが登録 / 管理されている場合、以下のように併記して表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Unitary,VMware,VMServer ・ Blade,VMware,VMServer ・ SigmaBlade,VMware,VMServer
Xen、VM Server	XenEnterprise Pool Masterが管理する仮想マシンサーバです。 他のサブシステムに同じマシンが登録 / 管理されている場合、以下のように併記して表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Unitary,Xen,VMServer ・ Blade,Xen,VMServer ・ SigmaBlade,Xen,VMServer
VMware、Virtual Machine	VMware VirtualCenterが管理する仮想マシンです。
Xen、Virtual Machine	XenEnterprise Pool Masterが管理する仮想マシンです。
Unknown	サブシステムとの連携解除などにより種別が不明となったマシンです。

1.1.5. キャパシティ値、コスト値の設定

キャパシティ値とコスト値は、Web コンソールの以下のウィンドウから指定できます。

ダイアログ	値	説明
「環境設定」の [仮想リソース] タブ	キャパシティ値	SystemProvisioningで使用するキャパシティ値の初期値を指定します。
「VMサーバ編集」	キャパシティ値	該当仮想マシンサーバのキャパシティ値を指定します。キャパシティ値は仮想マシンサーバに設定する値であり仮想マシンサーバ上に稼動可能な仮想マシンのコスト値の合計を表します。
「環境設定」の [仮想リソース] タブ	コスト値	SystemProvisioningで使用するコスト値の初期値を指定します。
「テンプレート作成」または「テンプレート編集」	コスト値	テンプレートから作成された仮想マシンが使用する仮想マシンのコスト値の初期値を指定します。
「VM編集」	コスト値	仮想マシンのコスト値を指定します。未使用仮想マシンの初期値は0、テンプレートから作成された仮想マシンの初期値はテンプレートで指定されたコスト値です。コスト値は仮想マシンに設定する値であり仮想マシンが必要とするコストを数値で表します。

2. 管理

[管理] ビューでは、SigmaSystemCenterのライセンス、ユーザ、ポリシー、サブシステムおよび環境の設定および管理の説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

•	2.1	[管理] ビュー	16
•	2.2	[ライセンス] アイコン	16
•	2.3	[ユーザ] アイコン	18
•	2.4	ユーザの詳細情報	19
•	2.5	[ポリシー] アイコン	28
•	2.6	ポリシーの詳細情報	28
•	2.7	ポリシープロパティ設定	31
•	2.8	[サブシステム] アイコン	36
•	2.9	サブシステムの詳細情報	36
•	2.10	サブシステム追加	37
•	2.11	サブシステム編集	46
•	2.12	サブシステム削除	57
•	2.13	[環境設定] アイコン	58

2.1. [管理] ビュー

[管理] ビューでは、SigmaSystemCenter のライセンス、ユーザ、ポリシー、サブシステムおよび環境の設定および管理することができます。

タイトルバーの [管理] をクリックすると、[管理] ビューに切り替わります。



2.2. [ライセンス] アイコン

SigmaSystemCenter のエディションライセンス、OS のライセンス登録や削除を行います。製品に添付されているライセンスキーシートに記載のライセンスキーを登録します。

[管理] ツリーから [ライセンス] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにライセンスの詳細情報が表示されます。



エディション情報	
エディション	SigmaSystemCenterのエディション名を表示します。
バージョン	SigmaSystemCenterのバージョンを表示します。
最大管理台数	SigmaSystemCenterの管理できるマシンの最大管理台数を表示します。
オプション	SigmaSystemCenterで使用できるオプションを表示します。
有効期限	エディションライセンスの有効期限を表示します。
ターゲット OS ライセンス	
OS 種別	登録されているライセンスのOSの種類を表示します。
管理可能台数	登録されているOSライセンスの管理可能台数を表示します。
消費台数	既に使用しているライセンスの台数を表示します。
ライセンス個別情報	
(チェックボックス)	ライセンス個別情報を選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのライセンス個別情報が選択されます。
ライセンスキー	登録されているライセンスキーを表示します。
オプション	ライセンスのオプション情報を表示します。
OS 種別	登録されているライセンスのOSの種類を表示します。
ライセンス数	登録されているライセンス数を表示します。
削除	選択したライセンス個別情報を削除します。
ライセンスキー (入力必須)	ライセンスキーを入力します。
[追加]	入力したライセンスキーを追加します。ライセンス追加後、SystemProvisioningを再起動する必要があります。SystemProvisioningの再起動については、「SigmaSystemCenterコンフィグレーションガイド」の「1.1.2. SystemProvisioningを再起動するには」を参照してください。

注: [ライセンス個別情報] グループボックスは、管理者権限を持つ Administrator ユーザの場合のみ表示されます。

2.3. [ユーザ] アイコン

SigmaSystemCenter を使用するユーザのアカウントおよびロールを管理します。

各ユーザアカウントには権限を設定する必要があります。設定された権限によって SigmaSystemCenter の利用範囲が制限されます。

権限は以下の 3 種類があります。

Administrator	SigmaSystemCenterの設定、変更、マシンの起動・停止など操作のすべてを行うことができます。
Operator	SigmaSystemCenterの設定、変更はできません。マシンの起動・停止などマシンの操作はできます。
Observer	SigmaSystemCenterの設定、変更はできません。また、マシンの起動・停止などマシンの操作もできません。マシンの稼働状況など参照はできます。

注: カテゴリ単位のアクセス制限を行う場合、カテゴリにロールを設定します。ロールが設定されたカテゴリにアクセスさせたいユーザアカウントは、そのロールを割り当てる必要があります。

2.4. ユーザの詳細情報

[ユーザー一覧] グループボックス、[ローラー一覧] グループボックスに SigmaSystemCenter を使用するユーザの一覧およびロールの一覧を表示します。

[管理] ツリーから [ユーザ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにユーザの詳細情報が表示されます。



ユーザー一覧	
表示件数	ユーザー一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	ユーザを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのユーザが選択されます。
ユーザ	ユーザ名を表示します。
権限	ユーザの持つ権限を表示します。
説明	ユーザの説明を表示します。
編集	[編集] アイコンをクリックすると、ユーザ情報の編集を行います。「ユーザ編集」ウィンドウに遷移します。
追加	ユーザの追加を行います。「ユーザ追加」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したユーザを削除します。
≪	前のページのユーザー一覧に遷移します。
≫	次のページのユーザー一覧に遷移します。
≪≪	先頭ページのユーザー一覧に遷移します。
≫≫	末尾ページのユーザー一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ユーザー一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたユーザー一覧のページに遷移します。
ローラー一覧	
表示件数	ローラー一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	ロールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロールが選択されます。

ロール名	ロール名を表示します。
権限	ロールの持つ権限を表示します。
グループ名	ロールを割り当てたカテゴリ名を表示します。
編集	[編集] アイコンをクリックすると、ロール情報の編集を行います。「ロール編集」ウィンドウに遷移します。
追加	ロール追加を行います。「ロール追加」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したロールを削除します。
≪	前のページのロール一覧に遷移します。
≫	次のページのロール一覧に遷移します。
≪≪	先頭ページのロール一覧に遷移します。
≫≫	末尾ページのロール一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ロール一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたロール一覧のページに遷移します。

2.4.1. ユーザ追加

SigmaSystemCenter を使用するユーザの追加を行います。

ユーザの詳細情報の [ユーザー一覧] グループボックスから [追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ユーザ追加」が表示されます。

ユーザ追加	
ユーザ名 (入力必須)	新規に追加するユーザ名を入力します。入力できる文字は任意の文字列 (“*”, “+”, “;”, “/”, “:”, “.”, “<”, “=”, “>”, “?”, “¥”, “ ” を除く)、文字数は32文字以内です。既に存在するユーザ名を入力すると、追加時にエラーになります。
パスワード (入力必須)	ユーザのパスワードを入力します。入力できる文字はスペースを除く半角英数字および記号、文字数は128文字以内です。
パスワード (確認用) (入力必須)	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	ユーザの説明を入力します。入力できる文字数は128文字以内です。
権限レベル	ユーザの権限レベルを選択します。ユーザの権限は、“Administrator”、“Operator”、“Observer” の3種類があります。
[OK]	ユーザ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ユーザ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.2. ユーザ編集

SigmaSystemCenter を使用するユーザの編集を行います。

ユーザの詳細情報の [ユーザー一覧] グループボックスから [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ユーザ編集」が表示されます。

ユーザ編集	
ユーザ名	ユーザ名を表示します。編集はできません。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。入力できる文字はスペースを除く半角英数字および記号、文字数は128文字以内です。
パスワード (確認用)	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	ユーザの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は128文字以内です。
権限レベル	ユーザの権限レベルを表示します。編集はできません。
ロール一覧	
(チェックボックス)	ロールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロールが選択されます。
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	ロールの持つ権限レベルを表示します。
設定グループ	ロールを設定したカテゴリ名を表示します。

	追加	ロール追加を行います。[ローラー覧] グループボックスの下部に追加可能なロールの [ローラー覧] グループボックスが表示されます。
	削除	選択したロールを削除します。
[OK]		ユーザ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]		ユーザ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ローラー覧] グループボックス下部に、追加可能なロールの [ローラー覧] グループボックスが表示されます。

The screenshot shows a web interface for user management. At the top, it says '管理 > ユーザ > pvm'. Below that is a 'ユーザ編集' (User Edit) form with fields for 'ユーザ名' (pvm), 'パスワード更新' (checkbox), 'パスワード', 'パスワード(確認用)', '説明', and '権限レベル' (Administrator). Below the form is a 'ローラー覧' (Roles List) section. It contains a table with columns: 'Role Name', 'Permission Level', and 'Setting Group'. The table has one row: 'Role1', 'Administrator', 'Category1'. There are '追加' (Add) and '削除' (Delete) buttons for each row, and 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom of the section.

ローラー覧	
(チェックボックス)	ロールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロールが選択されます。
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	ロールの持つ権限レベルを表示します。
設定グループ	ロールを設定したカテゴリ名を表示します。
[OK]	ロール追加情報を保存し、上の [ローラー覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ロール追加情報を保存せずに、上の [ローラー覧] グループボックスを閉じます。

注：ユーザに追加するロールは、ユーザの権限と同じ権限のものを選択してください。

2.4.3. ユーザ削除

SigmaSystemCenter で使用しているユーザを削除します。

[ユーザー一覧] グループボックスから削除するユーザのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

2.4.4. ロール追加

SigmaSystemCenter でユーザにアクセス権限を割り当てるためのロールを追加します。カテゴリの単位でロール（役割）を設定し、ユーザアカウントに対してロールを割り当てることにより、カテゴリ単位でのアクセス権限を設定することができます。

ユーザの詳細情報の [ロール一覧] グループボックスから [追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ロール追加」が表示されます。

ロール追加	
ロール名	新規に追加するロール名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。既に存在するロール名を入力すると、追加時にエラーになります。
権限レベル	ロールの権限レベルを選択します。ロールの権限は、「Administrator」、「Operator」、「Observer」の3種類があります。
説明	ロールの説明を入力します。入力できる文字数は128文字以内です。
[OK]	ロール追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロール追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.5. ロール編集

SigmaSystemCenter でユーザにアクセス権限を割り当てるためのロールを編集します。カテゴリの単位でロール（役割）を設定し、ユーザアカウントに対してロールを割り当てることにより、カテゴリ単位でのアクセス権限を設定することができます。

ユーザの詳細情報の [ロール一覧] グループボックスから [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ロール編集」が表示されます。

表示されたロールを既にグループ（カテゴリ）に割り当てている場合、[カテゴリー一覧] グループボックスにそのカテゴリ名が表示されます。

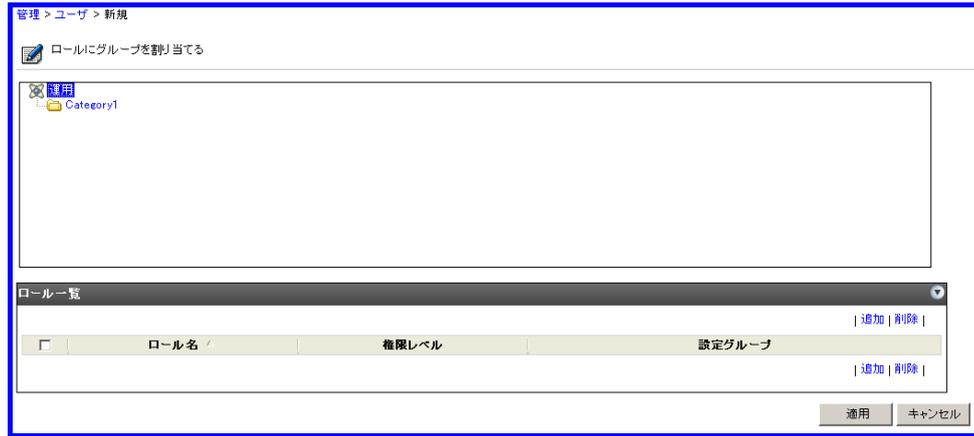
ロール編集	
ロール名	ロール名を表示します。編集はできません。
権限レベル	ロールの権限レベルを表示します。変更はできません。
説明	ロールの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は128文字以内です。
カテゴリー一覧	
名前	カテゴリ名を表示します。
説明	カテゴリの説明を表示します。
[OK]	ロール編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロール編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.4.6. ロールにグループを割り当てる (ロール範囲編集)

ロールにグループを割り当てます。

割り当て可能なグループは、最上位のカテゴリのみ割り当てることができます。

[設定] メニューから [ロール範囲編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ロールにグループを割り当てる」が表示されます。



ロールにグループを割り当てる	
運用	ロールを割り当てるカテゴリを選択します。
ロール一覧	
(チェックボックス)	ロールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロールが選択されます。
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	権限レベルを表示します。
設定グループ	設定グループを表示します。
追加	ロールを追加します。[ロール一覧] グループボックスの下部に追加可能なロールの [ロール一覧] グループボックスが表示されます。
削除	選択したロールを削除します。
[適用]	ロールにグループを割り当てます。
[キャンセル]	ロールにグループを割り当てずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ローラー一覧] グループボックス下部に [ローラー一覧] グループボックスが表示されます。



ローラー一覧	
(チェックボックス)	ロールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロールが選択されます。
ロール名	ロール名を表示します。
権限レベル	権限レベルを表示します。
設定グループ	設定グループを表示します。
[OK]	選択したロール情報を上部の [ローラー一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ロール追加をせずに、[ローラー一覧] グループボックスを閉じます。

2.4.7. ロール削除

ロールを削除します。

[ローラー一覧] グループボックスから削除するロールのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

2.5. [ポリシー] アイコン

SigmaSystemCenter で使用するポリシーの設定を行います。ポリシーは、ESMPRO/ServerManager、VirtualCenter、および SystemMonitor 性能監視が検出した障害イベントに対して、どのような処理を自動実行し、復旧するかなどを各グループに対して設定できます。

2.6. ポリシーの詳細情報

[ポリシー一覧] グループボックスに SigmaSystemCenter で使用するポリシー一覧を表示します。

[管理] ツリーから [ポリシー] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにポリシーの詳細情報が表示されます。



ポリシー一覧	
(チェックボックス)	ポリシーを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのポリシーが選択されます。
ポリシー名	ポリシー名を表示します。
説明	ポリシーの説明を表示します。
プロパティ	ポリシーのプロパティ設定を行います。「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したポリシーを削除します。グループに設定されているポリシーを削除する場合は失敗します。

2.6.1. ポリシー追加

ポリシーの追加を行います。

[設定] メニューから [ポリシー追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ポリシー追加」が表示されます。

ポリシー追加	
名前 (入力必須)	ポリシー名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。既に存在するポリシー名を入力すると、追加時にエラーになります。
説明	ポリシーの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	ポリシー追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ポリシー追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.6.2. 標準ポリシー複製

標準で提供している“標準ポリシー”を複製します。

[設定] メニューから [標準ポリシー複製] をクリックすると、標準ポリシー用のテンプレートが複製され、表示されます。

注: 「標準ポリシー」というポリシー名が既に登録されている場合は、「標準ポリシー[2]」のように自動でポリシー名を生成して登録します。

2.6.3. 標準ポリシー (仮想マシンサーバ) 複製

標準で提供している“標準ポリシー (仮想マシンサーバ)”を複製します。

[設定] メニューから [標準ポリシー (仮想マシンサーバ) 複製] をクリックすると、仮想マシンサーバ用のテンプレートが複製され、表示されます。

注: 「標準ポリシー (仮想マシンサーバ)」というポリシー名が既に登録されている場合は、「標準ポリシー (仮想マシンサーバ) [2]」のように自動でポリシー名を生成して登録します。

2.6.4. 標準ポリシー (省電力) 複製

標準で提供している“標準ポリシー (省電力)”を複製します。

[設定] メニューから [標準ポリシー (省電力) 複製] をクリックすると、仮想マシンサーバ省電力用のテンプレートが複製され、表示されます。

注: 「標準ポリシー (仮想マシンサーバ省電力)」というポリシー名が既に登録されている場合は、「標準ポリシー (仮想マシンサーバ省電力) [2]」のように自動でポリシー名を生成して登録します。

2.6.5. ポリシー削除

ポリシーを削除します。

[ポリシー一覧] グループボックスから削除するポリシーのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

2.7. ポリシープロパティ設定

ポリシープロパティの設定を行います。

ポリシーの監視イベントやイベントに対する復旧処理 (アクション) を設定することができます。

ポリシーの詳細情報の [ポリシー一覧] グループボックスから編集するポリシーの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ポリシープロパティ設定」が表示されます。

◆ [全般] タブ

管理 > ポリシー > 標準ポリシー(仮想マシン...)

ポリシープロパティ設定

全般 | 監視イベント

名前: 標準ポリシー(仮想マシンサーバ)

説明: VMサーバ用の標準ポリシーテンプレート

抑制設定

<input type="checkbox"/>	サーバアクセス不可障害の抑制(一般コンピュータ)	180	秒
<input type="checkbox"/>	サーバアクセス不可障害の抑制(仮想コンピュータ)	180	秒
<input type="checkbox"/>	CPU負荷障害の抑制	60	秒

適用 キャンセル

全般	
名前 (入力必須)	ポリシー名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	ポリシーの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
抑制設定	
サーバアクセス不可障害の抑制 (一般コンピュータ)	一般コンピュータで検出されるアクセス障害のイベントを抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
待機時間 (秒)	[サーバアクセス不可障害の抑制 (一般コンピュータ)] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は (180) 秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。
サーバアクセス不可障害の抑制 (仮想コンピュータ)	仮想コンピュータ独自に検出されるアクセス障害のイベントを抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
待機時間 (秒)	[サーバアクセス不可障害の抑制 (仮想コンピュータ)] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は (180) 秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。
CPU 負荷障害の抑制	CPU負荷障害を抑制させる場合、チェックボックスをオンにします。また、回復イベントが発生するかどうかを待ち合わせる時間を入力します。
待機時間 (秒)	[CPU負荷障害の抑制] チェックボックスがオンの場合、入力できます。障害イベントを受信してから回復イベントが発生するかどうか待ち合わせる時間を入力します。既定値は (60) 秒です。「1～99999」の範囲で設定できます。
[適用]	ポリシープロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	ポリシープロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

注：抑制設定は、「2.7.1 対応処置詳細設定」の [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにした場合に有効となります。

◆ [監視イベント] タブ



監視イベント	
イベントに対する対応処置一覧	
(チェックボックス)	対応処置が登録されているイベントを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての対応処置が登録されているイベントが選択されます。
通報元	イベントの検出モジュールを認識する名称を表示します。「2.7.1 対応処置詳細設定」の [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスがオンの場合は、表示されません。
イベント	イベント名を表示します。
対応処置	対応処置の概要を表示します。
編集	イベントに対する対応処置の編集を行います。「対応処置詳細設定」ウィンドウに遷移します。
追加	イベントに対する対応処置の追加を行います。「対応処置詳細設定」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したイベントに対する対応処置を削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

2.7.1. 対応処置詳細設定

監視イベントの対応処置の設定を行います。

「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブの [イベントに対する対応処置一覧] グループボックスから [追加] もしくは、対応処置詳細設定を編集するイベントの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「対応処置詳細設定」が表示されます。

管理 > ポリシー > 標準ポリシー[2] > 対応処置詳細設定(新規)

対応処置詳細設定(新規)

名前

イベントの選択

区分全てのイベントを対象とする

イベント区分: ディスク復旧可能障害

通報元: SystemMonitorEvent

イベント: ASMBENotify{Dx0000200C}

イベント名: [Source]ASMBENotify {D}0x0000200C(8204) [Summary]アレイを構成する物理デバイスがダウン

イベントに対する復旧処理

	アクション
<input type="checkbox"/>	

↑

↓

OK キャンセル

対応処置詳細設定	
名前 (入力必須)	ポリシーで実行する対応処置を識別する名称を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
イベントの選択	
区分全てのイベントを対象とする	区分すべてのイベントを対象とする場合、チェックボックスをオンにします。
イベント区分	イベント区分を選択します。イベント区分は、検出可能なイベントを分類しています。 以下の場合、イベント区分は "その他" と表示されます。 ・ [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにして登録したものを編集するとき ・ 標準で提供しているポリシーで、複数のイベントが対象になっているものを編集するとき
通報元	イベントを検出する通報元を選択します。[イベント区分] プルダウンボックスで選択された区分により通報元の内容は変わります。
イベント	イベントを選択します。選択した [イベント区分] プルダウンボックスおよび [通報元] プルダウンボックスによりイベントの内容は変わります。
イベント名	選択したイベントを示す名称が表示されます。入力および編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。既に同じポリシーで使用されている場合、登録時にエラーになります。
合成イベント一覧	以下の場合に、含まれるイベント一覧が表示されます。 ・ [区分全てのイベントを対象とする] チェックボックスをオンにして登録したものを編集するとき ・ 標準で提供しているポリシーで、複数のイベントが対象になっているものを編集するとき
イベントに対する復旧処理	
(チェックボックス)	アクションを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのアクションが選択されます。
アクション	イベントに対する対応処置をプルダウンボックスから選択します。
[↑]	選択したアクションの順序をひとつ前にします。
[↓]	選択したアクションの順序をひとつ後にします。
[OK]	対応処置詳細情報を保存し、「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブに遷移します。
[キャンセル]	対応処置詳細情報を保存せずに、「ポリシープロパティ設定」ウィンドウの [監視イベント] タブに遷移します。

関連情報: 選択可能なイベント区分や通報元については、「SigmaSystemCenter リファレンスガイド」の「4.1. SigmaSystemCenter が検出できる障害」を参照してください。

2.8. [サブシステム] アイコン

SystemProvisioning へリソースを登録するには、DPM や NetvisorPro といった各関連製品をサブシステムに追加し、その後サブシステムが管理するマシンやスイッチといったリソースを SystemProvisioning の管理対象として登録する手順となります。

2.9. サブシステムの詳細情報

[サブシステム一覧] グループボックスにサブシステム一覧を表示します。

[管理] ツリーから [サブシステム] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにサブシステムの詳細情報が表示されます。



サブシステム一覧	
(チェックボックス)	サブシステムを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのサブシステムが選択されます。
製品名	サブシステムに登録した関連製品の製品名を表示します。
バージョン	サブシステムに登録した関連製品のバージョンを表示します。
アドレス	サブシステムに登録した関連製品とアクセスするアドレスもしくは、ポート番号を表示します。
編集	選択したサブシステムの編集を行います。「サブシステム編集」ウィンドウに遷移します。
収集	選択したサブシステムの情報を収集します。
削除	選択したサブシステムの削除を行います。

2.10. サブシステム追加

関連製品をサブシステムとして追加します。

[設定] メニューから [サブシステム追加] をクリックすると、メインウィンドウに「サブシステム追加」が表示されます。

サブシステムを追加すると、追加したサブシステムの情報が自動的に収集されます。

SigmaSystemCenter は、VirtualCenter または、XenEnterprise Pool Master といった仮想環境管理ソフトウェア、DPM、SIGMABLADE controller といった 3 種類のサブシステムから管理対象マシンの情報を収集し利用します。同一のマシンが複数のサブシステムから管理されている場合、それぞれのサブシステムからマシンの情報を収集します。そのため、同一マシンが誤って別マシンとして SystemProvisioning に登録されないように注意が必要です。

- ◆ サブシステムの登録は、本節に記載されている順番に行います。
- ◆ 「サブシステム追加」ウィンドウでサブシステムを選択し、[OK] をクリックすると、選択したサブシステムに対して情報の収集を行います。情報収集が完了したことを確認してから、次のサブシステムの登録を行ってください。
- ◆ サブシステムから収集されたマシンの情報は、[リソース] ビューから確認できます。

2.10.1. サブシステム追加 (VMware VirtualCenter)

VMware VirtualCenter をサブシステムに追加します。VMware VirtualCenter をサブシステムに追加すると、VMware VirtualCenter に登録されている ESX Server が自動的にサブシステムに追加されます。

サブシステム追加	
サブシステム種類	VMware VirtualCenterを選択します。
ホスト名	VMware VirtualCenterをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	VMware VirtualCenterとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	サブシステムのURLを入力します。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	VMware VirtualCenterのアカウント名を入力します。
パスワード	VMware VirtualCenterのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.2. サブシステム追加 (XenEnterprise Pool Master)

XenEnterprise Pool Master をサブシステムに追加します。XenEnterprise Pool Master をサブシステムに追加すると、Pool に登録されている Xen Server が自動的にサブシステムに追加されます。

サブシステム追加

サブシステム種類	XenEnterprise Pool Masterを選択します。
ホスト名	XenEnterprise Pool Masterとして構築したサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	XenEnterprise Pool Masterとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値(443)が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	XenEnterprise Pool MasterのURLを入力します。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	XenEnterprise Pool Masterのアカウント名を入力します。
パスワード	XenEnterprise Pool Masterのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.3. サブシステム追加 (Web サーバ for DPM)

Web サーバ for DPM をサブシステムに追加します。Web サーバ for DPM をサブシステムに追加します。Web サーバ for DPM をサブシステムに追加すると、Web サーバ for DPM に登録されている管理サーバ for DPM が自動的にサブシステムに追加されます。

サブシステム追加	
サブシステム種類	Webサーバ for DPMを選択します。
ホスト名	Webサーバ for DPMをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	Webサーバ for DPMとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の(8080)が登録されます。「1～65535」の範囲で設定できます。
パスワード	Webサーバ for DPMに登録されている管理サーバ for DPMのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.4. サブシステム追加 (管理サーバ for DPM (HP-UX))

管理サーバ for DPM (HP-UX) をサブシステムに追加します。

サブシステム追加	
サブシステム種類	管理サーバ for DPM (HP-UX) を選択します。
ホスト名	管理サーバ for DPM (HP-UX) をインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	管理サーバ for DPM (HP-UX) とアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (15416) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のアカウント名を入力します。
パスワード	管理サーバ for DPM (HP-UX) のパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.5. サブシステム追加 (SIGMABLADE controller)

SIGMABLADE controller をサブシステムに追加します。

サブシステム追加	
サブシステム種類	SIGMABLADE controllerを選択します。
ホスト名	SIGMABLADE controllerをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	SIGMABLADE controllerとアクセスするポート番号を入力します。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の(26320) が登録されます。 「1～65535」の範囲で設定できます。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

注: SystemProvisioning と管理サーバ for DPM を同一マシン上で運用するなどの理由で、事前に手動で SIGMABLADE controller サーバの登録を SIGMABLADE controller クライアントに対して行っている場合は、サブシステム追加の際に指定する「ホスト名、ポート番号」を、クライアントに登録済みの SIGMABLADE controller サーバの情報と一致させてください。異なっている場合、クライアントに同じ SIGMABLADE controller サーバが重複して登録されるため、他のソフトウェアによる SIGMABLADE controller を利用した制御が正常に動作しなくなる可能性があります。

2.10.6. サブシステム追加 (WebSAM NetvisorPro)

NetvisorPro をサブシステムに追加します。

サブシステム追加	
サブシステム種類	WebSAM NetvisorProを選択します。
ホスト名	NetvisorProをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	NetvisorProとアクセスするポートを入力します。既定値は(52727)です。「1~65535」の範囲で設定できます。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.7. サブシステム追加 (スイッチブレード)

スイッチブレードをサブシステムに追加します。

サブシステム追加	
サブシステム種類	“Switchblade” を選択します。
ホスト名	スイッチブレードをインストールしたサーバのIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
アカウント名	スイッチブレードのアカウント名を入力します。
パスワード	スイッチブレードのパスワードを入力します。
パスワード確認	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.10.8. サブシステム追加 (ストレージ管理サーバ)

ストレージ管理サーバをサブシステムに追加します。

サブシステム追加	
サブシステム種類	"iStorage Manager"、"EMC CLARiX"、もしくは "EMC Symmetrix" を選択します。
ホスト名	ストレージ管理サーバのホスト名、またはIPアドレスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
説明	サブシステムの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11. サブシステム編集

サブシステムの編集を行います。

サブシステムの詳細情報の [サブシステム一覧] グループボックスから編集するサブシステムの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「サブシステム編集」が表示されます。

サブシステムを編集すると、編集したサブシステムの情報が自動的に収集されます。

2.11.1. サブシステム編集 (VMware VirtualCenter)

サブシステム (VMware VirtualCenter) を編集します。

管理 > サブシステム > srv-vm3:443

サブシステム編集

サブシステム種類	VMware VirtualCenter
ホスト名	srv-vm3
ポート	443
URL	https://srv-vm3/sdk
アカウント名	administrator
<input type="checkbox"/> パスワード更新	
パスワード	
パスワード確認	
説明	

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	VMware VirtualCenterをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できません。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	VMware VirtualCenterとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
URL	VMware VirtualCenterのURLを表示し、編集もできます。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	VMware VirtualCenterのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。VMware VirtualCenterのパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.2. サブシステム編集 (XenEnterprise Pool Master)

サブシステム (XenEnterprise Pool Master) を編集します。

The screenshot shows a web-based configuration window titled 'サブシステム編集' (Subsystem Edit). The breadcrumb path is '管理 > サブシステム > 192.168.1.16...'. The window contains the following fields and controls:

- サブシステム種類** (Subsystem Type): A dropdown menu with 'XenEnterprise Pool Master' selected.
- ホスト名** (Host Name): A text input field containing '192.168.1.16'.
- ポート** (Port): A text input field containing '443'.
- URL** (URL): A text input field containing 'https://192.168.1.16/'.
- アカウント名** (Account Name): A text input field containing 'root'.
- パスワード更新** (Update Password): An unchecked checkbox.
- パスワード** (Password): A password input field.
- パスワード確認** (Confirm Password): A password input field.
- 説明** (Description): A large text area for entering a description.

At the bottom right of the window, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	XenEnterprise Pool Masterを構築したサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。URLを入力している場合、自動生成されるため入力を省略できません。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	XenEnterprise Pool Masterとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。省略した場合、既定値 (443) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
URL	XenEnterprise Pool MasterのURLを表示し、編集もできます。ホスト名を入力している場合、自動生成されるため入力を省略できます。
アカウント名	XenEnterprise Pool Masterのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。XenEnterprise Pool Masterのパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.3. サブシステム編集 (Web サーバ for DPM)

サブシステム (Web サーバ for DPM) を編集します。

The screenshot shows a dialog box titled 'サブシステム編集' (Subsystem Edit). The breadcrumb path is '管理 > サブシステム > 192.168.1.1...'. The dialog contains the following fields:

- サブシステム種類**: Webサーバ for DPM (dropdown menu)
- ホスト名**: 192.168.1.1 (text input)
- ポート**: 8080 (text input)
- パスワード更新**: (checkbox)
- パスワード**: [Redacted]
- パスワード確認**: [Redacted]
- 説明**: [Empty text area]

Buttons for 'OK' and 'キャンセル' are located at the bottom right of the dialog.

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	Webサーバ for DPMをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	Webサーバ for DPMとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (8080) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。Webサーバ for DPMに登録されている管理サーバ for DPMのパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.4. サブシステム編集 (管理サーバ for DPM (HP-UX))

サブシステム (管理サーバ for DPM (HP-UX)) を編集します。

管理 > サブシステム > 192.168.1.14...

サブシステム編集

サブシステム種類: 管理サーバ for DPM (HP-UX)

ホスト名: SRV-DPM142

ポート: 15416

アカウント名: pwndpm

パスワード更新

パスワード: [masked]

パスワード確認: [masked]

説明: [empty text area]

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	管理サーバ for DPM (HP-UX) のポート番号を表示し、編集もできます。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (15416) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
アカウント名	管理サーバ for DPM (HP-UX) のアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。管理サーバ for DPM (HP-UX) のパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.5. サブシステム編集 (SIGMABLADE controller)

サブシステム (SIGMABLADE controller) を編集します。

管理 > サブシステム > 192.168.47.1...

サブシステム編集

サブシステム種類: SIGMABLADE controller

ホスト名: 192.168.47.1

ポート: 26320

説明: [Empty text area]

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	SIGMABLADE controllerをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	SIGMABLADE controllerとアクセスするポート番号を表示し、編集もできます。ポート番号の入力を省略した場合、既定値の (26320) が登録されます。「1~65535」の範囲で設定できます。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.6. サブシステム編集 (WebSAM NetvisorPro)

サブシステム (WebSAM NetvisorPro) を編集します。

管理 > サブシステム > 192.168.1.14...

サブシステム編集

サブシステム種類: WebSAM NetvisorPro

ホスト名: 192.168.1.141

ポート: 52727

説明:

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	NetvisorProをインストールしたサーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
ポート	NetvisorProとアクセスするポートを表示し、編集もできます。既定値は (52727) です。「1～65535」の範囲で設定できます。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.7. サブシステム編集 (スイッチブレード)

サブシステム (スイッチブレード) を編集します。

管理 > サブシステム > 192.168.1.17...

サブシステム編集

サブシステム種類: Switchblade

ホスト名: 192.168.1.173

アカウント名: admin

パスワード更新

パスワード: [Redacted]

パスワード確認: [Redacted]

説明: [Empty text area]

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類が表示されます。編集はできません。
ホスト名	スイッチブレードのIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
アカウント名	スイッチブレードのアカウント名を表示し、編集もできます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。スイッチブレードのパスワードを入力します。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.11.8. サブシステム編集 (ストレージ管理サーバ)

サブシステム (ストレージ管理サーバ) を編集します。

管理 > サブシステム > host01

サブシステム編集

サブシステム種類: iStorage Manager

ホスト名: host01

説明: iStorage管理

OK キャンセル

サブシステム編集	
サブシステム種類	サブシステムの種類を表示します。編集はできません。
ホスト名	ストレージ管理サーバのホスト名、またはIPアドレスを表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
説明	サブシステムの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	サブシステム編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	サブシステム編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

2.12. サブシステム削除

サブシステムを削除します。

[サブシステム一覧] グループボックスから削除するサブシステムのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

注:

- ・ マシンを管理しているサブシステムがすべて SigmaSystemCenter から削除されると、マシンがすべて SigmaSystemCenter から削除され、ユーザが設定したネットワーク情報も削除されます。また、削除されるマシンが稼働中の場合、割り当てが解除された上で削除されます。
 - ・ SIGMABLADE マシンを管理している DPM をサブシステムから削除する場合、稼働中の SIGMABLADE マシンをリソースプールに戻しておく必要があります。DPM の連携が行われていない場合、稼働中のマシンに対して一部の電源制御が行えなくなるため、利用中のホスト設定からマシンの割り当て解除が失敗します。
 - ・ SystemProvisioning からサブシステム (SIGMABLADE controller) の削除を行うと、SIGMABLADE controller クライアントから対象の SIGMABLADE controller サーバの登録が削除されます。SystemProvisioning と管理サーバ for DPM を同一マシンで運用しているなど、サブシステム (SIGMABLADE controller) の削除を行った後も他のソフトウェアによる SIGMABLADE controller を利用した制御が必要な場合は、手動で SIGMABLADE controller クライアントにサーバの登録を行ってください。
 - ・ Windows 版の DeploymentManager との連携は、Web サーバ for DPM とその配下の管理サーバ for DPM をまとめて管理しています。サブシステムから管理サーバ for DPM のみ単独で削除できません。削除する場合、"DeploymentManager (Windows / Linux)" を選択し、削除を行ってください。
-

2.13. [環境設定] アイコン

SystemProvisioning の環境設定を行います。SystemProvisioning を使用する前に設定しておく必要があります。

[管理] ツリーから [環境設定] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[通報] タブ、[ログ] タブ、[仮想リソース] タブ、[表示] タブ、および [その他] タブで構成された環境設定が表示されます。

2.13.1. [全般] タブ

構成情報管理が情報を収集する間隔の設定を行います。

全般	
情報収集を行う	SystemProvisioningで管理するシステムリソースの構成変更情報の収集を定期的に行う場合、チェックボックスをオンにします。情報収集を行う場合、情報収集間隔を設定する必要があります。
情報収集間隔	SystemProvisioningで管理するシステムリソースの構成情報を収集する間隔を入力します。「1～3600」の範囲で設定できます。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.2. [通報] タブ

障害時のメール通報設定を行います。また、SystemProvisioning が受信した通報、通報によるポリシーの実行結果をイベントログに登録を行います。

管理 > 環境設定

環境設定

全般 **通報** ログ 仮想リソース 表示 その他

メール通報機能の設定を行います。メール通報を行う場合、送信用メールサーバ名、通信元メールアドレス、通信先(管理者)メールアドレスを入力してください。

テスト送信ボタンを押すとすぐにテストメールを送信します。

メール通報を行います

通信用メールサーバ名

通信元メールアドレス情報(From)

通信先メールアドレス情報(To)

テスト送信

通知をイベントログに書き込む

適用

通報	
メール通報を行います	メール通報機能を利用する場合、チェックボックスをオンにします。
通信用メールサーバ名	送信用メールサーバ名 (IPアドレス、またはホスト名) を入力します。メールサーバの設定を完了している必要があります。入力できる文字数は63文字以内です。
通信元メールアドレス情報 (From)	通信元メールアドレスを入力します。
通信先メールアドレス情報 (To)	通知先メールアドレスを入力します。複数のアドレスを指定する場合、”,” で区切って入力します。
[テスト送信]	設定が正しくされているか確認をするため、設定した通知先メールアドレスにテストメールを送信します。通知先にメールが届かない場合、設定に誤りがないか再度確認して設定してください。
通知をイベントログに書き込む	SystemProvisioningが受信した通報、通報によるポリシー実行結果をイベントログに記録する場合、チェックボックスをオンにします。 また、SystemProvisioningサーバ上にESMPRO/ServerAgentをインストールすると、ESMPRO/ServerManagerへ通知することができます。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.3. [ログ] タブ

SystemProvisioning の運用ログ、デバッグログに関する設定を行います。

ログ	
運用ログ設定	
最大出力件数	運用ログの最大出力件数を入力します。「1000～100000」の範囲で設定できます。
デバッグログ設定	
最大出力サイズ	デバッグログの最大出力サイズを入力します。「1～16」の範囲で設定できます。
取得するデバッグログレベルの設定	取得するデバッグログの出力レベル (詳細度) を入力します。「0 (低) ～7 (高)」の範囲で設定できます。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.4. [仮想リソース] タブ

1 台の仮想マシンサーバ上で稼働可能な仮想マシンの数を設定するためのキャパシティ値、コスト値の設定を行います。また、ESX Server の障害復旧 (Failover) 時に使用される ESX Server の root パスワードを設定します。ここで指定されたパスワードは、すべての ESX Server に対する既定値として使用されます。

管理 > 環境設定

環境設定

全般 通報 ログ **仮想リソース** 表示 その他

仮想マシンサーバの「キャパシティ値」、仮想マシンの「コスト値」を設定します。ここで設定した値は既定値として使用されます。

起動中の仮想マシンのコスト値の合計がキャパシティ値を超えないようにすることによって、仮想マシンサーバ上で稼働可能な仮想マシン数を制限します。

キャパシティ値

コスト値

フェイルオーバー時に使用するVMware ESX仮想マシンサーバのrootパスワードの既定値を設定します。

各VMware ESX仮想マシンサーバのパスワード情報は管理ビューのサブシステムで設定できます。設定されていない場合にこのパスワードが使用されます。

rootパスワード更新

rootパスワード

rootパスワード確認

適用

仮想リソース	
キャパシティ値	ポリシー動作にて仮想マシン移動を行う際に参照する仮想マシンサーバのキャパシティ値の初期値を設定します。「1～999999」の範囲で設定できます。既定値は (200) です。
コスト値	ポリシー動作にて仮想マシン移動を行う際に参照する仮想マシンのコスト値の初期値を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。既定値は (10) です。
root パスワード更新	rootパスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
root パスワード	[rootパスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。
root パスワード確認	[rootパスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.5. [表示] タブ

[監視] ビューの更新間隔の設定を行います。

管理 > 環境設定

環境設定

全般 通報 ログ 仮想リソース **表示** その他

監視ビューのダッシュボードは定期的に更新されます。更新間隔を分単位で指定してください。

ダッシュボードの更新間隔 分

適用

表示	
ダッシュボードの更新間隔	ダッシュボードの更新間隔を入力します。「1～600」の範囲で設定できます。既定値は (3) 分です。
[適用]	環境設定情報を適用します。

2.13.6. [その他] タブ

ESMPRO/ServerManager と連携するための情報を登録します。

ESMPRO/ServerManager が ESMPRO/ServerAgent と通信するときに使用する SNMP コミュニティの設定を行います。

その他	
SNMP コミュニティ名	ESMPRO/ServerManagerが管理対象マシンのESMPRO/ServerAgentと通信するときに使用するSNMPコミュニティ名を入力します。既定値は (public) です。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	環境設定情報を適用します。

3. システムリソース

[リソース] ビューでは、SigmaSystemCenterのマシン、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアの管理の説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

• 3.1	[リソース] ビュー	66
• 3.2	[マシン] アイコン	66
• 3.3	リソースグループ	68
• 3.4	リソースグループの詳細情報	68
• 3.5	ラック.....	72
• 3.6	ラックの詳細情報	72
• 3.7	マシンの詳細情報	76
• 3.8	マシンプロパティ設定.....	82
• 3.9	[ストレージ] アイコン.....	91
• 3.10	ストレージの詳細情報	92
• 3.11	[ネットワークデバイス] アイコン	95
• 3.12	スイッチの詳細情報.....	96
• 3.13	ロードバランサの詳細情報	104
• 3.14	[ソフトウェア] アイコン	112
• 3.15	ソフトウェアの詳細情報	114
• 3.16	リソースグループへのメニュー操作	120

3.1. [リソース] ビュー

[リソース] ビューでは、SigmaSystemCenter のマシン、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアを管理することができます。

タイトルバーの [リソース] をクリックすると、[リソース] ビューに切り替わります。

リソースタイプ	管理中	管理外
マシン	0	0
スイッチ	0	0
ロードバランサ	0	0
ストレージ	0	0
ソフトウェア	0	0

3.2. [マシン] アイコン

[マシン] アイコンは、グループ、ラックおよびマシンの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックすると、基本情報および管理対象マシンの一覧が表示されます。

名前	種別	状態	電源	移動グループ	MACアドレス

基本情報	
マシン	マシンの定義および説明を表示します。
マシン一覧	
表示件数	マシン一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのマシンが選択されます。
名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
種別	管理対象マシンの種別を表示します。
状態	管理対象マシンの状態を表示します。
電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
稼動グループ	管理対象マシンが稼動している運用グループを表示します。
MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。
≦	前のページのマシン一覧に遷移します。
≧	次のページのマシン一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。

3.3. リソースグループ

システムリソースで管理するマシンをグループごとに分類、管理します。

3.4. リソースグループの詳細情報

リソースグループの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーからリソースグループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報が表示されます。



基本情報	
名前	リソースグループ名を表示します。
説明	リソースグループの説明を表示します。
マシン一覧	
表示件数	リソースグループに登録されている管理対象マシンの表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	管理対象マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての管理対象マシンが選択されます。
名前	リソースグループに登録されている管理対象マシンのマシン名を表示します。
種別	管理対象マシンの種別を表示します。
状態	管理対象マシンの状態を表示します。
電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
稼働グループ	管理対象マシンが稼働している運用グループを表示します。
MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。
(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。

≤	前のページのマシン一覧に遷移します。
≥	次のページのマシン一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。

3.4.1. リソースグループ追加

リソースグループの追加を行います。

[マシン] アイコンの直下、またはリソースグループの配下にリソースグループを追加できます。

[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。

注: 同一の階層では、グループおよびラックの名前は重複できません。

グループ追加	
名前 (入力必須)	リソースグループ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。"¥"、"/"、":", ".", ";", "*", "?", "<", ">", " " は入力できません。
説明	リソースグループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	リソースグループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソースグループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.2. リソースグループ編集

リソースグループの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集するリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ編集」が表示されます。

注: 同一の階層では、グループおよびラックの名前は重複できません。

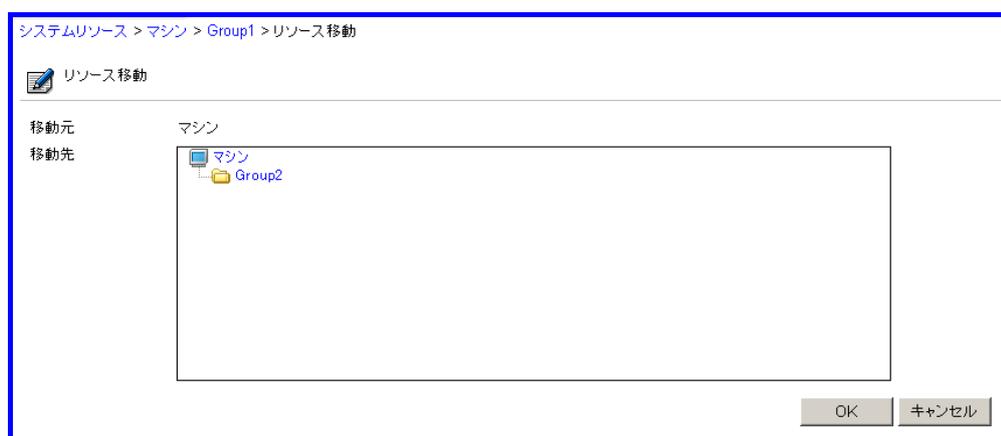
グループ編集	
名前 (入力必須)	リソースグループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。 "¥"、"/"、":."、"."、";"、"*"、"?", "<"、">"、" " は入力できません。
説明	リソースグループの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	リソースグループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソースグループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.3. リソースグループ移動

リソースグループの移動を行います。

リソースグループを [マシン] アイコンの直下、または他のリソースグループの配下に移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。



リソース移動	
移動元	移動元の親リソースグループ名、または "マシン" を表示します。
移動先	ツリーから移動先のリソースグループ、または [マシン] アイコンを選択します。
[OK]	リソースグループ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソースグループ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.4.4. リソースグループ削除

リソースグループを削除します。

[システムリソース] ツリーから削除を行うリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ削除] をクリックすると、削除されます。

3.5. ラック

システムリソースで管理するマシンをラックごとに分類、管理します。

3.6. ラックの詳細情報

ラックの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーからラックのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにラックの詳細情報が表示されます。



基本情報	
名前	ラック名を表示します。
説明	ラックの説明を表示します。
マシン一覧	
表示件数	ラックに登録されている管理対象マシンの表示件数を選択します。
(チェックボックス)	管理対象マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての管理対象マシンが選択されます。
名前	ラックに登録されている管理対象マシンのマシン名を表示します。
種別	管理対象マシンの種別を表示します。
状態	管理対象マシンの状態を表示します。
電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
稼働グループ	管理対象マシンが稼働している運用グループを表示します。
MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
管理外	選択した管理対象マシンを管理外にします。

(プルダウンボックス)	選択した管理対象マシンの操作を行います。 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。
≦	前のページのマシン一覧に遷移します。
≧	次のページのマシン一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。

3.6.1. ラック追加

ラックの追加を行います。

[マシン] アイコンの直下、またはリソースグループの配下にラックを追加できます。

[設定] メニューから [ラック追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ラック追加」が表示されます。

注: 同一の階層では、グループおよびラックの名前は重複できません。

ラック追加	
名前 (入力必須)	ラック名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	ラックの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	ラック追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ラック追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.2. ラック編集

ラックの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ラック編集」が表示されます。

注: 同一の階層では、グループおよびラックの名前は重複できません。

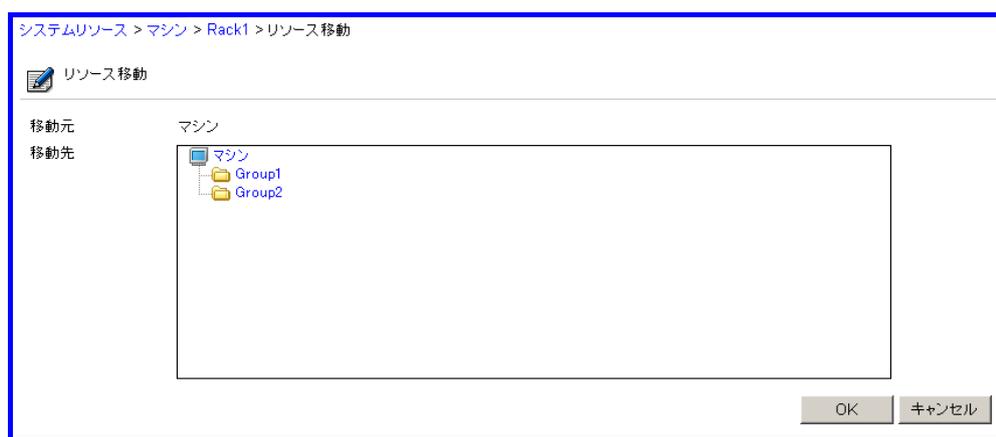
ラック編集	
名前 (入力必須)	ラック名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	ラックの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	ラック編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ラック編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.3. ラック移動

ラックの移動を行います。

ラックを他のリソースグループの配下、または [マシン] アイコンの直下に移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。



リソース移動	
移動元	移動元の親リソースグループ名、または "マシン" を表示します。
移動先	ツリーから移動先のリソースグループ、または [マシン] アイコンを選択します。
[OK]	ラック移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ラック移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.6.4. ラック削除

ラックを削除します。

[システムリソース] ツリーから削除を行うラックのアイコンをクリックし、メインウィンドウにラックの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ラック削除] をクリックすると、削除されます。

3.7. マシンの詳細情報

マシンの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにマシンの詳細情報が表示されます。

システムリソース > マシン > Group1 > OLIVE12

基本情報	
名前	OLIVE12
UUID	A88FB000-0131-1000-8010-00004C71CE16
MACアドレス	00:00:4C:71:CE:17
モデル名	
種別	Unitary
位置情報	
説明	

マシンのステータス情報	
サマリスステータス	正常
電源状態	On
稼働ステータス	On
OSステータス	On
ハードウェアステータス	正常
実行ステータス	-
ポリシー状態	全て有効
管理状態	管理中
メンテナンスステータス	Off

ハードウェア情報	
CPU種別	
プロセッサ	
メモリサイズ	

運用情報	
稼働グループ	/運用/Group1
ホスト名	OLIVE
OS名	
リソースプール	

設定

- マシン移動
- 管理外
- プロパティ

操作

- 起動
- 再起動
- サスペンド
- シャットダウン
- 指定ソフトウェア配布
- ジョブ実行結果のリセット
- 故障状態の解除
- メンテナンスオン
- メンテナンスオフ
- 画面更新

基本情報	
名前	マシン名を表示します。
UUID	マシンのUUIDを表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
モデル名	マシンが所属しているモデル名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
位置情報	マシンの位置情報を表示します。
説明	マシンの説明を表示します。
マシンステータス情報	
サマリーステータス	マシンのサマリーステータスを表示します。
電源状態	マシンの電源状態を表示します。
稼動ステータス	マシンの稼動ステータスを表示します。
OS ステータス	マシンのOSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	マシンのハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	マシンの実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	マシンのポリシー状態を表示します。
管理状態	マシンの管理状態を表示します。
メンテナンスステータス	マシンのメンテナンスステータスを表示します。
ハードウェア情報	
CPU 種別	マシンのCPU種別を表示します。
プロセッサ	マシンのプロセッサを表示します。
メモリサイズ	マシンのメモリサイズを表示します。
運用情報	
稼動グループ	マシンを運用している稼動グループを表示します。
ホスト名	マシンを運用しているホスト名を表示します。
OS 名	マシンを運用しているOS名を表示します。
リソースプール	マシンを運用しているリソースプールを表示します。
仮想パス	マシンの種別が仮想マシンもしくは、仮想マシンサーバの場合に仮想パスを表示します。

3.7.1. マシン登録

管理外のマシンをグループもしくはラックに登録します。

[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコンをクリックし、メインウィンドウに基本情報および [マシン一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [マシン登録] をクリックし、メインウィンドウに「マシン登録」が表示されます。



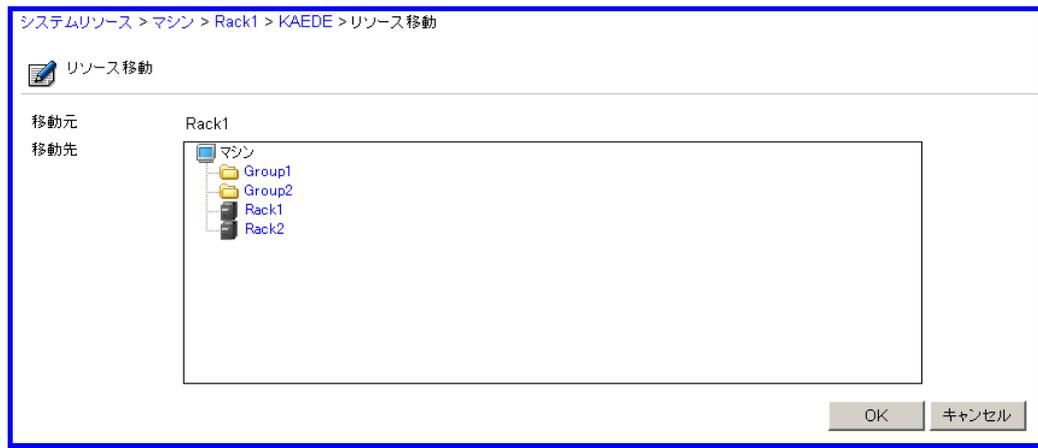
マシン登録	
管理外のマシン一覧	
表示件数	管理外のマシンの表示件数を選択します。
(チェックボックス)	管理外のマシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての管理外のマシンが選択されます。
名前	管理外のマシン名を表示します。
種別	管理外のマシンの種別を表示します。
状態	管理外のマシンの状態を表示します。
電源	管理外のマシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	管理外のマシンのMACアドレスを表示します。
UUID	管理外のマシンのUUIDを表示します。
≤	前のページの管理外のマシン一覧に遷移します。
≥	次のページの管理外のマシン一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページの管理外のマシン一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページの管理外のマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	管理外のマシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定された管理外のマシン一覧のページに遷移します。
親のリソース	親のリソースを選択します。
[OK]	マシン登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マシン登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.7.2. マシン移動

マシン移動を行います。

マシンを他のリソースグループ、もしくはラックに移動します。

[システムリソース] ツリーから移動を行うマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [マシン移動] をクリックすると、メインウィンドウに「リソース移動」が表示されます。



リソース移動	
移動元	移動元のリソースグループ、またはラックを表示します。
移動先	ツリーより移動先のリソースグループ、またはラックを選択します。
[OK]	マシン移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マシン移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.7.3. マシン管理外

管理対象マシンを管理外にします。

[システムリソース] ツリーから管理外にするマシンが所属するグループのアイコンおよび [マシン] アイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報および基本情報および [マシン一覧] グループボックスを表示します。[マシン一覧] グループボックスから管理外にするマシンを選択し、[アクション] メニューから [管理外] をクリックすると、管理外になります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから管理外にするマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [管理外] をクリックすると、管理外になります。

3.8. マシンプロパティ設定

マシンプロパティの表示、設定を行います。

[システムリソース] ツリーからマシンプロパティの設定を行うマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[ネットワーク] タブ、[ストレージ] タブ、[ソフトウェア] タブ、[配布済みソフトウェア] タブで構成されたマシンプロパティ設定が表示されます。ただし、マシンの種別が仮想マシンの場合、[ネットワーク] タブ、[ストレージ] タブは表示されません。

3.8.1. [全般] タブ

マシン全般に関する情報の表示、設定を行います。

The screenshot shows the 'Machine Properties' dialog box in SigmaSystemCenter 2.0. The title bar indicates the path: システムリソース > マシン > Group1 > OLIVE12. The dialog has a tabbed interface with the following tabs: 全般 (General), ネットワーク (Network), ストレージ (Storage), ソフトウェア (Software), and 配布済みソフトウェア (Distributed Software). The '全般' tab is selected. The fields are as follows:

マシン名	OLIVE12
モデル名	
UUID	A8BF6000-0131-1000-8010-00004071CE16
種別	Unitary
スロット番号	0
ロケーション	
タグ	
説明	

At the bottom left, there is a checkbox labeled 'モデル名の自動更新' (Automatic model name update) which is checked. At the bottom right, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

全般	
マシン名	マシン名を表示します。編集はできません。
モデル名	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
UUID	UUIDを表示します。編集はできません。
種別	マシンの種別を表示します。編集はできません。
スロット番号	スロット番号を表示します。編集はできません。
ロケーション	ロケーションを表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。マシンの種別が仮想マシンの場合、編集はできません。
タグ	タグ (キーワード) を表示し、編集もできます。
説明	マシンの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
モデル名の自動更新	モデル名の自動更新を禁止する場合、チェックボックスをオフにします。
[適用]	マシンプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	マシンプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.8.2. [ネットワーク] タブ

ネットワークに関する情報の表示、設定を行います。



ネットワーク	
NIC 一覧	
(チェックボックス)	NIC情報を選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのNIC情報が選択されます。
NIC 番号	NIC番号を表示します。
MAC アドレス	MACアドレスを表示します。
スイッチ	スイッチを表示します。
ポート	ポートを表示します。
編集	NIC情報を編集します。[NIC一覧] グループボックスの下部に [NIC設定] グループボックスが表示されます。
追加	NIC情報を追加します。[NIC一覧] グループボックスの下部に [NIC設定] グループボックスが表示されます。
削除	選択したNIC情報を [NIC一覧] グループボックスから削除します。NIC番号1のNICは削除できません。スイッチのポートを "設定なし" に変更した場合、またはスイッチのポートが設定されているNICを削除した場合、スイッチブレードに接続しているマシンの電源が入っている状態でマシンの収集とスイッチの収集が再度実行されるとNICとスイッチのポートの設定が再度関連付けされます。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加]、もしくは対象の NIC の [編集] アイコンをクリックすると、[NIC 一覧] グループボックスの下部に [NIC 設定] グループボックスが表示されます。

NIC 設定	
NIC 番号	NIC番号を選択します。NIC番号1以外の変更を行うことができます。
MAC アドレス	MACアドレスを入力します。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XX:XX:XX:XX:XX:XX) 形式で入力します。編集時は、MACアドレスの編集はできません。
スイッチ	スイッチを選択します。
ポート	ポートを選択します。
[OK]	NIC設定情報を保存し、[NIC一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	NIC設定情報を保存せずに、[NIC設定] グループボックスを閉じます。

3.8.3. [ストレージ] タブ

ストレージに関する情報の表示、設定を行います。

注:

- ・ マシンに HBA を追加するためにはストレージ管理ソフトウェアとの連携および収集が必要です。
- ・ ストレージ管理ソフトウェアでストレージの設定を変更したときは、必ず SystemProvisioning の [システムリソース] ツリーの [操作] メニューから [収集] をクリックし、収集が行ってください。



ストレージ	
ストレージ情報	
(チェックボックス)	ストレージ情報を選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのストレージ情報が選択されます。
HBA 番号	HBA番号を表示します。
アドレス	アドレスを表示します。
接続先	接続先を表示します。
編集	ストレージ情報を編集します。[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA設定] グループボックスが表示されます。
追加	ストレージ情報を追加します。[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA設定] グループボックスが表示されます。
削除	選択したHBA情報を [ストレージ情報] グループボックスから削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加]、もしくは対象 HBA の [編集] アイコンをクリックすると、[ストレージ情報] グループボックスの下部に [HBA 設定] グループボックスが表示されます。



HBA 設定	
HBA 番号 (入力必須)	HBA番号を入力します。「0～9999」の範囲で設定できます。
アドレス (選択必須)	アドレスを選択します。編集時は、アドレスの編集はできません。
接続先	接続先を表示します。編集はできません。
[OK]	HBA設定情報を保存し、[ストレージ情報] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	HBA設定情報を保存せずに、[HBA設定] グループボックスを閉じます。

3.8.4. [ソフトウェア] タブ

ソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。



ソフトウェア	
ソフトウェア一覧	
ソフトウェアの種類	ソフトウェアの種類を、稼働時・グループ配布前 / 稼働時・グループ配布後 / 待機時・グループ配布前 / 待機時・グループ配布後から選択します。
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
ソフトウェア	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
<u>追加</u>	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェア一覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスを表示します。
<u>削除</u>	選択したソフトウェアを [ソフトウェア一覧] グループボックスから削除します。
[適用]	マシンプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	マシンプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェア一覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



ソフトウェア追加	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
ソフトウェア	ソフトウェア名を表示します。
[OK]	ソフトウェア追加情報を保存し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

3.8.5. [配布済みソフトウェア] タブ

配布済みソフトウェアに関する情報を表示します。



配布済みソフトウェア	
配布済みソフトウェア一覧	
配布済みソフトウェア	配布済みソフトウェア名を表示します。
サブシステム名	サブシステム上でのソフトウェア名を表示します。
登録日	サブシステム上でのソフトウェア登録日を表示します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

3.9. [ストレージ] アイコン

[ストレージ] アイコンは、ストレージの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックすると、[ディスクボリューム一覧] グループボックスが表示されます。



ディスクボリューム一覧	
表示件数	ディスクボリュームの表示件数を選択します。
(チェックボックス)	ディスクボリュームを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのディスクボリュームが選択されます。
名前	ディスクボリューム名を表示します。
ディスクアレイ名	ディスクアレイ名を表示します。
番号	ディスクアレイの番号を表示します。
共有状態	共有 / 非共有状態を表示します。
使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
共有	ディスクボリュームを共有可能にします。
非共有	ディスクボリュームを共有不可にします。
解除	選択したディスクボリュームを解除します。
≤	前のページのディスクボリューム一覧に遷移します。
≥	次のページのディスクボリューム一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのディスクボリューム一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのディスクボリューム一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ディスクボリューム一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたディスクボリューム一覧のページに遷移します。

3.10. ストレージの詳細情報

ストレージの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のストレージのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにストレージの詳細情報が表示されます。

システムリソース > ストレージ > S1400

基本情報	
名前	S1400
タイプ	iStorage
番号	0

ディスクボリューム一覧				
表示件数	20	共有 非共有 解除		
<input type="checkbox"/>	名前	番号	共有状態	使用状況
<input type="checkbox"/>	ESX_SAN1	0	非共有	未使用
<input type="checkbox"/>	PVMINF_Windows_0035	53	非共有	未使用
<input type="checkbox"/>	Xen_SAN1	60	非共有	未使用

| 共有 | 非共有 | 解除 |

基本情報	
名前	ストレージ名を表示します。
タイプ	ストレージの種類を表示します。
番号	ストレージの番号を表示します。

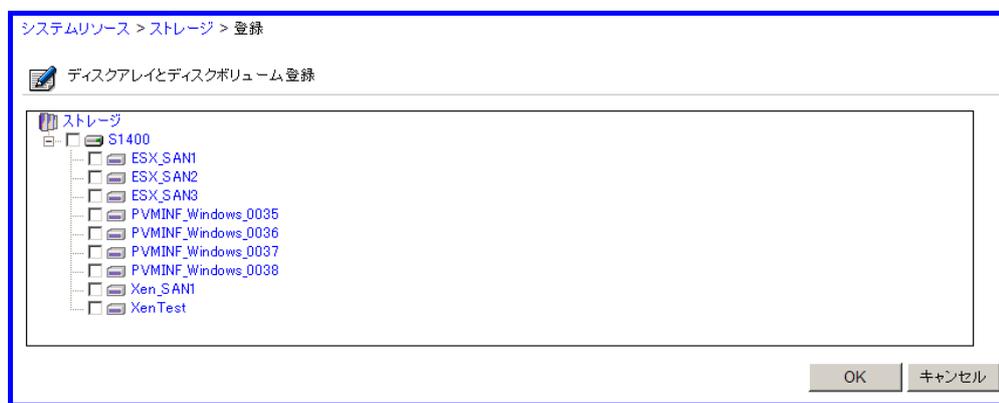
ディスクボリューム一覧	
表示件数	ディスクボリューム一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	ディスクボリュームを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのディスクボリュームが選択されます。
名前	ディスクボリューム名を表示します。
番号	ディスクボリュームの番号を表示します。
共有状態	ディスクボリュームの共有状態を表示します。
使用状況	ディスクボリュームの使用状況を表示します。
共有	ディスクボリュームを共有可能にします。
非共有	ディスクボリュームを共有不可にします。
解除	選択したディスクボリュームを解除します。
≤	前のページのディスクボリューム一覧に遷移します。
≥	次のページのディスクボリューム一覧に遷移します。

<<	先頭ページのディスクボリューム一覧に遷移します。
>>	末尾ページのディスクボリューム一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ディスクボリューム一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたディスクボリューム一覧のページに遷移します。

3.10.1. ディスクアレイとディスクボリューム登録

ディスクアレイとディスクボリュームの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイとディスクボリューム登録] をクリックすると、メインウィンドウに「ディスクアレイとディスクボリュームを登録」が表示されます。



ディスクアレイとディスクボリューム登録	
ストレージ	ツリーからディスクアレイ、またはディスクボリュームを選択します。
[OK]	ディスクアレイとディスクボリューム登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ディスクアレイとディスクボリューム登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.10.2. ディスクボリューム共有

ディスクボリュームを共有可能にします。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから共有にするディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [共有] をクリックすると、ディスクボリュームが共有可能になります。

3.10.3. ディスクボリューム非共有

ディスクボリュームを非共有にします。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから非共有にするディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [非共有] をクリックすると、ディスクボリュームが非共有になります。

3.10.4. ディスクボリューム解除

ディスクボリュームを解除します。

[システムリソース] ツリーから [ストレージ] アイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[ディスクボリューム一覧] グループボックスから解除するディスクボリュームを選択し、[アクション] メニューから [解除] をクリックすると、解除されます。

3.10.5. ストレージ解除

ストレージを解除します。

[システムリソース] ツリーから解除するストレージのアイコンをクリックし、メインウィンドウにストレージの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ディスクアレイ解除] をクリックすると、解除されます。

3.11. [ネットワークデバイス] アイコン

[ネットワークデバイス] アイコンは、スイッチ、スイッチブレードおよびロードバランサの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックすると、[ネットワークデバイス一覧] グループボックスが表示されます。



ネットワークデバイス一覧	
表示件数	ネットワークデバイス一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	ネットワークデバイスを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのネットワークデバイスが選択されます。
名前	ネットワークデバイス名およびアイコンを表示します。
種別	ネットワークデバイスの種別を表示します。
IP アドレス	ネットワークデバイスのIPアドレスを表示します。
製品名	ネットワークデバイスの製品名を表示します。
編集	ネットワークデバイス情報の編集を行います。
解除	ネットワークデバイスを操作できないようにします。
≦	前のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≧	次のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ネットワークデバイス一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたネットワークデバイス一覧のページに遷移します。

3.12. スイッチの詳細情報

スイッチの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のスイッチのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにスイッチの詳細情報が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > SW-171

基本情報						設定
名前	SW-171					スイッチ編集 スイッチ解除 VLAN追加
種別	スイッチ					
IPアドレス	192.168.1.171					
製品名						
説明						
VLAN一覧						操作
						画面更新
VLAN削除						
<input type="checkbox"/>	VLAN ID	VLAN名	ポート	接続マシン	編集	
<input type="checkbox"/>	20	VLAN20	FastEthernet1/15			
<input type="checkbox"/>	20	VLAN20	FastEthernet1/1			
<input type="checkbox"/>	40	VLAN40	FastEthernet1/14			
<input type="checkbox"/>	40	VLAN40	FastEthernet1/10	SRV-DB107		
VLAN削除						

基本情報	
名前	スイッチ名を表示します。
種別	スイッチの種別を表示します。
IP アドレス	スイッチのIPアドレスを表示します。
製品名	スイッチの製品名を表示します。
説明	スイッチの説明を表示します。
VLAN 一覧	
(チェックボックス)	VLANを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのVLANが選択されます。
VLAN ID	VLAN IDを表示します。
VLAN 名	VLAN名を表示します。
ポート	VLANのポートを表示します。
接続マシン	VLANに接続するマシンを表示します。
編集	VLAN情報の編集を行います。「VLAN編集」ウィンドウに遷移します。
<u>VLAN 削除</u>	選択したVLANを削除します。

3.12.1. スイッチ登録

スイッチの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [スイッチ登録] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチ登録」が表示されます。



スイッチ登録	
ネットワークデバイス一覧	
表示件数	ネットワークデバイス一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	スイッチを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのスイッチが選択されます。
名前	スイッチ名を表示します。
IP アドレス	IPアドレスを表示します。
≤	前のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥	次のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ネットワークデバイス一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたネットワークデバイス一覧のページに遷移します。
[OK]	スイッチ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スイッチ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.12.2. スイッチ編集

スイッチの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うスイッチのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスイッチの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スイッチ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチ編集」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > SW-171

スイッチ編集

名前: SW-171

種別: スイッチ

IPアドレス: 192.168.1.171

製品名:

説明:

OK キャンセル

スイッチ編集	
名前	スイッチ名を表示します。編集はできません。
種別	スイッチの種別を表示します。編集はできません。
IP アドレス	IPアドレスを表示します。編集はできません。
製品名	製品名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	スイッチの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	スイッチ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スイッチ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.12.3. スイッチ解除

スイッチの解除を行います。

[システムリソース] ツリーから解除を行うスイッチのアイコンをクリックし、メインウィンドウにスイッチの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [スイッチ解除] をクリックすると、解除されます。

3.12.4. スイッチブレード登録

スイッチブレードの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [スイッチブレード登録] をクリックすると、メインウィンドウに「スイッチブレード登録」が表示されます。



スイッチブレード登録	
ネットワークデバイス一覧	
表示件数	ネットワークデバイス一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	スイッチブレードを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのスイッチブレードが選択されます。
名前	スイッチブレード名を表示します。
IP アドレス	IPアドレスを表示します。
≤	前のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥	次のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ネットワークデバイス一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたネットワークデバイス一覧のページに遷移します。
[OK]	スイッチブレード登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	スイッチブレード登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.12.5. VLAN 追加

スイッチ、スイッチブレードに VLAN の登録と、スイッチ間を接続するポート、外部ネットワークに接続するポートを VLAN に登録します。

[システムリソース] ツリーから VLAN の追加を行うスイッチおよびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VLAN 追加] をクリックすると、メインウィンドウに「VLAN 追加」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > SWB-173 > 新規

VLAN追加

名前: VLAN10

VLAN ID: 10

説明:

ポート一覧	
	ポート
<input type="checkbox"/>	lan1
<input type="checkbox"/>	lan2
<input checked="" type="checkbox"/>	lan3

OK キャンセル

VLAN 追加	
名前	VLAN名を入力します。入力できる文字・文字数は、スイッチ、スイッチブレードで異なります。スイッチの場合、入力できる文字は半角英数および半角記号 (“¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”、“'”、“”” “を除く)、文字数は256文字以内です。スイッチブレードの場合、入力できる文字は半角英数および半角記号 (“?” スペースを除く)、文字数は半角40文字以内です。
VLAN ID	VLAN IDを入力します。スイッチの場合、VLAN IDに有効な数値は装置によって異なります。スイッチブレードの場合、「2~4094」の範囲で設定できます。
説明	VLANの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
ポート一覧	
(チェックボックス)	ポートを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのポートが選択されます。
ポート	ポートを表示します。
[OK]	VLAN追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	VLAN追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.12.6. VLAN 編集

スイッチ、スイッチブレードに登録されている VLAN と、VLAN に登録されているスイッチ間を接続するポート、外部ネットワークに接続するポートを編集します。

[システムリソース] ツリーから VLAN の編集を行うスイッチおよびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。[VLAN 一覧] グループボックスから対象の VLAN の [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「VLAN 編集」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > SW-171 > VLAN40

VLAN 編集

名前	VLAN40
VLAN ID	40
説明	

ポート一覧

	ポート
<input type="checkbox"/>	lan1
<input type="checkbox"/>	lan2
<input checked="" type="checkbox"/>	lan3

OK キャンセル

VLAN 編集	
名前	VLAN名を表示し、編集もできます。入力できる文字・文字数は、スイッチ、スイッチブレードで異なります。スイッチの場合、入力できる文字は半角英数および半角記号（“¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”、“””“を除く）、文字数は256文字以内です。スイッチブレードの場合、入力できる文字は半角英数および半角記号（“?”、スペースを除く）、文字数は半角40文字以内です。
VLAN ID	VLAN IDを表示し、編集もできます。スイッチの場合、VLAN IDに有効な数値は装置によって異なります。スイッチブレードの場合、「2～4094」の範囲で設定できます。
説明	VLANの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
ポート一覧	
(チェックボックス)	ポートを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのポートが選択されます。
ポート	ポートを表示します。
[OK]	VLAN編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	VLAN編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.12.7. VLAN 削除

VLAN の削除を行います。

[システムリソース] ツリーから VLAN の削除を行うスイッチおよびスイッチブレードのアイコンをクリックし、メインウィンドウに詳細情報を表示します。削除する VLAN のチェックボックスをオンにし、[VLAN 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [VLAN 削除] をクリックすると、削除されます。

3.13. ロードバランサの詳細情報

ロードバランサの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから対象のロードバランサのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。

システムリソース > ネットワークデバイス > LB-172

基本情報	
名前	LB-172
種別	ロードバランサ
IPアドレス	192.168.1.172
製品名	
説明	

設定 ▼

ロードバランサ編集
ロードバランサ解除
LBグループ追加

操作 ▼

画面更新

ロードバランサグループ一覧						
削除						
<input type="checkbox"/>	仮想サーバ	IPアドレス	ポート	リアルサーバ	RSポート	編集
<input type="checkbox"/>	VS1	192.168.11.1	8080	192.168.1.0/24	8080	
<input type="checkbox"/>	VS2	192.168.11.2	8080	192.168.2.0/24	8080	
<input type="checkbox"/>	VS3	192.168.3.1	8070	192.168.3.0/24	8070	
削除						

基本情報	
名前	ロードバランサ名を表示します。
種別	ロードバランサの種別を表示します。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
製品名	ロードバランサの製品名を表示します。
説明	ロードバランサの説明を表示します。
ロードバランサグループ一覧	
(チェックボックス)	ロードバランサグループを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロードバランサグループが選択されます。
仮想サーバ	仮想サーバ名を表示します。
IP アドレス	仮想サーバのIPアドレスを表示します。
ポート	仮想サーバのポートを表示します。
リアルサーバ	リアルサーバのネットワークアドレスを表示します。
RS ポート	リアルサーバのRSポートを表示します。
編集	ロードバランサグループの編集を行います。「ロードバランサグループ編集」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したロードバランサグループを削除します。

3.13.1. ロードバランサ登録

ロードバランサの登録を行います。

[システムリソース] ツリーから [ネットワークデバイス] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [ネットワークデバイス一覧] グループボックスを表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ登録] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサ登録」が表示されます。



ロードバランサ登録	
ネットワークデバイス一覧	
表示件数	ロードバランサー一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	ロードバランサを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロードバランサが選択されます。
名前	ロードバランサ名を表示します。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
≤	前のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥	次のページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのネットワークデバイス一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ネットワークデバイス一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたネットワークデバイス一覧のページに遷移します。
[OK]	ロードバランサ登録情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロードバランサ登録情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.13.2. ロードバランサ編集

ロードバランサの編集を行います。

[システムリソース] ツリーから編集を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサ編集」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > LB-172

ロードバランサ編集

名前: LB-172

種別: ロードバランサ

IPアドレス: 192.168.1.172

製品名:

説明:

OK キャンセル

ロードバランサ編集	
名前	ロードバランサ名を表示します。編集はできません。
種別	ロードバランサの種別を表示します。編集はできません。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。編集はできません。
製品名	ロードバランサの製品名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	ロードバランサの説明を表示し、編集もできます。
[OK]	ロードバランサ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロードバランサ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.13.3. ロードバランサ解除

ロードバランサの解除を行います。

[システムリソース] ツリーから解除を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [ロードバランサ解除] をクリックすると、解除されます。

3.13.4. ロードバランサグループ追加

ロードバランサグループの追加を行います。

[システムリソース] ツリーからロードバランサグループを追加する対象のロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [LB グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサグループ追加」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > LB-172 > 新規

ロードバランサグループ追加

名前

説明

仮想サーバ

IPアドレス

ポート番号

負荷分散方式

セッション管理方式

クッキー

プロトコル TCP UDP

リアルサーバ

ネットワークアドレス

サブネットマスク

ポート番号

重み

OK キャンセル

ロードバランサグループ追加	
名前	ロードバランサグループ名を入力します。入力できる文字は半角英数および半角記号 (“¥”、“/”、“:”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”、“'”、“”” “を除く)、文字数は256文字以内です。
説明	ロードバランサグループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
仮想サーバ	
IP アドレス (入力必須)	仮想サーバのIPアドレスを入力します。
ポート番号 (入力必須)	仮想サーバのポート番号を入力します。「1～65535」の範囲で設定できます。
負荷分散方式	仮想サーバの負荷分散方式を選択します。使用する装置により負荷分散方式で選択できる項目が変わります。
セッション管理方式	仮想サーバのセッション管理方式を選択します。使用する装置によりセッション管理方式で選択できる項目が変わります。
クッキー	仮想サーバのセッション管理方式が、“Cookie” の場合、クッキーを入力します。入力できる文字はアルファベットで始まる英数字と半角記号 (“.”、“-”、“_”)、文字数は256文字以内です。
プロトコル	仮想サーバのプロトコルを選択します。
リアルサーバ	
ネットワークアドレス (入力必須)	リアルサーバのネットワークアドレスを入力します。
サブネットマスク (入力必須)	リアルサーバのサブネットマスクを入力します。
ポート番号 (入力必須)	リアルサーバのポート番号を入力します。「1～65535」の範囲で設定できます。
重み	リアルサーバの重みを入力します。[仮想サーバ] グループボックスの [負荷分散方式] プルダウンボックスが “Weight” の場合、重みを入力します。「0～65000」の範囲で設定できます。
[OK]	ロードバランサグループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロードバランサグループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.13.5. ロードバランサグループ編集

ロードバランサグループの編集を行います。

[システムリソース] ツリーからロードバランサグループを編集するロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。[ロードバランサグループ一覧] グループボックスから対象の [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ロードバランサグループ編集」が表示されます。

システムリソース > ネットワークデバイス > LB-172 > VS2

ロードバランサグループ編集

名前 VS2

説明

仮想サーバ

IPアドレス 192.168.11.2

ポート番号 8080

負分散方式 Weight

セッション管理方式 Cookie

クッキー cookie

プロトコル TCP UDP

リアルサーバ

ネットワークアドレス 192.168.2.0

サブネットマスク 255.255.255.0

ポート番号 8080

重み 150

OK キャンセル

ロードバランサグループ編集	
名前	ロードバランサグループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数および半角記号 (“¥”、“/”、“.”、“*”、“?”、“<”、“>”、“ ”、“'”、“””” を除く)、文字数は256文字以内です。
説明	ロードバランサグループの説明を表示し、編集もできます。
仮想サーバ	
IP アドレス	仮想サーバのIPアドレスを表示し、編集もできます。
ポート番号	仮想サーバのポート番号を表示し、編集もできます。
負荷分散方式	仮想サーバの負荷分散方式を表示し、変更もできます。使用する装置により負荷分散方式で選択できる項目が変わります。
セッション管理方式	仮想サーバのセッション管理方式を表示し、変更もできます。使用する装置によりセッション管理方式で選択できる項目が変わります。
クッキー	仮想サーバのセッション管理方式が、“Cookie” の場合、クッキーを表示し、変更もできます。入力できる文字はアルファベットで始まる英数字と半角記号 (“.”、“_”)、文字数は256文字以内です。
プロトコル	仮想サーバのプロトコルを表示し、変更もできます。
リアルサーバ	
ネットワークアドレス	リアルサーバのネットワークアドレスを表示し、編集もできます。
サブネットマスク	リアルサーバのサブネットマスクを表示し、編集もできます。
ポート番号	リアルサーバのポート番号を表示し、編集もできます。
重み	リアルサーバの重みを表示し、編集もできます。
[OK]	ロードバランサグループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	ロードバランサグループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.13.6. ロードバランサグループ削除

ロードバランサグループの削除を行います。

[システムリソース] ツリーから削除を行うロードバランサのアイコンをクリックし、メインウィンドウにロードバランサの詳細情報を表示します。削除するロードバランサグループのチェックボックスをオンにし、[ロードバランサグループ一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

3.14. [ソフトウェア] アイコン

[ソフトウェア] アイコンは、ソフトウェアの管理を行います。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックすると、基本情報および [ソフトウェア一覧] グループボックスが表示されます。

表示されるソフトウェアは、DeploymentManager のシナリオ、ローカルスクリプト、仮想マシンのテンプレートの 3 種類があります。

DeploymentManager のシナリオ、仮想マシンのテンプレート情報は、[管理] ビューのサブシステムの詳細情報で該当するサブシステムを選択し、[アクション] メニューから [収集] をクリックすると更新されます。

ローカルスクリプトを含むすべてのソフトウェア情報を更新する場合、[管理] ビューの [操作] メニューから [収集] をクリックして更新します。



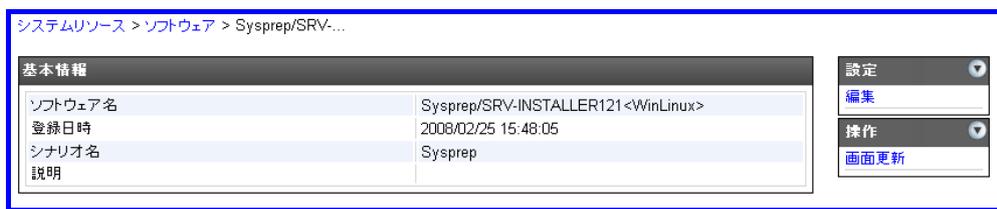
基本情報	ソフトウェアの定義および説明を表示します。
ソフトウェア一覧	
表示件数	ソフトウェア一覧の表示件数を選択します。
ソフトウェア	ソフトウェア名を表示します。
≦	前のページのソフトウェア一覧に遷移します。
≧	次のページのソフトウェア一覧に遷移します。
≪	先頭ページのソフトウェア一覧に遷移します。
≫	末尾ページのソフトウェア一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ソフトウェア一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたソフトウェア一覧のページに遷移します。

3.15. ソフトウェアの詳細情報

ソフトウェアの詳細情報を表示します。

[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示されるソフトウェア名、もしくは[システムリソース] ツリーから対象のソフトウェアのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにソフトウェアの詳細情報が表示されます。

◆ シナリオ、ローカルスクリプトの場合

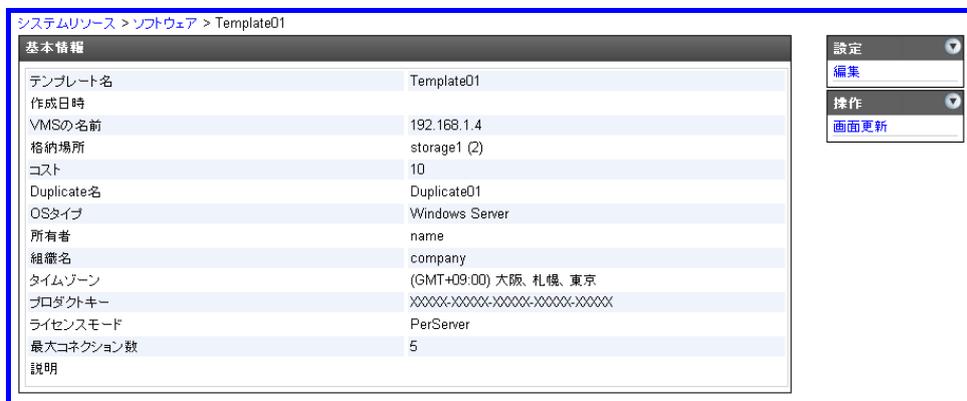


基本情報	
ソフトウェア名	ソフトウェア名を表示します。
登録日時	ソフトウェアの登録、もしくは更新日時を表示します。
シナリオ名	サブシステム内で管理されているシナリオ名、またはローカルスクリプト名を表示します。
説明	ソフトウェアの説明を表示します。

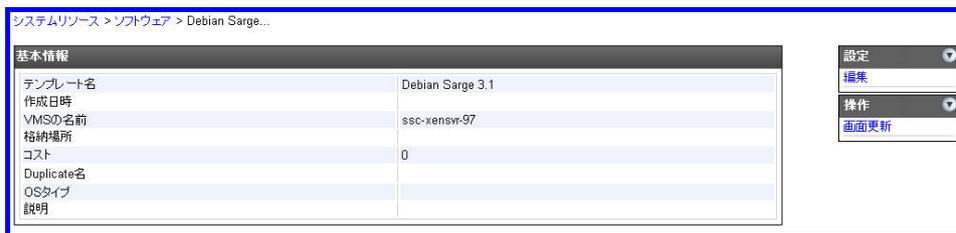
◆ テンプレートの場合

[所有者]、[組織名]、[タイムゾーン]、[プロダクトキー]、[ライセンスモード]、[最大コネクション数] は、Windows の場合のみ表示します。

<Windows の場合>



<Windows 以外の場合>



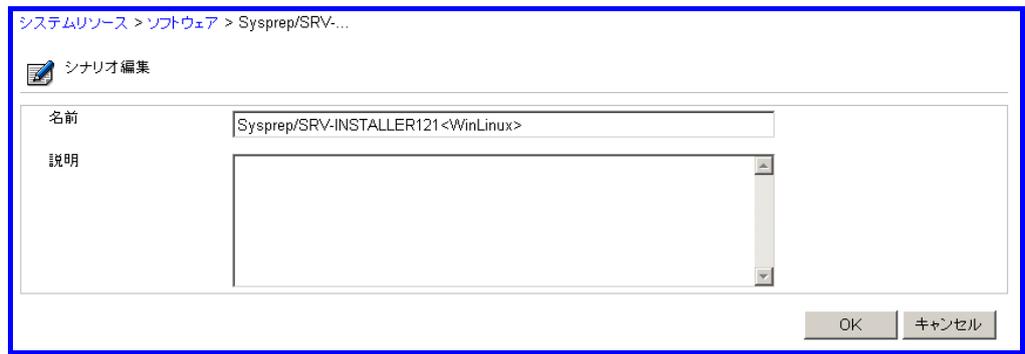
基本情報	
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
作成日時	テンプレートの作成、もしくは編集日時を表示します。
VMS の名前	仮想マシンサーバの名前を表示します。
格納場所	作成先Datastoreを表示します。
コスト	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を表示します。
Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報 (Duplicate) につける名称を表示します。
OS タイプ	テンプレートに登録されているOSの種類を表示します。
所有者	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有者名を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
組織名	テンプレートに登録されているOSライセンスの所有組織名を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
タイムゾーン	テンプレートに登録されているタイムゾーンを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
プロダクトキー	テンプレートに登録されているOSライセンスのプロダクトキーを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
ライセンスモード	テンプレートに登録されているライセンスモードを表示します (Windowsの場合のみ表示)。
最大コネクション数	テンプレートに登録されているライセンスモードで PerServerが表示されている場合、Windowsの PerServerMode (同時使用ユーザ数モード) に設定されるユーザ数を表示します (Windowsの場合のみ表示)。
説明	テンプレートに関する説明を表示します。

3.15.1. ソフトウェア編集

ソフトウェア名の編集を行います。

[システムリソース] ツリーから名前を変更するソフトウェアのアイコンをクリックし、メインウィンドウにソフトウェアの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [編集] をクリックすると、メインウィンドウにソフトウェアの編集ウィンドウが表示されます。

◆ シナリオ、ローカルスクリプトの場合



シナリオ編集	
名前 (入力必須)	ソフトウェア名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
説明	ソフトウェアの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	シナリオ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	シナリオ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

◆ テンプレートの場合

仮想 > 192.168.10.9 > Test_DataCenter > templateVM128

テンプレート編集

テンプレート名

コスト値

説明(255文字以内)

Duplicate名

格納場所

[他の Duplicate からコピーする](#)

Windows設定/Linux設定 Windows Linux

名前

組織名

タイムゾーン

プロダクトキー

ライセンスモード 同時接続サーバ数 接続クライアント

OK キャンセル

テンプレート編集

テンプレート名	テンプレートの名称を表示します。編集はできません。
コスト値	コスト値を表示し、編集もできます。「1～999999」の範囲で設定できます。
説明 (255 文字以内)	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号（“_”、“-”）、および半角空白、文字数は80文字以内です。
格納場所	作成先Datastoreを表示します。
<u>他の Duplicate からコピーする</u>	既に別のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	テンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
Windows設定情報 (以下の項目は [OS設定選択] がWindowsの場合に限り選択 / 入力できます。)	

3 システムリソース

名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1~999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

3.15.2. ローカルスクリプト追加

ローカルスクリプトを追加します。

ローカルスクリプトファイルを *SystemProvisioning* インストールフォルダ¥Script に格納し、[システムリソース] ツリーをクリックし、[操作] メニューから [収集] をクリックして更新します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、追加したローカルスクリプトが表示されることを確認します。

注: 既定値は (C:¥Program Files¥NEC¥PVM¥Script) です。

3.15.3. ローカルスクリプト削除

ローカルスクリプトを削除します。

ローカルスクリプトファイルを *SystemProvisioning* インストールフォルダ¥Script から削除し、[システムリソース] ツリーをクリックし、[操作] メニューから [収集] をクリックして更新します。[システムリソース] ツリーから [ソフトウェア] アイコンをクリックし、削除したローカルスクリプトが表示されないことを確認します。

注: 既定値は (C:¥Program Files¥NEC¥PVM¥Script) です。

3.16. リソースグループへのメニュー操作

リソースグループで使用する操作に関するメニューについて説明します。

3.16.1. 起動 / 再起動 / サスペンド / シャットダウン

マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、マシンの電源を操作することができます。または、[システムリソース] ツリーからリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[マシナー覧] グループボックスからマシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックします。

3.16.2. 指定ソフトウェア配布

対象のマシンに指定ソフトウェアの配布を行います。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。または、[システムリソース] ツリーからソフトウェアを配布するマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにリソースグループの詳細情報を表示します。[マシナー覧] グループボックスの [アクション] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。



指定ソフトウェア配布	
ソフトウェア一覧	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。

	[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
	[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
	[OK]	指定したソフトウェアの配布を行います。
	[キャンセル]	指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

3.16.3. ジョブ実行結果のリセット

SystemProvisioning は、何らかの理由によりポリシーによるアクションや Web コンソールの操作などからマシンの起動・停止など、アクションの実行に失敗するとリソースの状態を「異常終了」に設定します。「異常」となっているマシンに関してログの採取や障害原因を取り除いた後、ジョブ実行結果をリセットします。

[システムリソース] ツリーから対象マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックすると、マシンにジョブ実行結果のリセットすることができます。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックします。

3.16.4. 故障状態の解除

マシンのハードウェア状態を故障から正常に解除します。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [故障状態の解除] をクリックすると、マシンの故障状態を解除することができます。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [故障状態の解除] をクリックします。

3.16.5. メンテナンスモードオン / メンテナンスモードオフ

メンテナンスモードをオン、もしくはオフにします。

[システムリソース] ツリーから対象のマシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウにマシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックすると、メンテナンスモードがオン / オフになります。

もしくは、[システムリソース] ツリーから [マシン] アイコン、または対象のマシンが所属するリソースグループのアイコンをクリックし、[マシン一覧] グループボックスから対象のマシンのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックします。

3.16.6. 収集

SigmaSystemCenter の情報を最新にするため、マシンなどの情報収集を行います。

[管理] ビューのサブシステムの詳細情報、もしくは [システムリソース] ツリーの [操作] メニューから [収集] をクリックすると、収集が行われます。

4. 運用

[運用] ビューでは、SigmaSystemCenterの運用について説明をします。

本章で説明する項目は以下の通りです。

• 4.1	[運用] ビュー	124
• 4.2	カテゴリ	126
• 4.3	カテゴリの詳細情報	126
• 4.4	運用グループ	130
• 4.5	運用グループの詳細情報	130
• 4.6	グループプロパティ設定	136
• 4.7	モデルプロパティ設定	152
• 4.8	ホストの詳細情報	162
• 4.9	ホスト設定	164
• 4.10	運用グループへのメニュー操作	173

4.1. [運用] ビュー

[運用] ビューでは、SigmaSystemCenter の運用することができます。
タイトルバーの [運用] をクリックすると、[運用] ビューに切り替わります。

注: カテゴリにロールが割り当てられている場合、そのロールを割り当てられていないユーザがログインすると、カテゴリ / グループ一覧にそのカテゴリが表示されません。

カテゴリ、ユーザに対してロールを割り当てるには、「SigmaSystemCenter コンフィギュレーションガイド」の「5.2 アクセス権限を設定する」を参照してください。



カテゴリ / グループ一覧	
表示件数	カテゴリ / 運用グループの表示件数を選択します。
(チェックボックス)	カテゴリ / 運用グループを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのカテゴリ / 運用グループが選択されます。
名前	カテゴリ名および運用グループ名を表示します。
種別	カテゴリもしくは運用グループの種別を表示します。
プライオリティ	運用グループのプライオリティを表示します。カテゴリにはプライオリティの設定はありませんので、“-” と表示されます。
削除	選択したカテゴリ、もしくは運用グループを削除します。
≤	前のページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≥	次のページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
(テキストボックス)	カテゴリ / グループ一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたカテゴリ / グループ一覧のページに遷移します。

4.2. カテゴリ

運用するマシンをカテゴリごとに管理します。

4.3. カテゴリの詳細情報

カテゴリの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象のカテゴリのアイコンをクリックすると、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報が表示されます。

基本情報	
名前	カテゴリ名を表示します。
説明	カテゴリの説明を表示します。
カテゴリ / グループ一覧	
表示件数	カテゴリ、もしくは運用グループ一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	カテゴリ、もしくは運用グループを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのカテゴリ、もしくは運用グループが選択されます。
名前	カテゴリに登録されているカテゴリ名、および運用グループ名を表示します。
種別	カテゴリもしくは運用グループの種別を表示します。
プライオリティ	カテゴリもしくは運用グループのプライオリティを表示します。カテゴリにはプライオリティの設定はありませんので、“-”と表示されます。
削除	選択したカテゴリもしくは運用グループを削除します。
≤	前のページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≥	次のページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのカテゴリ / グループ一覧に遷移します。
(テキストボックス)	カテゴリ / グループ一覧のページを指定します。

Go	テキストボックスに指定されたカテゴリ / グループ一覧のページに遷移します。
-----------	--

4.3.1. カテゴリ追加

カテゴリの追加を行います。

[運用] ツリー直下、カテゴリの配下にカテゴリを追加できます。

[設定] メニューから [カテゴリ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ追加」が表示されます。

注: 同一の階層ではカテゴリおよびグループの名前は重複できません。

カテゴリ追加	
名前 (入力必須)	カテゴリ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。"¥"、"/"、":", "、";", "*"、"?", "<", ">", " " は入力できません。
説明	カテゴリの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	カテゴリ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	カテゴリ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.2. カテゴリ編集

カテゴリの編集を行います。

[運用] ツリーから編集を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ編集」が表示されます。

注: 同一の階層ではカテゴリおよびグループの名前は重複できません。

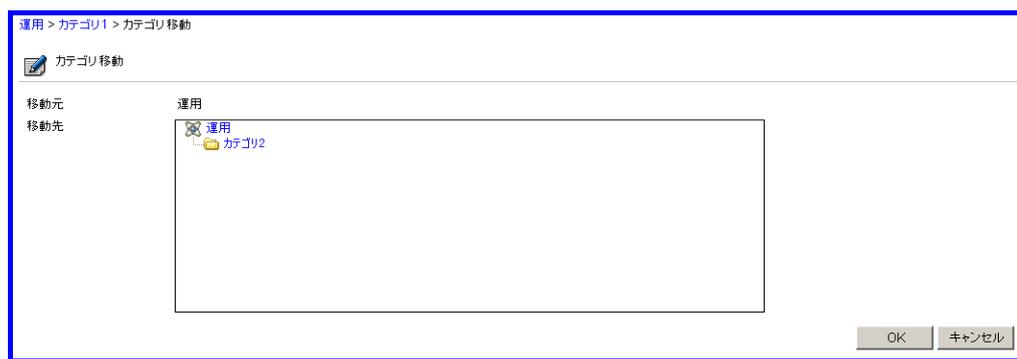
カテゴリ編集	
名前 (入力必須)	カテゴリ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。"¥"、"/"、"."、"!"、";"、"*"、"?", "<"、">"、" " は入力できません。
説明	カテゴリの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	カテゴリ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	カテゴリ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.3. カテゴリ移動

カテゴリの移動を行います。

カテゴリを [運用] アイコンの直下、または他のカテゴリの配下に移動します。

[運用] ツリーから移動を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「カテゴリ移動」が表示されます。



カテゴリ移動	
移動元	移動元の親カテゴリ名、または "運用" を表示します。
移動先	ツリーより移動先のカテゴリを選択します。
[OK]	カテゴリ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	カテゴリ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.3.4. カテゴリ削除

カテゴリを削除します。

[運用] ツリーから削除を行うカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [カテゴリ削除] をクリックすると、削除されます。

4.4. 運用グループ

運用するマシンをグループごとに管理します。

4.5. 運用グループの詳細情報

運用グループの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに運用グループの詳細情報が表示されます。

注: SIGMABLADE マシンを管理している DPM をサブシステムから削除する場合、稼働中の SIGMABLADE マシンをリソースプールに戻しておく必要があります。DPM の連携が行われていない場合、稼働中のマシンに対して一部の電源制御が行えなくなるため、利用中のホスト設定からマシンの割り当て解除が失敗します。

基本情報	
名前	グループ名を表示します。
プライオリティ	グループのプライオリティを表示します。
OS 種別	OSの種類を表示します。
ポリシー名	ポリシー名を表示します。
リソースプール利用方式	リソースプール利用方式を表示します。
CPU ブレード置換を優先	マシン置換時に、SIGMABLADEマシンに対して、利用中のIO仮想化ブレードを引き継いだ置換 (CPUブレード置換) を優先的に実施するか否かを、“True”、もしくは“False” で表示します。本設定は、SIGMABLADE連携機能利用時に、SIGMABLADEマシンに対してのみ有効です。

説明	グループの説明を表示します。
ホスト一覧	
表示件数	ホスト一覧の表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	ホストを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのホストが選択されます。
ホスト名	ホスト名を表示します。ホスト名をクリックすると、「ホストの詳細情報」ウィンドウに遷移します。
状態	ホストの状態を表示します。
電源	ホストの電源状態を表示します。
IP アドレス	ホストのIPアドレスを表示します。
リソース	マシンの詳細情報に遷移します。
モデル	ホストが所属しているモデルを表示します。
プロパティ	ホストプロパティ設定を行います。「ホスト設定」ウィンドウに遷移します。
割り当て解除	選択したマシンと、ホストの割り当てを解除します。
(プルダウンボックス)	選択したホストの操作を行います。 [ホスト一覧] グループボックスから操作するマシンのチェックボックスをオンにし、起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド / リソース割り当て / マスタマシン登録 / マシンの置換 / マシンの用途変更 / ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。
≦	前のページのホスト一覧に遷移します。
≧	次のページのホスト一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのホスト一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのホスト一覧に遷移します。
(テキストボックス)	ホスト一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたホスト一覧のページに遷移します。
リソースプール	
表示件数	リソースプールの表示件数を選択できます。
(チェックボックス)	リソースプールを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのリソースプールが選択されます。
リソース名	マシン名を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。

共有	マシンの共有状態を表示します。
モデル	マシンが所属しているモデルを表示します。
プールから削除	選択したマシンをプールから削除します。
(プルダウンボックス)	選択したリソースプールの操作を行います。 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド / 指定ソフトウェア配布 / ジョブ実行結果のリセット / 故障状態の解除 / メンテナンスオン / メンテナンスオフの中から操作を選択できます。
≡	前のページのリソースプールに遷移します。
≧	次のページのリソースプールに遷移します。
≦	先頭ページのリソースプールに遷移します。
≧	末尾ページのリソースプールに遷移します。
(テキストボックス)	リソースプールのページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたリソースプールのページに遷移します。

4.5.1. 運用グループ追加

運用グループの追加を行います。

[運用] ツリー直下、カテゴリの配下に運用グループを追加できます。

[運用] ツリー直下に運用グループを追加する場合、[運用] ツリーをクリックし、[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。カテゴリ配下に運用グループを追加する場合、対象のカテゴリのアイコンをクリックし、メインウィンドウにカテゴリの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ追加] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ追加」が表示されます。

注： 同一の階層ではカテゴリおよびグループの名前は重複できません。

グループ追加	
名前 (入力必須)	グループ名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。"¥"、"/"、"."、"、";"、"*"、"?"、"<"、">"、" " は入力できません。
OS 種別	OSの種類を選択します。
説明	グループの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	グループ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	グループ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.2. 運用グループ編集

運用グループの編集を行います。

[運用] ツリーから編集を行う運用グループのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ編集」が表示されます。

注: 同一の階層ではカテゴリおよびグループの名前は重複できません。

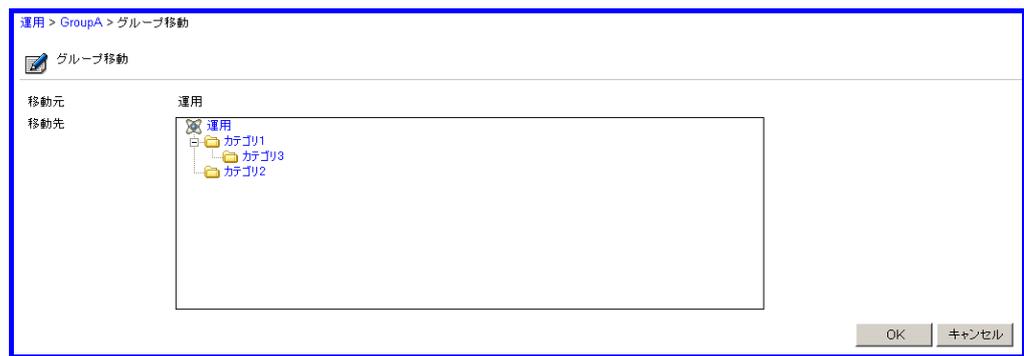
グループ編集	
名前 (入力必須)	グループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。"¥"、"/"、":", ";", "**", "?", "<", ">", " " は入力できません。
OS 種別	OSの種類を選択します。
説明	グループの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	グループ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	グループ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.3. 運用グループ移動

運用グループの移動を行います。

運用グループを [運用] アイコンの直下、または他のカテゴリの配下に移動します。

[運用] ツリーから移動を行う運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ移動] をクリックすると、メインウィンドウに「グループ移動」が表示されます。



グループ移動	
移動元	移動元の親カテゴリ名、または“運用”を表示します。
移動先	ツリーより移動先のカテゴリ名、または [運用] アイコンを選択します。
[OK]	グループ移動情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	グループ移動情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.5.4. 運用グループ削除

運用グループを削除します。

[運用] ツリーから削除を行う運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [グループ削除] をクリックすると、削除されます。

もしくは、[運用] ツリーから削除を行う運用グループが所属するカテゴリのアイコンをクリックし、カテゴリの詳細情報を表示します。[カテゴリ / グループ一覧] グループボックスから、対象の運用グループのチェックボックスをオンにします。[アクション] メニューから [削除] をクリックします。

4.6. グループプロパティ設定

グループプロパティの表示、設定を行います。

[運用] ツリーからグループプロパティ設定を行うグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックすると、メインウィンドウに [全般] タブ、[モデル] タブ、[ホスト] タブ、[ソフトウェア] タブ、[VLAN 設定] タブ、[LB 設定] タブ、[OS 設定] タブで構成された「グループプロパティ設定」が表示されます。

4.6.1. [全般] タブ

グループ全般に関する情報の表示、設定を行います。

The screenshot shows the 'Group Property Settings' dialog box with the 'General' tab selected. The dialog has a title bar '運用 > Group1' and a subtitle 'グループプロパティ設定'. Below the subtitle are tabs for '全般', 'モデル', 'ホスト', 'ソフトウェア', 'VLAN設定', 'LB設定', and 'OS設定'. The '全般' tab is active. The form contains the following fields and options:

- 親グループ名: なし
- グループ名: Group1
- プライオリティ: 1
- ポリシー名: 設定なし
- 指定ポリシーを参照する (link)
- ルールマシン使用方法:
 - グループ全体のマシンを使用する
 - グループ全体の有効なマシンが無い場合、未使用のマシンの中からマシンを選択する
- マシン置換ではCPUBlade置換を優先的に実行する
- グループ説明: (empty text area)

Buttons at the bottom right: 適用, キャンセル

全般	
親グループ名	親グループ名を表示します。
グループ名 (入力必須)	グループ名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
プールマシン使用方法	
グループプールのマシンを使用する	グループプールのマシンを使用する場合に選択します。
グループプールに有効なマシンが無い場合、未使用のマシンの中からマシンを選択する	グループプールに有効なマシンがなく、未使用のマシンの中から選択する場合に選択します。
マシン置換では CPUBlade 置換を優先的に実行する	SIGMABLADEマシンに対してマシン置換で、利用中のIO仮想化ブレードを引き継いだ置換 (CPUブレード置換) を優先的に実行する場合、チェックボックスをオンにします。サブシステムにSIGMABLADE controllerが登録されている場合のみ選択できます。
グループ説明	グループの説明を表示し、編集もできます。
[適用]	グループプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	グループプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.6.2. [モデル] タブ

モデルに関する情報を表示、設定を行います。



モデル	
モデル一覧	
(チェックボックス)	モデルを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのモデルが選択されます。
名前	モデル名を表示します。
種別	モデルの種別を表示します。
プライオリティ	プライオリティを表示します。
プロパティ	選択したモデルの編集を行います。「モデルプロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
<u>追加</u>	モデルを追加します。[モデル一覧] グループボックスの下部に [モデル追加] グループボックスが表示されます。
<u>削除</u>	選択したモデルを削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[モデル一覧] グループボックス下部に [モデル追加] グループボックスが表示されます。

The screenshot shows a web interface for 'グループプロパティ設定' (Group Property Setting). The breadcrumb path is '運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GR...'. The main menu includes '全般' (General), 'モデル' (Model), 'ホスト' (Host), 'ソフトウェア' (Software), 'VLAN設定' (VLAN Setting), 'LB設定' (LB Setting), and 'OS設定' (OS Setting). The 'モデル' tab is active. Below the menu, there are two sections: 'モデル一覧' (Model List) and 'モデル追加' (Add Model). The 'モデル一覧' section has a table with columns for '名前' (Name), '種別' (Type), 'プライオリティ' (Priority), and 'プロパティ' (Property), with '[追加]' and '[削除]' buttons. The 'モデル追加' section has input fields for '名前', a dropdown for '種別' (currently set to '物理'), and a text area for '説明'. There are '戻る', 'OK', and 'キャンセル' buttons.

モデル追加	
名前 (入力必須)	モデル名を入力します。入力できる文字数は100文字以内です。
種別	モデルの種別を選択します。
説明	モデルの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	モデル追加情報を保存し、[モデル一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	モデル追加情報を保存せずに、[モデル追加] グループボックスを閉じます。

4.6.3. [ホスト] タブ

ホストに関する情報の表示、設定を行います。



ホスト	
ホスト一覧	
(チェックボックス)	ホストを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのホストが選択されます。
ホスト名	ホスト名を表示します。
IP アドレス	IPアドレスを表示します。
プロパティ	選択したホストの編集を行います。「ホスト設定」ウィンドウに遷移します。
追加	ホストを追加します。[ホスト一覧] グループボックスの下部に、[ホスト追加] グループボックスが表示されます。
削除	選択したホストを削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ホスト一覧] グループボックス下部に [ホスト追加] グループボックスが表示されます。



ホスト追加	
ホスト名 (入力必須)	ホスト名を入力します。入力できる文字数は63文字以内です。
[OK]	ホスト追加情報を保存し、[ホスト一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ホスト追加情報を保存せずに、[ホスト追加] グループボックスを閉じます。

4.6.4. [ソフトウェア] タブ

ソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。



ソフトウェア	
ソフトウェア一覧	
ソフトウェアの種類	ソフトウェアの種類を、マシン稼動時に配布 / マシン待機時に配布から選択します。
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
<u>追加</u>	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に、[ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
<u>削除</u>	選択したソフトウェアを削除します。
[適用]	ソフトウェア一覧情報を適用します。
[キャンセル]	ソフトウェア一覧情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェア一覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



ソフトウェア追加	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[OK]	ソフトウェア追加情報を保存し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

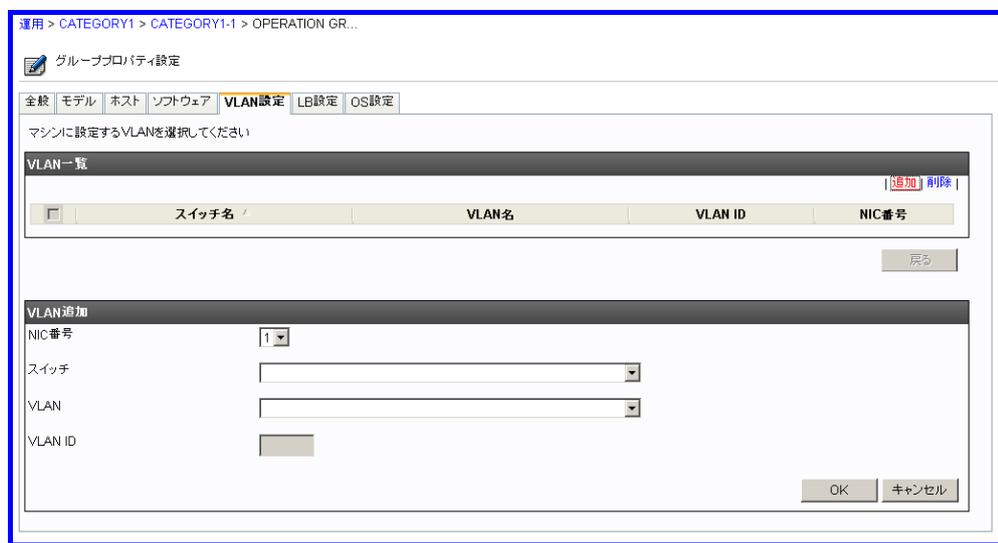
注: 仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

4.6.5. [VLAN 設定] タブ

VLAN に関する情報の表示、設定を行います。

VLAN 設定	
VLAN 一覧	
(チェックボックス)	スイッチを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのスイッチが選択されます。
スイッチ名	スイッチ名を表示します。
VLAN 名	VLAN名を表示します。
VLAN ID	VLAN IDを表示します。
NIC 番号	NIC番号を表示します。
追加	VLANを追加します。[VLAN一覧] グループボックスの下部に、[VLAN追加] グループボックスが表示されます。
削除	選択したVLANを削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[VLAN 一覧] グループボックス下部に [VLAN 追加] グループボックスが表示されます。



VLAN 追加	
NIC 番号	NIC番号を選択します。「1～7」の範囲で選択できます。
スイッチ	スイッチを選択します。
VLAN	VLANを選択します。
VLAN ID	VLAN IDを表示します。編集を行うことはできません。
[OK]	VLAN追加情報を保存し、[VLAN一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	VLAN追加情報を保存せずに、[VLAN追加] グループボックスを閉じます。

4.6.6. [LB 設定] タブ

ロードバランサに関する情報の表示、設定を行います。

運用 > Group1

グループプロパティ設定

全般 モデル ホスト ソフトウェア VLAN設定 **LB設定** OS設定

マシンに設定するLBグループを選択してください

ロードバランサー一覧 | 追加 | 削除 |

<input type="checkbox"/>	LB名	LBグループ名	IPアドレス	プロトコル	ポート
<input type="checkbox"/>	LB-172	VS1	192.168.11.1	Tcp	8080

LB 設定	
ロードバランサー一覧	
(チェックボックス)	ロードバランサを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロードバランサが選択されます。
LB 名	ロードバランサ名を表示します。
LB グループ名	ロードバランサグループを表示します。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
プロトコル	ロードバランサが使用するプロトコルを表示します。
ポート	ロードバランサのポート番号を表示します。
追加	ロードバランサを追加します。[ロードバランサー一覧] グループボックスの下部に、[ロードバランサ追加] グループボックスが表示されます。
削除	選択したロードバランサを削除します。
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ロードバランサー一覧] グループボックス下部に [ロードバランサ追加]グループボックスが表示されます。

ロードバランサ追加	
(チェックボックス)	ロードバランサを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのロードバランサが選択されます。
LB 名	ロードバランサ名を表示します。
LB グループ名	ロードバランサグループを表示します。
IP アドレス	ロードバランサのIPアドレスを表示します。
プロトコル	ロードバランサが使用するプロトコルを表示します。
ポート	ロードバランサのポート番号を表示します。
[OK]	ロードバランサ追加情報を保存し、[ロードバランサー一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ロードバランサ追加情報を保存せずに、[ロードバランサ追加] グループボックスを閉じます。

4.6.7. [OS 設定] タブ (Windows の場合)

OS (Windows の場合) に関する情報の表示、設定を行います。

The screenshot displays the 'OS 設定' (OS Settings) tab within the 'グループプロパティ設定' (Group Property Settings) window. The breadcrumb path is '運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GR...'. The 'OS 設定' tab is active, showing the following configuration options:

- OS種別** (OS Type): Windows Server
- Administratorのパスワード** (Administrator Password): [Redacted] パスワード更新
- ワークグループ/ドメイン** (Workgroup/Domain):
 - 次のワークグループに参加している (Join this workgroup): workgroup
 - 次のドメインに参加している (Join this domain): [Redacted]
- アカウント** (Account): [Redacted]
- パスワード** (Password): [Redacted] パスワード更新
- NIC** (Network Interface Card) settings:

NIC#1	NIC#2	NIC#3	NIC#4
優先DNS (Preferred DNS): [Redacted]			
代替DNS (Alternate DNS): [Redacted]			
優先WINS (Preferred WINS): [Redacted]			
代替WINS (Alternate WINS): [Redacted]			

Buttons at the bottom right: 適用 (Apply), キャンセル (Cancel).

OS 設定	
OS 種別	OSの種類を表示します。編集はできません。
Administrator のパスワード	Administratorのパスワードを入力します。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[Administratorのパスワード] テキストボックスが入力できます。
Windows 設定	
次のワークグループに参加している	ワークグループを使用する場合に選択します。
(テキストボックス) (入力必須)	[次のワークグループに参加している] を選択している場合に限り、ワークグループ名を入力します。入力できる文字数は15文字以内です。
次のドメインに参加している	ドメインを使用する場合に選択します。
(テキストボックス) (入力必須)	[次のドメインに参加している] が選択している場合に限り、ドメイン名を入力します。入力できる文字数は155文字以内です。
アカウント (入力必須)	[次のドメインに参加している] が選択している場合に限り、アカウント名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
パスワード (入力必須)	[次のドメインに参加している] が選択している場合、および [パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。入力できる文字数は6～256文字以内です。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。[次のドメインに参加している] がオンの場合に限り、選択できます。チェックボックスをオンにすると、[パスワード] テキストボックスが入力できます。
NIC	
優先 DNS	優先DNSのIPアドレスを入力します。
代替 DNS	代替DNSのIPアドレスを入力します。
優先 WINS	優先WINSのIPアドレスを入力します。
代替 WINS	代替WINSのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	グループプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.6.8. [OS 設定] タブ (Linux の場合)

OS (Linux の場合) に関する情報の表示、設定を行います。

運用 > グループ

グループプロパティ設定

全般 | モデル | ホスト | ソフトウェア | VLAN設定 | LB設定 | **OS設定**

OS種別: Linux

rootパスワード: パスワード更新

ドメインサフィックス:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

ターシャリDNS:

適用 | キャンセル

OS 設定	
OS 種別	OSの種類を選択します。編集はできません。
root パスワード	rootのパスワードを入力します。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[root/パスワード] テキストボックスが入力できます。
ドメインサフィックス	ドメインサフィックスを入力します。入力できる文字数は63文字以内です。モデルの種別が「VM」の場合、入力必須です。
プライマリ DNS	プライマリDNSのIPアドレスを入力します。
セカンダリ DNS	セカンダリDNSのIPアドレスを入力します。
ターシャリ DNS	ターシャリDNSのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定を適用します。
[キャンセル]	グループプロパティ設定を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.6.9. [OS 設定] タブ (HP-UX の場合)

OS (HP-UX の場合) に関する情報の表示、設定を行います。

運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GROUP

グループプロパティ設定

全般 モデル ホスト ソフトウェア VLAN設定 LB設定 **OS設定**

OS種別

rootパスワード パスワード作成

DNSドメイン名

DNSサーバ

OS 設定	
OS 種別	OSの種類を選択します。編集はできません。
root パスワード	rootのパスワードを入力します。[パスワード作成] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードを入力できます。
パスワード作成	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、[rootパスワード] テキストボックスが入力できます。
DNS ドメイン名	DNSドメイン名を入力します。入力できる文字数は64文字以内です。
DNS サーバ	DNSサーバのIPアドレスを入力します。
[適用]	グループプロパティ設定を適用します。
[キャンセル]	グループプロパティ設定を適用せず、元のウィンドウに戻ります。

4.7. モデルプロパティ設定

モデルプロパティの表示、設定を行います。

グループプロパティ設定の [モデル] タブから [モデル一覧] グループボックスのプロパティの [編集] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに「モデルプロパティ設定」が表示されます。

4.7.1. [全般] タブ (物理マシンの場合)

モデルの種別が [物理] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。

運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GR... > MODEL1

モデルプロパティ設定

全般 ソフトウェア

グループ名 OPERATION GROUP1

モデル種別 物理

モデル名 MODEL1

プライオリティ 1

ポリシー名 設定なし

[指定ポリシーを参照する](#)

モデル説明

適用 キャンセル

全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。
モデル名 (入力必須)	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
<u>指定ポリシーを参照する</u>	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.7.2. [全般] タブ (仮想マシンの場合)

モデルの種別が [VM] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。

The screenshot shows the 'Model Properties' dialog box with the 'General' tab selected. The dialog is titled '運用 > WinVMGroup > VMwareVM' and 'モデルプロパティ設定'. The '全般' tab is active, with 'ソフトウェア' and 'ネットワーク' tabs also visible. The settings are as follows:

グループ名	WinVMGroup
モデル種別	VM
モデル名	VMwareVM
プライオリティ	1
ポリシー名	設定なし
	指定ポリシーを参照する
VMサーバモデル	設定なし
<input type="checkbox"/> 最適起動を有効にする	
<input type="checkbox"/> VMを作成した時、DPMに登録する	
DPM Webサーバ	設定なし
DPM管理サーバ	設定なし
モデル説明	

Buttons at the bottom right: 適用 (Apply) and キャンセル (Cancel).

全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。
モデル名 (入力必須)	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
<u>指定ポリシーを参照する</u>	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
VM サーバモデル	VMモデルとVMサーバモデルを関連付ける場合、「VMサーバモデル」を選択します。
最適起動を有効にする	仮想マシンの最適起動を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。
VM を作成した時、DPM に登録する	仮想マシンを稼動時にDPMに登録する場合、チェックボックスをオンにします。
DPM Web サーバ	[VMを作成した時、DPMに登録する] チェックボックスがオンの場合、Webサーバ for DPMを選択します。
DPM 管理サーバ	[VMを作成した時、DPMに登録する] チェックボックスがオンの場合、管理サーバ for DPMを選択します。
モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.7.3. [全般] タブ (仮想マシンサーバの場合)

モデルの種別が [VM サーバ] の場合、モデル全般の設定を表示、設定を行います。

The screenshot shows the 'Model Properties' dialog box with the 'General' tab selected. The dialog is titled 'WinVMGroup > VMServer' and contains the following fields:

グループ名	WinVMGroup
モデル種別	VMサーバ
モデル名	VMServer
プライオリティ	1
ポリシー名	設定なし
	指定ポリシーを参照する
データセンタ	設定なし
モデル説明	

Buttons at the bottom right: 適用 (Apply), キャンセル (Cancel).

全般	
グループ名	グループ名を表示します。
モデル種別	モデルの種類を表示します。編集はできません。
モデル名 (入力必須)	モデル名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
プライオリティ	プライオリティを表示し、変更もできます。「1～10」の範囲で選択できます。
ポリシー名	ポリシー名を表示し、変更もできます。
<u>指定ポリシーを参照する</u>	[ポリシー名] プルダウンボックスで指定した「ポリシープロパティ設定」ウィンドウに遷移します。
データセンタ	モデルで使用するDataCenterを選択します。
モデル説明	モデルの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

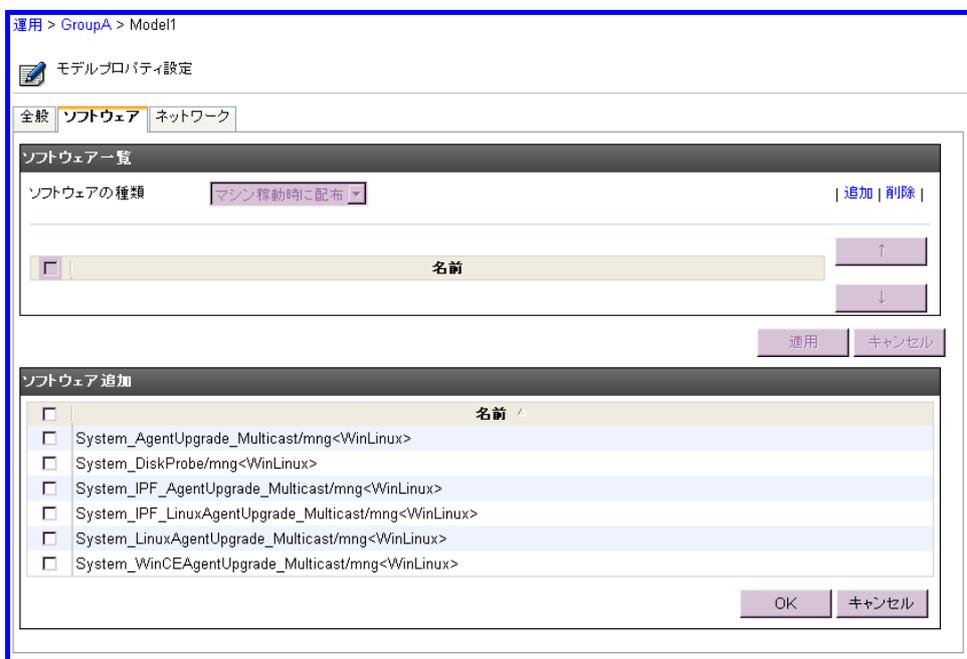
4.7.4. [ソフトウェア] タブ

モデルのソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。



ソフトウェア	
ソフトウェア一覧	
ソフトウェアの種類	ソフトウェアの種類を、マシン稼働時に配布 / マシン待機時に配布から選択します。
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
<u>追加</u>	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に、[ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
<u>削除</u>	選択したソフトウェアを削除します。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェア一覧] グループボックス下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。

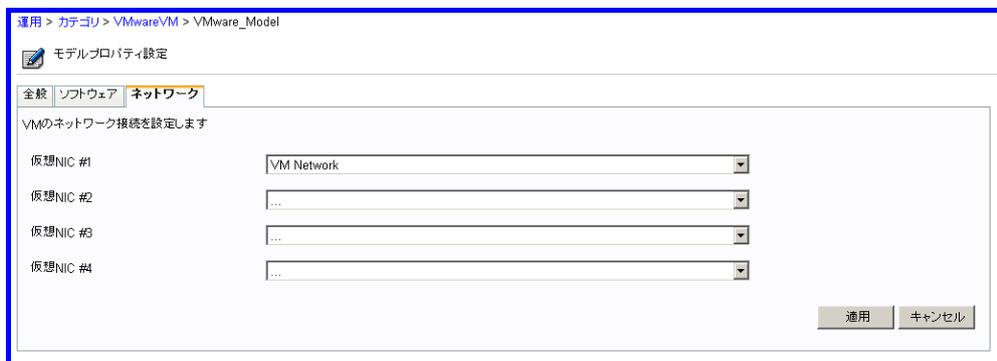


ソフトウェア追加	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[OK]	ソフトウェア追加情報を保存し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

注: 仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

4.7.5. [ネットワーク] タブ (仮想マシンの場合)

仮想マシンのネットワーク接続を表示、設定します。



ネットワーク	
仮想 NIC #1	仮想マシンが接続する仮想ポートを選択します。"... " を選択すると任意の仮想ポートグループが入力できます。
仮想 NIC #2	仮想マシンが接続する仮想ポートを選択します。"... " を選択すると任意の仮想ポートグループが入力できます。
仮想 NIC #3	仮想マシンが接続する仮想ポートを選択します。"... " を選択すると任意の仮想ポートグループが入力できます。
仮想 NIC #4	仮想マシンが接続する仮想ポートを選択します。"... " を選択すると任意の仮想ポートグループが入力できます。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.7.6. [VM 最適配置] タブ (仮想マシンサーバの場合)

仮想マシンサーバの VM 最適配置を表示、設定します。

VM 最適配置	
VM 最適配置を有効にする	仮想マシンの最適配置を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。
高負荷境界	高負荷境界の割合を入力します。[VM最適配置を有効にする] チェックボックスがオンの場合のみ入力できます。既定値は (60) です。
稼動目標域	稼動目標の範囲を入力します。[VM最適配置を有効にする] チェックボックスがオンの場合のみ入力できます。既定値は (10~50) です。
低負荷境界	低負荷境界の割合を入力します。[VM最適配置を有効にする] チェックボックスがオンの場合のみ入力できます。既定値は (5) です。
マシン台数	予備のマシン台数を指定します。「0~9」の範囲で選択できます。[VM最適配置を有効にする] チェックボックスがオンの場合のみ入力できます。
[適用]	モデルプロパティ設定情報を適用します。
[キャンセル]	モデルプロパティ設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.8. ホストの詳細情報

ホストの詳細情報を表示します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから [ホスト名] をクリックすると、メインウィンドウにホストの詳細情報が表示されます。

The screenshot displays the host details for 'OLIVE' in the SigmaSystemCenter 2.0 application. The interface is divided into several sections:

- 運用 > Group1 > OLIVE**: Breadcrumb navigation at the top.
- 基本情報**: Basic information table.
- 運用情報**: Operational status table.
- 設定**: Configuration dropdown menu.
- 操作**: Action menu with options like Start, Stop, and Restart.

基本情報	
ホスト名	OLIVE
IPアドレス	自動取得
OS種別	Windows Server
プロダクトキー	

運用情報	
リソース	システムリソース/マシン/Group1/OLIVE12
サマリスステータス	正常
電源状態	On
稼働ステータス	On
OSステータス	On
ハードウェアステータス	正常
実行ステータス	-
ポリシー状態	全て有効
メンテナンスステータス	Off
所属モデル	Model1

設定: プロパティ

操作: 起動, 再起動, シャットダウン, サスペンド

ソフトウェア配布

ジョブ実行結果のリセット

故障状態の解除

メンテナンスオン

メンテナンスオフ

画面更新

基本情報	
ホスト名	ホスト名を表示します。
IP アドレス	ホストのIPアドレスを表示します。
OS 種別	ホストのOS種別を表示します。
プロダクトキー	ホストのプロダクトキーを表示します。

運用情報	
リソース	ホストで運用しているリソースを表示します。
サマリステータス	リソースのサマリステータスを表示します。
電源状態	リソースの電源状態を表示します。
稼働ステータス	リソースの稼働ステータスを表示します。
OS ステータス	リソースのOSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	リソースのハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	リソースの実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	リソースのポリシー状態を表示します。
メンテナンスステータス	リソースのメンテナンスステータスを表示します。
所属モデル	リソースの所属モデルを表示します。

4.9. ホスト設定

ホストの表示、設定を行います。

グループプロパティ設定の [ホスト] タブから [ホスト一覧] グループボックスのホストのプロパティのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに「ホスト設定」が表示されます。

もしくは、[運用] ツリーから運用グループのアイコンをクリックし、[ホスト一覧] グループボックスから [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [プロパティ] をクリックします。

4.9.1. [全般] タブ

ホスト全般に関する情報の表示、設定を行います。

運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GR... > OLIVE12

ホスト設定

全般 | ネットワーク | ストレージ | ソフトウェア

ホスト名

タグ

グループに設定されている管理者パスワードを使用する

ホストに設定されている管理者パスワードを使用する

Administratorのパスワード

プロダクトキー

全般	
ホスト名 (入力必須)	ホスト名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は63文字以内です。
タグ	タグ (キーワード) を表示し、編集もできます。入力できる文字数は100文字以内です。
グループに設定されている管理者パスワードを使用する	グループに設定されている管理者パスワードを使用する場合に選択します。
ホストに設定されている管理者パスワードを使用する	ホストに設定されている管理者パスワードを使用する場合に選択します。
Administrator のパスワード	Administratorのパスワードを表示し、編集もできます。[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、入力します。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。[ホストに設定されている管理者パスワードを使用する] が選択されている場合に限り、チェックボックスをオンにできます。
(テキストボックス)	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更がします。
プロダクトキー	プロダクトキーを表示し、編集もできます。
[適用]	ホスト設定情報を適用します。
[キャンセル]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.9.2. [ネットワーク] タブ

ホストのネットワークに関する情報の表示、設定を行います。

運用 > GroupA > OLIVE

✎ ホスト設定

全般 | **ネットワーク** | ストレージ | ソフトウェア

IPアドレスを設定してください。IPアドレスを設定しない場合、IPアドレス自動取得になります。

NIC #1	NIC #2	NIC #3	NIC #4	NIC #5	NIC #6	NIC #7				
<input type="checkbox"/>	追加 削除									
							IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	編集

管理用IPアドレス

戻る

ネットワーク	
NIC 番号	
(チェックボックス)	IPアドレスを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのIPアドレスが選択されます。
IP アドレス	IPアドレスを表示します。モデルの種別が [VMサーバ] の場合、NIC#1の1番目に登録されたIPアドレスが仮想マシンサーバのIPアドレスになります。NIC#1の2番目に登録されたIPアドレスは、VMotion用のIPアドレスとして設定されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示します。
編集	IPアドレス設定を編集します。[IPアドレス設定] グループボックスがNIC一覧の下部に表示されます。
追加	IPアドレス設定情報を追加します。NIC一覧の下部に [IPアドレス設定] グループボックスが表示されます。
削除	選択したIPアドレス設定情報をNIC一覧から削除します。
管理用 IP アドレス	<p>管理用IPアドレスを選択します。</p> <p>管理用IPアドレスが [なし] に設定されているホストは、ESMPRO/ServerManagerに自動登録されません。そのため、ESMPRO/ServerManagerによる障害の検出を契機とした障害復旧処理を行うことができません。</p> <p>SystemProvisioningは、本管理用IPアドレスを指定して管理対象マシンを自動的にESMPRO/ServerManagerに登録します。</p> <p>SystemMonitor性能監視は、ここで指定する管理用IPアドレスを取得し、SystemMonitor性能監視が監視対象マシンへ接続する際のアドレスとして使用することができます。設定方法については、「SystemMonitor性能監視ユーザーズガイド」の「4.1 監視対象マシンの指定」を参照してください。</p>
[戻る]	元のウィンドウに戻ります。

各 NIC タブの [追加] をクリックすると、NIC 一覧の下部に [IP アドレス設定] グループボックスが表示されます。

The screenshot shows a web-based configuration interface for a host. The breadcrumb path is '運用 > CATEGORY1 > CATEGORY1-1 > OPERATION GR... > OLIVE12'. The main section is titled 'ホスト設定' (Host Settings) and has tabs for '全般' (General), 'ネットワーク' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'ソフトウェア' (Software). The 'ネットワーク' tab is active. A message states: 'IPアドレスを設定してください。IPアドレスを設定しない場合、IPアドレス自動取得になります。' (Please set the IP address. If you do not set the IP address, IP address automatic acquisition will be used). Below this, there is a list of NICs (NIC #1 to NIC #7). The 'NIC #1' tab is selected. At the bottom of the NIC list, there is a '+追加' (Add) button and a '削除' (Delete) button. Below the NIC list, there is a '管理用IPアドレス' (Management IP Address) dropdown menu set to 'なし' (None). A '戻る' (Back) button is located to the right. A modal dialog titled 'IPアドレス設定' (IP Address Setting) is open, containing three input fields: 'IPアドレス' (IP Address), 'サブネットマスク' (Subnet Mask), and 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

IP アドレス設定	
IP アドレス	IPアドレスを表示し、編集もできます。モデルの種別が [VMサーバ] の場合、NIC#1の1番目に登録されたIPアドレスが仮想マシンサーバのIPアドレスになります。NIC#1の2番目に登録されたIPアドレスは、VMotion用のIPアドレスとして設定されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを表示し、編集もできます。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを表示し、編集もできます。
[OK]	IPアドレス設定情報を保存し、追加したNICの一覧に表示します。
[キャンセル]	IPアドレス設定情報に保存せずに、[IPアドレス設定] グループボックスを閉じます。

4.9.3. [ストレージ] タブ

ホストのストレージに関する情報の表示、設定を行います。



ストレージ	
ストレージ一覧	
(チェックボックス)	ディスクアレイを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのディスクアレイが選択されます。
順番	順番を表示します。
ディスクアレイ	ディスクアレイを表示します。
ディスクボリューム	ディスクボリュームを表示します。
共有状態	共有状態を表示します。
HBA 番号	HBA番号を表示します。
[↑]	選択したホストに接続するストレージを1つ前に移動します。
[↓]	選択したホストに接続するストレージを1つ後に移動します。
追加	ディスクボリュームを追加します。[ストレージ一覧] グループボックスの下部に [ディスクボリューム設定] グループボックスが表示されます。
削除	選択したディスクアレイ設定情報を [ストレージ一覧] グループボックスから削除します。
[適用]	ホスト設定情報を適用します。
[キャンセル]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ストレージ一覧] グループボックスの下部に [ディスクボリューム設定] グループボックスが表示されます。

ディスクボリューム設定	
HBA 情報	
<input checked="" type="radio"/> 全ての HBA に接続する	すべてのHBAに接続する場合には選択します。
<input type="radio"/> 接続する HBA を指定する	接続するHBAを指定する場合には選択します。
<input type="text"/> HBA 番号	HBA番号を入力します。[接続するHBAを指定する] を選択している場合に限り、入力できます。
ディスクアレイ	ディスクアレイを選択します。
ディスクボリューム	ディスクボリュームを選択します。
[OK]	ディスクボリューム設定情報を保存し、[ストレージ一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ディスクボリューム設定情報を保存せずに、[ディスクボリューム設定] グループボックスを閉じます。

4.9.4. [ソフトウェア] タブ

ホストのソフトウェアに関する情報の表示、設定を行います。



ソフトウェア	
ソフトウェア一覧	
ソフトウェアの種類	ソフトウェアの種類を、稼働時・グループ配布前 / 稼働時・配布 / 稼働時・グループ配布後 / 待機時・グループ配布前 / 待機時・配布 / 待機時・グループ配布後から選択します。
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
<u>追加</u>	ソフトウェアを追加します。[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。
<u>削除</u>	選択したソフトウェア情報を [ソフトウェア一覧] グループボックスから削除します。
[適用]	ホスト設定情報を適用します。
[キャンセル]	ホスト設定情報を適用せずに、元のウィンドウに戻ります。

[追加] をクリックすると、[ソフトウェア一覧] グループボックスの下部に [ソフトウェア追加] グループボックスが表示されます。



ソフトウェア追加	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[OK]	ソフトウェア追加情報を保存し、[ソフトウェア一覧] グループボックスに表示します。
[キャンセル]	ソフトウェア追加情報を保存せずに、[ソフトウェア追加] グループボックスを閉じます。

注：仮想マシンのテンプレートは、ある仮想マシンサーバに登録されているテンプレートが利用できない場合に、別の仮想マシンサーバに登録されているテンプレートを利用するように複数のテンプレートを設定しておくことができます。設定するテンプレートは同じイメージのテンプレートを設定してください。

4.10. 運用グループへのメニュー操作

運用グループで使用する操作に関するメニューについて説明します。

4.10.1. スケールアウト

「スケールアウト」は、運用グループプールで待機しているマシンを 1 台稼働します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [スケールアウト] をクリックすると、運用グループプールで待機していたマシンが稼働を開始し、[ホスト一覧] グループボックスに表示されます。

4.10.2. スケールイン

「スケールイン」は、稼働しているマシンを 1 台プールに待機させます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [スケールイン] をクリックすると、[ホスト一覧] グループボックスで稼働していたマシンがプールに待機し、[リソースプール] グループボックスに表示されます。

4.10.3. プールに追加

「プールに追加」は、管理対象マシンをプールマシンとして追加します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [プールに追加] をクリックすると、メインウィンドウに「プールに追加」が表示されます。

注: SIGMABLADE マシンをプールに追加する場合、対象の SIGMABLADE マシンを DPM に登録しておく必要があります。DPM に登録されていない場合、正常に動作しません。また、DPM にマシンを登録したあと、SigmaSystemCenter から収集を行ってください。



プールに追加

追加したいマシンを選択してください。

表示件数	管理対象マシンの表示件数を選択できます。
モデル	モデルを選択します。
(チェックボックス)	管理対象マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての管理対象マシンが選択されます。
名前	管理対象マシンのマシン名を表示します。
種別	管理対象マシンの種別を表示します。
状態	管理対象マシンの状態を表示します。
電源	管理対象マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	管理対象マシンのMACアドレスを表示します。
≤	前のページのマシン一覧に遷移します。
≥	次のページのマシン一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。
[OK]	プールに管理対象マシンを追加し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	プールに管理対象マシンを追加せずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.4. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド

マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、ホストにリソースが割り当てられているすべてのマシンの電源を操作することができます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンの電源を操作することができます。

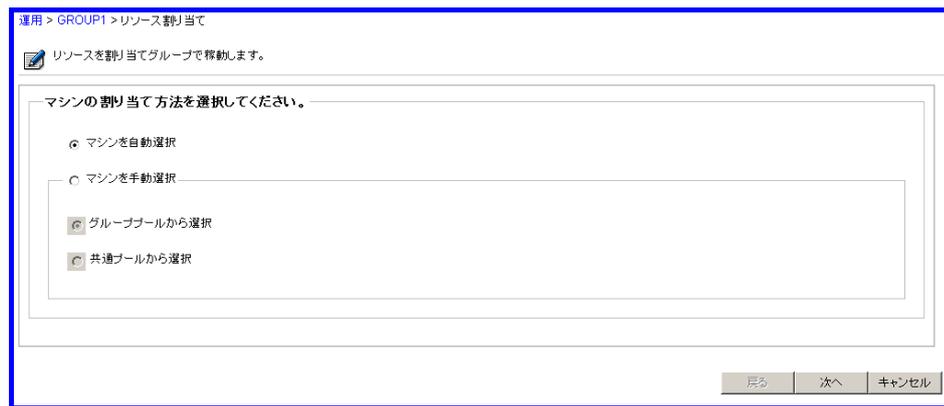
注: SIGMABLADE controller 経由で登録された SIGMABLADE マシンは、DPM に登録されていない場合、一部の電源操作が行えません。SIGMABLADE マシンを DPM に登録し、SigmaSystemCenter で収集を行った後、電源操作をしてください。

4.10.5. リソース割り当て

「リソース割り当て」は、ホストにリソースを割り当てを行い、グループにマシンを登録します。
 [運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからリソースを割り当てるホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [リソース割り当て] をクリックすると、メインウィンドウに「リソースを割り当てグループで稼働します」が表示されます。

注:

- ・ [ホスト一覧] グループボックスから複数のホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [リソース割り当て] をクリックすると、「リソースを割り当てグループで稼働します」が表示されずに、リソースが割り当てられます。
- ・ SIGMABLADE マシンに対して本操作を行う場合、対象の SIGMABLADE マシンを DPM に登録しておく必要があります。DPM に登録されていない場合、正常に動作しません。また、DPM にマシンを登録したあと、SigmaSystemCenter から収集を行ってください。



リソースを割り当てグループで稼働します。	
マシンの割り当て方法を選択してください。	
マシンを自動選択	割り当てるリソースを自動で選択させる場合に選択します。
マシンを手動選択	割り当てるリソースを手動で選択する場合に選択します。
グループプールから選択	グループプールから手動で選択する場合に選択します。
共通プールから選択	共通プールから手動で選択する場合に選択します。
[戻る]	このウィンドウではクリックできません。
[次へ]	次のウィンドウに移動します。
[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、[マシンを手動選択] を選択した場合、以下のウィンドウが表示されます。

リソースを割り当てグループで稼働します。	
追加したいマシンを選択してください。	
表示件数	マシンの表示件数を選択します。
モデル	使用するモデルを選択します。
選択	リソースに割り当てるマシンを選択します。
名前	マシン名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
≤	前のページのマシン一覧に遷移します。
≥	次のページのマシン一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのマシン一覧に遷移します。
(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[次へ]	次のウィンドウに移動します。
[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、以下の確認ウィンドウが表示されます。

運用 > GROUP1 > リソース割り当て

リソースを割り当てグループで稼働します。

下記設定でマシンを稼働します。

ホスト	HOST1
マシン	OLIVE12
モデル	MODEL1

戻る 完了 キャンセル

リソースを割り当てグループで稼働します。	
下記設定でマシンを稼働します。	
ホスト	リソースを割り当てるホスト名を表示します。
マシン	稼働するマシン名を表示します。
モデル	モデル名を表示します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[完了]	リソース割り当てを行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	リソース割り当てを行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.6. 新規リソース割り当て

「新規リソース割り当て」は、テンプレートから仮想マシンを作成し、グループにマシンを登録します。

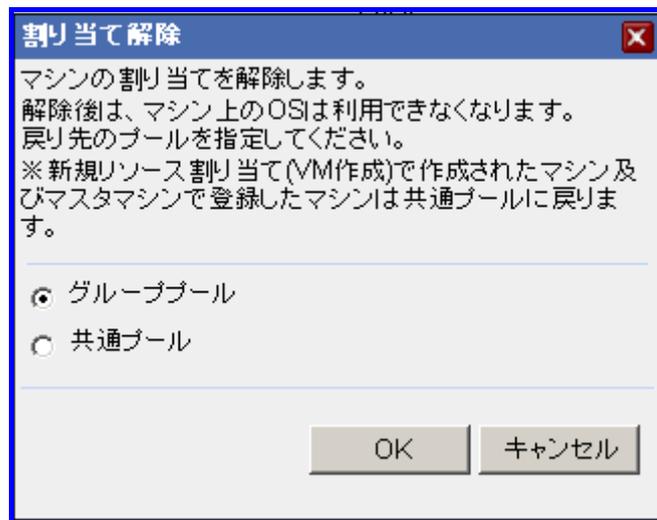
[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから新規リソース割り当てを行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [新規リソース割り当て] をクリックすると、メインウィンドウに「新規リソース割り当て」が表示されます。

新規リソース割り当て	
モデルを選択してください	仮想マシンを作成するモデルを選択します。
VM サーバを自動選択する	作成先仮想マシンサーバ、仮想マシン名、Datastoreが自動で選択され、仮想マシンを作成します。
VM サーバを指定する	仮想マシンサーバ、仮想マシン名、Datastoreを指定し、仮想マシンを作成します。
VM サーバ	仮想マシンサーバを選択します。
VM 名	仮想マシン名を入力します。入力できる文字数は80文字以内です。
作成先データストア	作成先Datastoreを選択します。Datastoreは省略できます。
[OK]	仮想マシンの作成を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンの作成を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.7. 割り当て解除

割り当て解除を行います。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから割り当てを解除するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [割り当て解除] をクリックします。「割り当て解除」ダイアログボックスが表示されます。グループプールに戻るか共通プールに戻るか選択します。新規リソース割り当てで作成されたマシンおよびマスタマシンで登録したマシンは共通プールに戻ります。



4.10.8. マスタマシン登録

「マスタマシン登録」は、マスタマシンの登録を行います。SigmaSystemCenter では、ネットワーク設定やソフトウェアのインストールなどが完了しており、そのまま運用に使用できるマシンを“マスタマシン”と呼びます。また、ソフトウェアの配布やネットワーク設定を行わずにマスタマシンをグループで稼動することを“マスタマシン登録”と呼びます。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマスタマシン登録するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マスタマシン登録] をクリックすると、メインウィンドウに「マスタマシンを登録してグループで稼動します。」が表示されます。

注: SIGMABLADE マシンに対して本操作を行う場合、対象の SIGMABLADE マシンを DPM に登録しておく必要があります。DPM に登録されていない場合、正常に動作しません。また、DPM にマシンを登録したあと、SigmaSystemCenter から収集を行ってください。

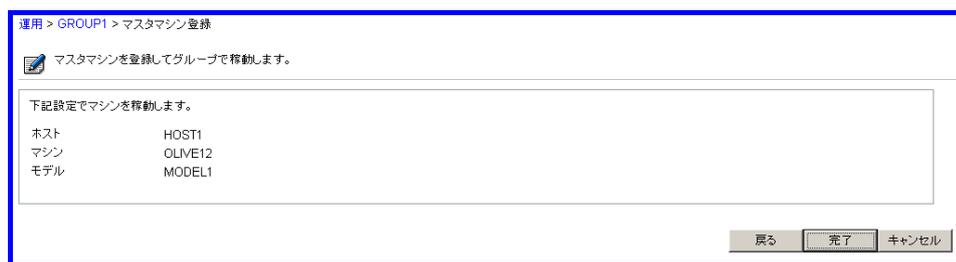
マスタマシンを登録してグループで稼動します。

追加したいマシンを選択してください。

表示件数	管理対象マシンの表示件数を選択できます。
モデル	モデルを選択します。
選択	マスタマシンに登録するマシンを選択します。
名前	マシン名を表示します。
種別	マシンの種別を表示します。
状態	マシンの状態を表示します。
電源	マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	マシンのMACアドレスを表示します。
≦	前のページのマシン一覧に遷移します。
≧	次のページのマシン一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのマシン一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのマシン一覧に遷移します。

	(テキストボックス)	マシン一覧のページを指定します。
	<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたマシン一覧のページに遷移します。
[戻る]		このウィンドウではクリックできません。
[次へ]		次のウィンドウへ移動します。
[キャンセル]		マスタマシン登録を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

[次へ] をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



マスタマシンを登録してグループで稼働します。	
下記設定でマシンを稼働します。	
ホスト	マスタマシンを登録するホスト名を表示します。
マシン	稼働するマシン名を表示します。
モデル	モデル名を表示します。
[戻る]	前のウィンドウに移動します。
[完了]	マスタマシン登録を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マスタマシン登録を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.9. マシンの置換

「マシンの置換」は、運用グループの稼働中のマシンとプールマシンを置換します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマシンの置換を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マシンの置換] をクリックすると、マシンが置換されます。

注:

- ・ グループプロパティ設定の [全般] タブにて、[マシン置換でCPUBlade置換を優先的に実行する] チェックボックスがオンに設定されている場合、SIGMABLADEマシンに対して、利用中のIO仮想化ブレードを引き継いだ置換 (CPUブレードのみの置換) が優先的に実行されます。CPUブレード置換先となるマシンが見つからない場合は通常のマシンの置換となります。グループプロパティ設定の [全般] タブについては、「4.6.1 [全般] タブ」を参照してください。
 - ・ 仮想マシンサーバおよび仮想マシンの置換を行うことはできません。
-

4.10.10. マシンの用途変更

「マシンの用途変更」は、稼働マシンをプールマシンとして登録している他のグループの稼働マシンへ用途変更します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからマシンの用途変更を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [マシンの用途変更] をクリックすると、「マシンの用途変更」ダイアログボックスが表示されます。

注: VM サーバモデルの運用グループで稼働中の仮想マシンサーバは、物理モデルの運用グループに用途変更を行うことはできません。また、仮想マシンの用途変更はできません。



マシンの用途変更	
選択	用途変更先のグループを選択します。
グループ名	用途変更先候補のグループを表示します。
[OK]	マシンの用途変更を行い、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	マシンの用途変更を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.11. VM 移動

仮想マシンを別の仮想マシンサーバへ移動します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスから VM 移動を行うホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [VM 移動] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 移動」が表示されます。

VM 移動	
VM 名	仮想マシン名を表示します。編集はできません。
移動元 VM サーバ名	移動元の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
移動先 VM サーバ一覧	
選択	移動先仮想マシンサーバ名を選択します。
VM サーバ名	移動先候補の仮想マシンサーバ名を表示します。
状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバの使用量 / キャパシティを表示します。
IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
VM 数	仮想マシンサーバに作成されている仮想マシン台数を表示します。
VM 移動方法の指定 (選択必須)	

Hot Migration / Cold Migration を行います	Hot Migration / Cold Migrationを行う場合、チェックボックスをオンにします。電源オンの仮想マシンをHot Migration、電源オフの仮想マシンをCold Migrationで移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。VM移動後の電源状態はオンになります。
Move を行います	Moveを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンをシャットダウン後にディスクを含めて移動します。
Failover を行います	Failoverを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンサーバが障害などでダウンしている場合、仮想マシンを移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。VM移動後の電源状態はオンになります。
[OK]	仮想マシンを移動し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンを移動せずに、元のウィンドウに戻ります。

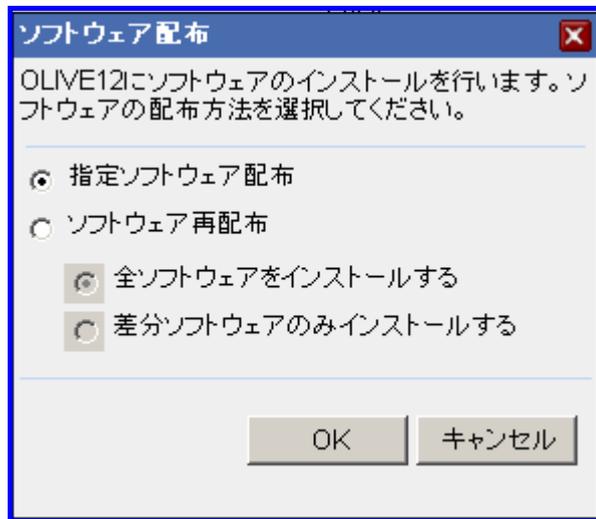
4.10.12. ソフトウェア配布 ([ホスト一覧] グループボックス)

「ソフトウェア配布」は、指定された単一のホストに指定されたソフトウェアを配布します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホスト一覧] グループボックスからソフトウェアを配布するホストのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [ソフトウェア配布] をクリックすると、「ソフトウェア配布」ダイアログボックスが表示されます。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホスト一覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ソフトウェア配布] をクリックします。

注: この操作はリソースが割り当てられていないホストに対しては、実行できません。



ソフトウェア配布	
指定ソフトウェア配布	指定ソフトウェアの配布を指定します。次のウィンドウへ遷移します。
ソフトウェア再配布	
全ソフトウェアをインストールする	既にインストールしているソフトウェアを含め、全ソフトウェアをインストールします。
差分ソフトウェアのみインストールする	差分ソフトウェアのみをインストールします。
[OK]	指定ソフトウェアの場合、次のウィンドウに遷移します。ソフトウェア再配布の場合、ソフトウェアの配布を行います。
[キャンセル]	ソフトウェアの配布をせずに、元のウィンドウに戻ります。

[指定ソフトウェア配布] を選択した場合、以下のウィンドウが表示されます。



指定ソフトウェア配布	
ソフトウェア一覧	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
[OK]	指定したソフトウェアの配布を行います。
[キャンセル]	指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.13. ソフトウェア配布 ([リソースプール] グループボックス)

対象のリソースに指定ソフトウェアの配布を行います。

[運用] ツリーから対象のグループのアイコンをクリックし、メインウィンドウにグループの詳細情報を表示します。[リソースプール] グループボックスからソフトウェアを配布するリソースのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [指定ソフトウェア配布] をクリックすると、メインウィンドウに「指定ソフトウェア配布」が表示されます。



指定ソフトウェア配布	
ソフトウェア一覧	
(チェックボックス)	ソフトウェアを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのソフトウェアが選択されます。
名前	ソフトウェア名を表示します。
[↑]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ前に移動します。
[↓]	選択した配布ソフトウェアの配布順序を1つ後に移動します。
[OK]	指定したソフトウェアの配布を行います。
[キャンセル]	指定したソフトウェアの配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.14. ソフトウェア再配布

「ソフトウェアの再配布」は、グループに所属するマシンへソフトウェアの再配布をします。
 [運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ソフトウェア再配布] をクリックすると、メインウィンドウに「ソフトウェアの再配布」が表示されます。



ソフトウェアの再配布	
差分情報	
マシン名	マシン名を表示します。
ソフトウェア名	配布済みソフトウェア名を表示します。
ソフトウェアの種類	ソフトウェアを配布するタイミングを表示します。
更新日時	ソフトウェアの更新日時を表示します。
グループへの配布方法の選択	
グループに所属するマシンへ一斉に配布します	グループに所属するマシンに一斉配布する場合に選択します。
グループに所属するマシンへシーケンシャルに配布します	グループに所属するマシンにシーケンシャル配布する場合に選択します。
ソフトウェアのインストール方法の選択	
全ソフトウェアをインストールする	すべてのソフトウェアをインストールする場合に選択します。
差分ソフトウェアのみインストールする	差分のあるソフトウェアのみインストールする場合に選択します。
[OK]	ソフトウェアの再配布を行います。
[キャンセル]	ソフトウェアの再配布を行わずに、元のウィンドウに戻ります。

4.10.15. ジョブ実行結果のリセット

SystemProvisioning は、何らかの理由によりポリシーによるアクションや Web コンソールの操作などからマシンの起動・停止など、アクションの実行に失敗するとリソースの状態を「異常終了」に設定します。「異常」となっているマシンに関してログの採取や障害原因を取り除いた後、ジョブ実行結果をリセットします。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホストー覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンのジョブ実行結果のリセットすることができます。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホストー覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [ジョブ実行結果のリセット] をクリックします。

4.10.16. 故障状態の解除

マシンのハードウェア状態を故障から正常に解除します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホストー覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスの [アクション] メニューから [故障状態の解除] をクリックすると、各グループボックスのチェックボックスがオンとなっているマシンの故障状態を解除することができます。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホストー覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [故障状態の解除] をクリックします。

4.10.17. メンテナンスオン / メンテナンスオフ

メンテナンスモードをオン、もしくはオフにします。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[ホストー覧] グループボックス、もしくは [リソースプール] グループボックスからメンテナンスモードに移行 / 解除するマシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックすると、メンテナンスモードがオン / オフになります。

もしくは、運用グループの詳細情報の [ホストー覧] グループボックスから対象のホストの [ホスト名] をクリックし、メインウィンドウにホストの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [メンテナンスオン]、もしくは [メンテナンスオフ] をクリックします。

4.10.18. プールから削除

プールから待機中のリソースを削除します。

[運用] ツリーから対象の運用グループのアイコンをクリックし、メインウィンドウに運用グループの詳細情報を表示します。[リソースプール] グループボックスからプールから削除するリソースのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [プールから削除] をクリックします。

5. 仮想

[仮想] ビューでは、SigmaSystemCenterの仮想マシンの管理を行います。

本章で説明する項目は以下の通りです。

• 5.1	[仮想] ビュー	194
• 5.2	[仮想] アイコン.....	194
• 5.3	仮想マネージャの詳細情報	195
• 5.4	データセンターの詳細情報	198
• 5.5	VMサーバの詳細情報.....	202
• 5.6	VMの詳細情報	208
• 5.7	仮想マシンサーバおよび仮想マシンへのメニュー操作.....	218

5.1. [仮想] ビュー

[仮想] ビューでは、SigmaSystemCenter で仮想マシンを管理することができます。
 タイトルバーの [仮想] をクリックすると、[仮想] ビューに切り替わります。

5.2. [仮想] アイコン

[仮想] アイコンでは、仮想マシンの管理を行います。
 [仮想] ツリーから [仮想] アイコンをクリックします。



仮想マネージャー一覧	
名前	仮想マシンサーバの名前を表示します。
種別	仮想マシンサーバの種別を表示します。
URL	仮想マシンサーバのURLを表示します。

5.3. 仮想マネージャの詳細情報

仮想マネージャの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マネージャのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マネージャの詳細情報が表示されます。

The screenshot shows a web-based interface for managing virtual machines. The main content area is titled '仮想 > snv-vm3' and contains several sections:

- 基本情報 (Basic Information):** A table with fields: アドレス (snv-vm3), 製品名 (VMware VirtualCenter), and バージョン (2.0.2).
- 稼働中VM一覧 (Running VM List):** A table with columns: VM名, VMサーバ名, コスト, 状態, 電源, IPアドレス, and MACアドレス. It lists VirtualMachine1 and VirtualMachine2.
- 未使用VM一覧 (Unused VM List):** A table with columns: VM名, VMサーバ名, コスト, 状態, 電源, MACアドレス, and 管理状態. It lists VirtualMachine3.
- テンプレート一覧 (Template List):** A table with columns: テンプレート名, 所属, コスト, Duplicate名, 格納場所, and 編集. It lists Template01 and Template02.

On the right side, there is a sidebar with '設定' (Settings) and '操作' (Actions) menus. The '操作' menu includes 'データセンター追加', '画面更新', and '収集'.

基本情報	
アドレス	仮想マネージャのアドレスを表示します。
製品名	仮想マネージャの製品名を表示します。
バージョン	仮想マネージャのバージョンを表示します。
稼働中 VM 一覧	
表示件数	稼働中仮想マシン一覧の表示件数を選択します。
VM 名	稼働中仮想マシン名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
コスト	稼働中仮想マシンのコストを表示します。
状態	稼働中仮想マシンの状態を表示します。
電源	稼働中仮想マシンの電源状態を表示します。
IP アドレス	稼働中IPアドレスを表示します。
MAC アドレス	稼働中仮想マシンのMACアドレスを表示します。
≦	前のページの稼働中VM一覧に遷移します。

≥	次のページの稼働中VM一覧に遷移します。
≤	先頭ページの稼働中VM一覧に遷移します。
≥	末尾ページの稼働中VM一覧に遷移します。
(テキストボックス)	稼働中VM一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定された稼働中VM一覧のページに遷移します。
未使用中 VM 一覧	
表示件数	未使用中仮想マシン一覧の表示件数を選択します。
VM 名	未使用仮想マシン名を表示します。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
コスト	未使用仮想マシンのコストを表示します。
状態	未使用仮想マシンの状態を表示します。
電源	未使用仮想マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	未使用仮想マシンのMACアドレスを表示します。
管理状態	未使用仮想マシンの管理状態を表示します。
≤	前のページの未使用中VM一覧に遷移します。
≥	次のページの未使用中VM一覧に遷移します。
≤	先頭ページの未使用中VM一覧に遷移します。
≥	末尾ページの未使用中VM一覧に遷移します。
(テキストボックス)	未使用中VM一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定された、未使用中VM一覧のページに遷移します。
テンプレート一覧	
表示件数	テンプレート一覧の表示件数を表示します。
(チェックボックス)	テンプレートを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのテンプレートが選択されます。
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
所属	テンプレートが保存されている仮想マシンサーバを表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
Duplicate 名	Duplicate名を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウへ遷移します。
削除	選択したテンプレートを削除します。
≤	前のページのテンプレート一覧に遷移します。

\geq	次のページのテンプレート一覧に遷移します。
\leq	先頭ページのテンプレート一覧に遷移します。
\geq	末尾ページのテンプレート一覧に遷移します。
(テキストボックス)	テンプレート一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたテンプレート一覧のページに遷移します。

5.4. データセンターの詳細情報

DataCenter の詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックすると、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報が表示されます。

基本情報	
名前	DataCenter名を表示します。
説明	DataCenterの説明を表示します。
VM サーバー一覧	
(チェックボックス)	仮想マシンサーバを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての仮想マシンサーバが選択されます。
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。
状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバのキャパシティを表示します。
IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
VM 数	仮想マシンサーバに登録している仮想マシンの台数を表示します。
<u>起動</u>	選択した仮想マシンサーバを起動します。
<u>再起動</u>	選択した仮想マシンサーバを再起動します。
<u>サスペンド</u>	選択した仮想マシンサーバをサスペンドします。
<u>シャットダウン</u>	選択した仮想マシンサーバをシャットダウンします。
テンプレート一覧	

表示件数	テンプレート一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	テンプレートを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのテンプレートが選択されます。
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
所属	テンプレートが保存されている仮想マシンサーバを表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
Duplicate 名	Duplicate名を表示します。
格納場所	テンプレートが保存されているDatastoreを表示します。
編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウへ遷移します。
削除	選択したテンプレートを削除します。
≤	前のページのテンプレート一覧に遷移します。
≥	次のページのテンプレート一覧に遷移します。
≤≤	先頭ページのテンプレート一覧に遷移します。
≥≥	末尾ページのテンプレート一覧に遷移します。
(テキストボックス)	テンプレート一覧のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたテンプレート一覧のページに遷移します。

5.4.1. データセンター追加

DataCenter を追加します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マネージャのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マネージャの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター追加] をクリックすると、メインウィンドウに「データセンター追加」が表示されます。

仮想 > 192.168.1.10 > 新規

データセンター追加

仮想マネージャ名 192.168.1.10

名前

説明

OK キャンセル

データセンター追加	
仮想マネージャ名	仮想マネージャ名を表示します。編集はできません。
名前 (入力必須)	DataCenter名を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
説明	DataCenterの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	DataCenter追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	DataCenter追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.4.2. データセンター編集

DataCenter を編集します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター編集] をクリックすると、メインウィンドウに「データセンター編集」が表示されます。

データセンター編集	
仮想マネージャ名	仮想マネージャ名を表示します。編集はできません。
名前 (入力必須)	DataCenter名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
説明	DataCenterの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
管理対象にする	チェックボックスをオンにすると、DataCenterが管理対象として登録されます。
[OK]	DataCenter編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	DataCenter編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.4.3. データセンター削除

DataCenter を削除します。

[仮想] ツリーから対象の DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウにデータセンターの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [データセンター削除] をクリックすると、削除されます。

5.5. VM サーバの詳細情報

仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報が表示されます。

仮想 > 192.168.40.4 > MNG > 192.168.40.211

基本情報	
マシン名	192.168.40.211
リソースパス	/システムリソース/マシン/machine/192.168.40.211
UUID	42096297-1600-0180-DC11-36CA80CF0BA2
キャパシティ値	100
使用量	10
マネージャURL	192.168.40.211
製品名	VMware ESX Server
バージョン	3.5.0
CPU種別	Intel(R) Xeon(R) CPU X5460 @ 3.16GHz
プロセッサ	3.2GHz x 4
メモリサイズ	16.0GB
説明	

設定	
VMサーバ編集	
VM作成(テンプレート)	

操作	
起動	
再起動	
サスペンド	
シャットダウン	
画面更新	

運用情報	
ホスト名	ESX-01
稼働グループ	/運用/VMS
サマリステータス	正常
電源状態	On
稼働ステータス	On
OSステータス	On
ハードウェアステータス	正常
実行ステータス	-
ポリシー状態	全て有効
メンテナンスステータス	Off
管理状態	管理中

稼働中VM一覧					
表示件数	20				
VM移動 起動 再起動 サスペンド シャットダウン					
VM名	コスト	状態	電源	IPアドレス	MACアドレス
<input type="checkbox"/> VPCC-01	10	正常	Running	192.168.40.171	00:50:56:95:68:63
VM移動 起動 再起動 サスペンド シャットダウン					

基本情報	
マシン名	仮想マシンサーバ名を表示します。
リソースパス	システムリソースのパスを表示します。
UUID	仮想マシンサーバのUUIDを表示します。
キャパシティ値	仮想マシンサーバで動作可能な仮想マシンのキャパシティ値を表示します。
使用量	仮想マシンサーバの使用量を表示します。
マネージャ URL	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
製品名	仮想マシンサーバの製品名を表示します。
バージョン	仮想マシンサーバのバージョンを表示します。

CPU 種別	仮想マシンサーバのCPUの種類を表示します。
プロセッサ	仮想マシンサーバのプロセッサを表示します。
メモリサイズ	仮想マシンサーバのメモリサイズを表示します。
説明	仮想マシンサーバの説明を表示します。
運用情報	
ホスト名	ホスト名を表示します。
稼働グループ	稼働グループを表示します。
サマリステータス	サマリステータスを表示します。
電源状態	電源状態を表示します。
稼働ステータス	稼働ステータスを表示します。
OS ステータス	OSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	ハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	ポリシー状態を表示します。
メンテナンスステータス	メンテナンスステータスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。
稼働中 VM 一覧	
表示件数	稼働中仮想マシンの表示件数を選択します。
(チェックボックス)	稼働中仮想マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての稼働中仮想マシンが選択されません。
VM 名	稼働中仮想マシン名を表示します。
コスト	稼働中仮想マシンのコストを表示します。
状態	稼働中仮想マシンの状態を表示します。
電源	稼働中仮想マシンの電源状態を表示します。
IP アドレス	固定IPアドレスの場合、IPアドレスを表示します。DHCPの場合は表示されません。
MAC アドレス	稼働中仮想マシンのMACアドレスを表示します。
<u>VM 移動</u>	選択した稼働中仮想マシンを移動します。
<u>起動</u>	選択した稼働中仮想マシンを起動します。
<u>再起動</u>	選択した稼働中仮想マシンを再起動します。
<u>サスペンド</u>	選択した稼働中仮想マシンをサスペンドします。
<u>シャットダウン</u>	選択した稼働中仮想マシンをシャットダウンします。
≤	前のページの稼働中VM一覧に遷移します。
≥	次のページの稼働中VM一覧に遷移します。

≤	先頭ページの稼働中VM一覧に遷移します。
≥	末尾ページの稼働中VM一覧に遷移します。
(テキストボックス)	稼働中VM一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定された稼働中VM一覧のページに遷移します。

未使用VM一覧

表示件数 | VM削除 | テンプレート作成 | VM移動 | 起動 | シャットダウン |

<input type="checkbox"/>	VM名	コスト	状態	電源	MACアドレス	管理状態
<input type="checkbox"/>	XP-01	0	正常	Off	00:50:56:95:33:61	管理中
<input type="checkbox"/>	XP-02	0	-	Off	00:50:56:95:40:2f	管理中

| VM削除 | テンプレート作成 | VM移動 | 起動 | シャットダウン |

テンプレート一覧

表示件数 | 削除 |

<input type="checkbox"/>	テンプレート名	コスト	Duplicate名	格納場所	編集
<input type="checkbox"/>	vista	10	vista	storage_share	
<input type="checkbox"/>	WinXP	10	WinXP	storage_share	

| 削除 |

データストア一覧

データストア名	番号	サイズ (MB)	タイプ
ESX-01: storage1	0	61952	Datastore
storage_share	0	135936	Datastore

ネットワーク一覧

ネットワーク名
Service Console
Virtual Machine Network 2
VMkernel

未使用 VM 一覧	
表示件数	未使用仮想マシン一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	未使用仮想マシンを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての未使用仮想マシンが選択されます。
VM 名	未使用仮想マシン名を表示します。
コスト	未使用仮想マシンのコストを表示します。
状態	未使用仮想マシンの状態を表示します。
電源	未使用仮想マシンの電源状態を表示します。
MAC アドレス	未使用仮想マシンのMACアドレスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。

VM 削除	選択した未使用仮想マシンを削除します。
テンプレート作成	選択した未使用仮想マシンからテンプレートを作成します。「テンプレート作成」ウィンドウに遷移します。
VM 移動	選択した未使用仮想マシンを移動します。
起動	選択した未使用仮想マシンを起動します。
シャットダウン	選択した未使用中仮想マシンをシャットダウンします。
≦	前のページの未使用VM一覧に遷移します。
≧	次のページの未使用VM一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページの未使用VM一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページの未使用VM一覧に遷移します。
(テキストボックス)	未使用VM一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定された未使用VM一覧のページに遷移します。
テンプレート一覧	
表示件数	テンプレート一覧の表示件数を選択します。
(チェックボックス)	テンプレートを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのテンプレートが選択されます。
テンプレート名	テンプレート名を表示します。
コスト	テンプレートのコストを表示します。
Duplicate 名	テンプレートに設定されているDuplicate名を表示します。
格納場所	テンプレートの格納場所を表示します。
編集	テンプレートを編集します。「テンプレート編集」ウィンドウに遷移します。
削除	選択したテンプレートを削除します。
≦	前のページのテンプレート一覧に遷移します。
≧	次のページのテンプレート一覧に遷移します。
≦≦	先頭ページのテンプレート一覧に遷移します。
≧≧	末尾ページのテンプレート一覧に遷移します。
(テキストボックス)	テンプレート一覧のページを指定します。
Go	テキストボックスに指定されたテンプレート一覧のページに遷移します。
データストア一覧	
データストア名	Datastore名を表示します。
番号	Datastoreの番号を表示します。
サイズ (MB)	Datastoreのサイズを表示します。
タイプ	Datastoreのタイプを表示します。

ネットワーク一覧	
ネットワーク名	ネットワーク名を表示します。

5.5.1. VM サーバ編集

仮想マシンサーバを編集します。

[仮想] ツリーから編集を行う仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに DataCenter の詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM サーバ編集] をクリックすると、メインウィンドウに「VM サーバ編集」が表示されます。

VM サーバ編集	
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
キャパシティ値	キャパシティ値を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	仮想マシンサーバ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンサーバ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.5.2. VM 作成 (テンプレート)

テンプレートから仮想マシンを作成します。仮想マシンはテンプレートを複製したものになります。

[仮想] ツリーから仮想マシン作成を行う仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 作成 (テンプレート)] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 作成 (テンプレート)」が表示されます。

仮想 > 192.168.1.10 > DC > 192.168.1.4 > VM作成(テンプレート)

✎ VM作成(テンプレート)

VMサーバ名: 192.168.1.4

VM名:

作成先データストア: SAN1

テンプレート: Template01

OK キャンセル

VM 作成 (テンプレート)

VM サーバ名	仮想マシン作成先の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
VM 名	作成する仮想マシン名を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”）、および半角空白、文字数は80文字以内です。
作成先データストア	仮想マシンを作成するDatastoreを選択します。
テンプレート	テンプレートを選択します。
[OK]	入力情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	入力情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.6. VMの詳細情報

仮想マシンの詳細情報を表示します。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンのアイコンをクリックすると、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報が表示されます。

仮想 > 192.168.40.4 > MNG > 192.168.40.211 > XP-01

基本情報	
VM名	XP-01
リソースパス	/システムリソース/マシン/machine/XP-01
データストア	storage_share
コスト値	0
CPU数	1
CPUシェア値	normal
メモリサイズ	256MB
メモリシェア値	normal
NIC数	1
OS名	Microsoft Windows XP Professional (32-bit)

設定	
VM編集	
VM削除	
テンプレート作成	

操作	
起動	
再起動	
サスペンド	
シャットダウン	
VM移動	
画面更新	

運用情報	
ホスト名	HostA
稼働グループ	/運用/GroupA
OS種別	Windows Server
サマリステータス	正常
電源状態	Off
稼働ステータス	On
OSステータス	On
ハードウェアステータス	正常
実行ステータス	-
ポリシー状態	全て有効
メンテナンスステータス	Off
管理状態	管理中
NIC1	Network Adapter 1
NIC2	
NIC3	
NIC4	

仮想ディスク一覧		
名前	タイプ	説明
[storage_share] XP-01/XP-01.vmdk	VMDK	

基本情報	
VM名	仮想マシン名を表示します。
リソースパス	リソースパスを表示します。
データストア	仮想マシンを作成しているDatastoreを表示します。
コスト値	仮想マシンのコスト値を表示します。
CPU数	仮想マシンの仮想CPU数を表示します。
CPUシェア値	仮想マシンのCPUのシェア値を表示します。
メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。
メモリシェア値	仮想マシンのメモリのシェア値を表示します。
NIC数	仮想マシンサーバのNIC数を表示します。
OS名	仮想マシンのOS名を表示します。
運用情報	
ホスト名	稼働中の場合、仮想マシンのホスト名を表示します。
稼働グループ	稼働中の場合、稼働グループを表示します。
OS種別	稼働中の場合、稼働グループに設定されているOS種別を表示します。
サマリステータス	サマリステータスを表示します。
電源状態	電源状態を表示します。
稼働ステータス	稼働ステータスを表示します。
OSステータス	OSステータスを表示します。
ハードウェアステータス	ハードウェアステータスを表示します。
実行ステータス	実行ステータスを表示します。
ポリシー状態	ポリシーの設定状態を表示します。
メンテナンスステータス	メンテナンスステータスを表示します。
管理状態	管理状態を表示します。
NIC1	ネットワークアダプタ名を表示します。
NIC2	ネットワークアダプタ名を表示します。
NIC3	ネットワークアダプタ名を表示します。
NIC4	ネットワークアダプタ名を表示します。
仮想ディスク一覧	
名前	仮想ディスクが格納されているDatastoreを含めた名称を表示します。
タイプ	仮想ディスクの種類を表示します。
説明	仮想ディスクの説明を表示します。

5.6.1. VM 編集

仮想マシンを編集します。

[仮想] ツリーから編集を行う仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 編集] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 編集」が表示されます。

仮想 > 192.168.1.10 > DC > 192.168.1.4 > VirtualMachi...

VM編集

VMサーバ名 192.168.1.4

VM名 VirtualMachine10

コスト値 0

CPU情報

CPU数 1

CPUシェア値

高

普通

低

手動で設定する

メモリ情報

メモリサイズ 256 MB

メモリシェア値

高

普通

低

手動で設定する

OK キャンセル

VM 編集	
VM サーバ名	仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
VM 名	仮想マシン名を表示します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。VM名はシステムで一意となるように設定してください。
コスト値	仮想マシンのコスト値を表示します。「1～999999」の範囲で設定できます。
CPU 情報	
CPU 数	仮想マシンの仮想CPU数を表示します。仮想マシンサーバにより設定可能な値は変化します。
CPU シェア値	仮想マシンのシェア値を表示します。高、普通、低および数値で表示します。CPUシェア値を変更する場合は、該当する項目を選択します。数値で指定する場合は、「手動で設定する」を選択し、数値を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
メモリ情報	
メモリサイズ	仮想マシンのメモリサイズを表示します。仮想マシンサーバにより設定可能な値は変化します。
メモリシェア値	仮想マシンのメモリシェア値を表示します。高、普通、低および数値で表示します。CPUシェア値を変更する場合は、該当する項目を選択します。数値で指定する場合は、「手動で設定する」を選択し、数値を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。XenServerの仮想マシンの場合は、メモリシェア値は設定されません。
[OK]	仮想マシン編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシン編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.6.2. VM 移動

仮想マシンを別の仮想マシンサーバへ移動します。

[仮想] ツリーから移動する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [VM 移動] をクリックします。もしくは、仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[稼働中 VM 一覧] グループボックスおよび [未使用 VM 一覧] グループボックス内の移動する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[VM 移動] をクリックすると、メインウィンドウに「VM 移動」が表示されます。

仮想 > srv-vm3 > DC > 192.168.1.4 > VirtualMachine1 > VM移動

VM移動

VM名: VirtualMachine1

移動元VMサーバ名: 192.168.1.4

移動先VMサーバ一覧

選択	VMサーバ名	状態	電源	使用量/ キャパシティ	IPアドレス	VM数
<input type="radio"/>	192.168.1.6	正常	Running	0/200	192.168.1.6	4
<input type="radio"/>	192.168.1.7	正常	Running	11/200	192.168.1.7	4

VM移動方法の指定

Hot Migration/Cold Migrationを行います

Moveを行います

Failoverを行います

OK キャンセル

VM 移動	
VM 名	仮想マシン名を表示します。編集はできません。
移動元 VM サーバ名	移動元の仮想マシンサーバ名を表示します。編集はできません。
移動先 VM サーバ一覧	
選択	移動先仮想マシンサーバ名を選択します。
VM サーバ名	移動先候補の仮想マシンサーバ名を表示します。
状態	仮想マシンサーバの状態を表示します。
電源	仮想マシンサーバの電源状態を表示します。
使用量 / キャパシティ	仮想マシンサーバの使用量 / キャパシティを表示します。
IP アドレス	仮想マシンサーバのIPアドレスを表示します。
VM 数	仮想マシンサーバに作成されている仮想マシン台数を表示します。
VM 移動方法の指定 (選択必須)	
Hot Migration / Cold Migration を行います	Hot Migration / Cold Migrationを行う場合、チェックボックスをオンにします。電源オンの仮想マシンをHot Migration、電源オフの仮想マシンをCold Migrationで移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。VM移動後の電源状態はオンになります。
Move を行います	Moveを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンをシャットダウン後にディスクを含めて移動します。
Failover を行います	Failoverを行う場合、チェックボックスをオンにします。仮想マシンサーバが障害などでダウンしている場合、仮想マシンを移動します。仮想マシンが共有ディスク上に存在する場合有効です。VM移動後の電源状態はオンになります。
[OK]	仮想マシンを移動し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	仮想マシンを移動せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.6.3. VM 削除

仮想マシンを削除します。

[仮想] ツリーから削除する仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [VM 削除] をクリックします。もしくは、仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバ詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックス内の削除する仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [VM 削除] をクリックします。

5.6.4. テンプレート作成

テンプレートを作成します。

[仮想] ツリーからテンプレートの元となる仮想マシンのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンの詳細情報を表示します。[設定] メニューから [テンプレート作成] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート作成」が表示されます。

もしくは、対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[未使用 VM 一覧] グループボックスから対象の仮想マシンのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [テンプレート作成] をクリックします。

仮想 > 192.168.10.9 > Test_DataCenter > 192.168.10.17 > vm02 > 新規

テンプレート作成

テンプレート名

複製元VM名: vm02

コスト値

説明(255文字以内)

Duplicate名

VMサーバ: 192.168.10.17

格納場所: iStorageS500

[他のDuplicateからコピーする](#)

Windows設定/Linux設定: Windows Linux

名前

組織名

タイムゾーン: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

プロダクトキー

ライセンスモード: 同時接続サーバ数 接続クライアント

OK キャンセル

テンプレート作成	
テンプレート名 (入力必須)	テンプレートの名称を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
複製元 VM 名	指定したテンプレートの元となる仮想マシンを表示します。
コスト値	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する仮想マシンのコスト値を入力します。「1~999999」の範囲で設定できます。
説明 (255 文字以内)	テンプレートの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
Duplicate 名	テンプレートから仮想マシンを作成する場合に使用する情報 (Duplicate) につける名称を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
VM サーバ	作成先仮想マシンサーバを選択します。
格納場所	作成先Datastoreを選択します。
<u>他の Duplicate からコピーする</u>	既に別のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると、選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	テンプレートのOSの種類をWindowsもしくはLinuxから選択します。
Windows設定情報 (以下の項目は [OS設定選択] がWindowsの場合に限り選択 / 入力できます。)	
名前	使用するOSライセンスの所有者名を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
組織名	使用するOSライセンスの所有組織名を入力します。入力できる文字は半角英数字、記号 (“_”、“-”)、および半角空白、文字数は80文字以内です。
タイムゾーン	使用するタイムゾーンを選択します。
プロダクトキー	使用するOSライセンスのプロダクトキーを入力します。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	[同時接続ユーザ数]、もしくは [接続クライアント数] から選択します。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1~999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート作成情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート作成情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.6.5. テンプレート編集

テンプレートを編集します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウにいずれかの詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから [編集] をクリックすると、メインウィンドウに「テンプレート編集」が表示されます。

仮想 > 192.168.10.9 > Test_DataCenter > templateVM128

テンプレート編集

テンプレート名: templateVM128

コスト値: []

説明(255文字以内): []

Duplicate名: []

格納場所: iStorageS500

他のDuplicateからコピーする

Windows設定/Linux設定: Windows Linux

名前: []

組織名: []

タイムゾーン: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

プロダクトキー: []

ライセンスモード: 同時接続サーバ数 接続クライアント

OK キャンセル

テンプレート編集	
テンプレート名	テンプレートの名称を表示します。編集はできません。
コスト値	コスト値を表示し、編集もできます。「1～999999」の範囲で設定できます。
説明 (255 文字以内)	テンプレートの説明を表示し、編集もできます。入力できる文字数は255文字以内です。
Duplicate 名	Duplicate名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号（“_”、“-”）、および半角空白、文字数は80文字以内です。
格納場所	作成先Datastoreを表示します。

他の Duplicate からコピーする	既に別のテンプレートでDuplicate情報が登録されている場合、登録情報をDuplicate一覧として表示します。Duplicate一覧から選択した情報を選んで [OK] をクリックすると選択したDuplicateと同じ設定を反映します。
Windows 設定 / Linux 設定	テンプレートのOSの種類を表示し、変更もできます。
Windows設定情報（以下の項目は [OS設定選択] がWindowsの場合に限り選択 / 入力できます。）	
名前	OSライセンスの所有者名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号（“_”、“-”）、および半角空白、文字数は80文字以内です。
組織名	OSライセンスの所有組織名を表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字、記号（“_”、“-”）、および半角空白、文字数は80文字以内です。
タイムゾーン	タイムゾーンを表示し、変更もできます。
プロダクトキー	OSライセンスのプロダクトキーを表示し、編集もできます。入力できる文字は半角英数字のみです。入力は (XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX) 形式で入力します。
ライセンスモード	ライセンスモードを表示し、変更もできます。[同時接続ユーザ数] を選択する場合、テキストボックスにユーザ数を入力します。「1～999999」の範囲で設定できます。
[OK]	テンプレート編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	テンプレート編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

5.6.6. テンプレート削除

テンプレートを削除します。

[仮想] ツリーから仮想マネージャ、DataCenter、または仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウにいずれかの詳細情報を表示します。[テンプレート一覧] グループボックスから [削除] をクリックすると、削除されます。

5.7. 仮想マシンサーバおよび仮想マシンへのメニュー操作

仮想マシンサーバおよび仮想マシンに対する操作に関するメニューについて説明します。

5.7.1. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシンサーバ)

仮想マシンサーバの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバが所属する DataCenter のアイコンをクリックし、メインウィンドウに DataCenter の詳細情報を表示します。対象の仮想マシンサーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、仮想マシンサーバの電源を操作することができます。

もしくは、[仮想] ツリーから対象の仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[操作] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、仮想マシンサーバの電源を操作することができます。

5.7.2. 起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンド (仮想マシン)

仮想マシンの起動 / 再起動 / シャットダウン / サスペンドを行います。

仮想マシンサーバ上の稼働している単数および複数の仮想マシンの電源を操作するには、[仮想] ツリーから対象の仮想マシンが所属する仮想マシンサーバのアイコンをクリックし、メインウィンドウに仮想マシンサーバの詳細情報を表示します。[稼働中 VM 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、[再起動]、[シャットダウン]、もしくは [サスペンド] をクリックすると、グループボックスのチェックボックスがオンとなっている稼働仮想マシンの電源を操作することができます。

仮想マシンサーバ上の単数および複数の未使用仮想マシンの電源を操作するには、所属する仮想マシンサーバの詳細情報の [未使用 VM 一覧] グループボックスの [アクション] メニューから [起動]、もしくは [シャットダウン] をクリックすると、グループボックスのチェックボックスがオンとなっている未使用仮想マシンの電源を操作することができます。

注: 仮想マシンサーバの詳細情報からは、未使用仮想マシンの再起動およびサスペンドはできません。

6. 監視

[監視] ビューでは、SigmaSystemCenterの管理対象マシンの状態やログの参照および管理サーバの編集について説明をします。

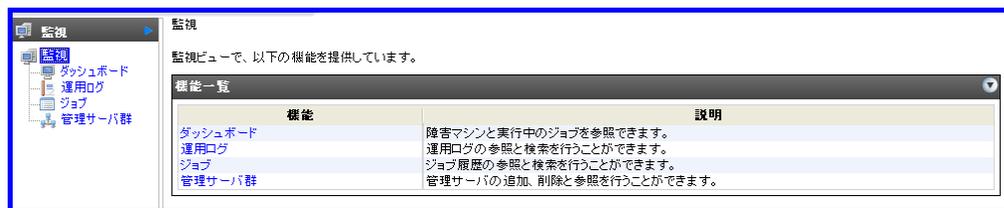
本章で説明する項目は以下の通りです。

• 6.1	[監視] ビュー	220
• 6.2	[ダッシュボード] アイコン	220
• 6.3	[運用ログ] アイコン	222
• 6.4	[ジョブ] アイコン	224
• 6.5	[管理サーバ群] アイコン	226

6.1. [監視] ビュー

[監視] ビューでは、SigmaSystemCenter の管理対象マシンの状態やログの参照および管理サーバの追加 / 削除することができます。

タイトルバーの [監視] をクリックすると、[監視] ビューに切り替わります。



6.2. [ダッシュボード] アイコン

障害マシンと実行中のジョブを参照します。ジョブを中断することもできます。

[監視] ツリーから [ダッシュボード] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにダッシュボードが表示されます。

初期表示は、24 時間以内に実行されたジョブが表示されます。自動更新も更新時間から 24 時間以内のジョブが表示されます。24 時間以上経過した完了（成功または失敗）ジョブは自動更新時に削除されます。

監視 > ダッシュボード

サマリ情報

障害リソース: 状態異常のマシンが0件あります
 ジョブリソース: 実行中のジョブが0件あります。失敗したジョブが0件あります
 更新日時: 2008/02/25 21:01:28

障害リソース

ホスト名	リソース	状態	電源	IPアドレス	MACアドレス
------	------	----	----	--------	---------

ジョブリソース | キャンセル |

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ジョブID	開始日時	状態	ソース	概要	進捗率
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00011	2008/02/25 20:46:46	Completed	Scheduler	automatic correctAll	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00010	2008/02/25 20:46:23	Completed	Scheduler	automatic RefreshAll	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00009	2008/02/25 20:45:54	Completed	ServiceModule	Start Service	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00008	2008/02/25 15:56:18	Completed	admin	CollectAll	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00007	2008/02/25 15:56:10	Completed	admin	CreateManager	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00006	2008/02/25 15:56:08	Completed	admin	CreateManager	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00005	2008/02/25 15:54:00	Completed	Scheduler	automatic correctAll	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00004	2008/02/25 15:53:58	Completed	Scheduler	automatic RefreshAll	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00003	2008/02/25 15:53:40	Completed	ServiceModule	Start Service	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00002	2008/02/25 15:38:27	Completed	ServiceModule	Start Service	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00001	2008/02/25 15:35:50	Completed	ServiceModule	Start Service	

| キャンセル |

サマリ情報	ジョブやリソースの障害件数、更新日時を表示します。
障害リソース	
ホスト名	障害リソースのホスト名を表示します。
リソース	障害リソースの名前を表示します。
状態	障害リソースの状態を表示します。
電源	障害リソースの電源状態を表示します。
IP アドレス	障害リソースのIPアドレスを表示します。
MAC アドレス	障害リソースのMACアドレスを表示します。
ジョブリソース	
(チェックボックス)	ジョブリソースを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべてのジョブリソースが選択されます。
ジョブ ID	ジョブIDを表示します。
開始日時	ジョブの開始日時を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。
ソース	ジョブを実行したユーザ名、またはシステムモジュール名を表示します。
概要	ジョブの内容を表示します。
進捗率	進捗率を表示します。
キャンセル	選択した実行中のジョブを中断します。

6.3. [運用ログ] アイコン

運用ログの参照と検索を行います。

[監視] ツリーから [運用ログ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに運用ログが表示されます。

初期表示は、3 日前の運用ログから 1000 件の運用ログを表示します。また、指定日時を指定した場合、指定日時から 1000 件まで運用ログを表示します。

監視 > 運用ログ

運用ログ

指定日時から、指定レベル以上の運用ログを1000件まで検索します。

開始日付 時刻 レベル

表示件数

日時	レベル	メッセージ
2008/02/25 20:46:46	通常	ジョブが正常終了しました。(Scheduler)
2008/02/25 20:46:24	通常	ジョブを開始します。(Scheduler) : 1
2008/02/25 20:46:13	通常	ジョブが正常終了しました。(ServiceModule)
2008/02/25 20:45:55	通常	ジョブを開始します。(ServiceModule) : 4
2008/02/25 20:45:54	通常	システムイベントを開始します。Start Service
2008/02/25 15:56:26	通常	ジョブが正常終了しました。(admin)
2008/02/25 15:56:19	通常	ジョブを開始します。(admin) : 1
2008/02/25 15:56:18	通常	CollectAll
2008/02/25 15:56:17	通常	ジョブが正常終了しました。(admin)
2008/02/25 15:56:10	通常	ジョブを開始します。(admin) : 1
2008/02/25 15:56:10	通常	ジョブが正常終了しました。(admin)
2008/02/25 15:56:08	通常	ジョブを開始します。(admin) : 1
2008/02/25 15:56:08	通常	AddManager(192.168.1.1)
2008/02/25 15:54:00	通常	ジョブが正常終了しました。(Scheduler)
2008/02/25 15:53:58	通常	ジョブを開始します。(Scheduler) : 1
2008/02/25 15:53:48	通常	ジョブが正常終了しました。(ServiceModule)
2008/02/25 15:53:40	通常	ジョブを開始します。(ServiceModule) : 4
2008/02/25 15:53:40	通常	システムイベントを開始します。Start Service
2008/02/25 15:38:43	通常	ジョブが正常終了しました。(ServiceModule)
2008/02/25 15:38:28	通常	ジョブを開始します。(ServiceModule) : 4

1 2 > >> / 2 Go

運用ログ	
開始日付	テキストボックスに日付を入力します。入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。"YYYY" は年、"MM" は月、"DD" は日を入力します。もしくは、テキストボックス横の  アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。入力もしくは選択後、[検索] をクリックすると、指定された日付以降の運用ログが表示されます。時刻を指定する場合は、併せて時刻を選択した後、レベルを指定する場合は、併せてレベルを選択した後、[検索] をクリックしてください。
時刻	時刻を選択します。選択後、[検索] をクリックすると、指定された時刻以降の運用ログが表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。
レベル	レベルを選択します。選択後、[検索] をクリックすると、指定されたレベルのログが表示されます。"通常" を選択した場合、通常レベルのログが表示されます。"詳細" を選択した場合、通常と詳細レベルのログが表示されます。"トレース" を選択した場合、すべてのレベルのログが表示されます。初期表示は、"通常" を表示します。
[検索]	開始日時と時刻、およびレベルの内容で運用ログを検索します。
表示件数	運用ログの表示件数を選択します。
日時	ログの日時を表示します。
レベル	ログのレベルを表示します。
メッセージ	ログのメッセージを表示します。
≤	前のページの運用ログに遷移します。
≥	次のページの運用ログに遷移します。
≤≤	先頭ページの運用ログに遷移します。
≥≥	末尾ページの運用ログに遷移します。
(テキストボックス)	運用ログのページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定された運用ログのページに遷移します。

6.4. [ジョブ] アイコン

ジョブ履歴の参照と検索を行います。

[監視] ツリーから [ジョブ] アイコンをクリックすると、メインウィンドウにジョブが表示されます。

初期表示は、1 日前までのジョブ履歴を表示します。

監視 > ジョブ

ジョブ履歴

指定した開始日付の指定時刻からのジョブを検索します。

開始日付 時刻

表示件数

	番号	開始日時	終了日時	状態	イベント	アクション名	概要
<input type="checkbox"/>	00011	2008/02/25 20:46:46	2008/02/25 20:46:47	Completed	SY00339		automatic correctAll
<input type="checkbox"/>	00010	2008/02/25 20:46:23	2008/02/25 20:46:46	Completed	SY00334		automatic RefreshAll
<input type="checkbox"/>	00009	2008/02/25 20:45:54	2008/02/25 20:46:13	Completed	SY00333		Start Service
<input type="checkbox"/>	00008	2008/02/25 15:56:18	2008/02/25 15:56:26	Completed	UC00082		CollectAll
<input type="checkbox"/>	00007	2008/02/25 15:56:10	2008/02/25 15:56:17	Completed	UC00079		CreateManager
<input type="checkbox"/>	00006	2008/02/25 15:56:08	2008/02/25 15:56:10	Completed	UC00078		CreateManager
<input type="checkbox"/>	00005	2008/02/25 15:54:00	2008/02/25 15:54:00	Completed	SY00044		automatic correctAll
<input type="checkbox"/>	00004	2008/02/25 15:53:58	2008/02/25 15:54:00	Completed	SY00043		automatic RefreshAll
<input type="checkbox"/>	00003	2008/02/25 15:53:40	2008/02/25 15:53:48	Completed	SY00042		Start Service
<input type="checkbox"/>	00002	2008/02/25 15:38:27	2008/02/25 15:38:43	Completed	SY00003		Start Service
<input type="checkbox"/>	00001	2008/02/25 15:35:50	2008/02/25 15:36:03	Completed	SY00002		Start Service

ジョブ履歴	
開始日付	テキストボックスに日付を入力します。入力は (YYYY/MM/DD) 形式で入力します。"YYYY" は年、"MM" は月、"DD" は日を入力します。もしくは、テキストボックス横の  アイコンをクリックすると表示されるカレンダーから日付を選択します。入力もしくは選択後、[検索] をクリックすると、指定された日付以降のジョブ履歴が表示されます。時刻を指定する場合は、併せて時刻を指定した後、[検索] をクリックしてください。
時刻	時刻を選択します。選択後、[検索] をクリックすると、指定された時刻以降のジョブ履歴が表示されます。初期表示は、現在の時間を表示します。
[検索]	開始日時と時刻の内容でジョブ履歴を検索します。
表示件数	ジョブ履歴の表示件数を選択します。
番号	ジョブ履歴の番号を表示します。
開始日時	ジョブの開始日時を表示します。
終了日時	ジョブの終了日時を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。
イベント	イベント管理番号を表示します。 SYxxxxx : システムモジュールにて実行されたイベント (定期収集など) UCxxxxx : Webコンソール、pvmutlコマンド、または SystemMonitorからの操作、実行されたイベント RExxxxx : 受信した、連携製品のイベント
アクション名	処理内容の詳細を表示します。
概要	ジョブの概要を表示します。
≤	前のページのジョブ履歴に遷移します。
≥	次のページのジョブ履歴に遷移します。
≤≤	先頭ページのジョブ履歴に遷移します。
≥≥	末尾ページのジョブ履歴に遷移します。
(テキストボックス)	ジョブ履歴のページを指定します。
<u>Go</u>	テキストボックスに指定されたジョブ履歴のページに遷移します。

6.5. [管理サーバ群] アイコン

管理サーバの追加、編集、削除および参照を行います。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックすると、メインウィンドウに [管理サーバ一覧] グループボックスが表示されます。



管理サーバ一覧	
(チェックボックス)	管理サーバを選択します。1行目のチェックボックスをオンにすると、すべての管理サーバが選択されます。
アドレス	管理サーバの名前を表示します。
状態	管理サーバとの通信状態を表示します。
正常	正常に動作している管理対象マシンの台数を表示します。
警告	警告を出している管理対象マシンの台数を表示します。
異常	異常を出している管理対象マシンの台数を表示します。
処理中	処理中の管理対象マシンの台数を表示します。
メンテナンス中	メンテナンス中の管理対象マシンの台数を表示します。
待機中 (プール)	待機中の管理対象マシンの台数を表示します。
合計	管理対象マシンの合計台数を表示します。
編集	管理サーバの編集を行います。「管理サーバ編集」ウィンドウに遷移します。
追加	管理サーバの追加を行います。「管理サーバ追加」ウィンドウに遷移します。
削除	選択した管理サーバを削除します。

6.5.1. 管理サーバ追加

管理サーバの追加を行います。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー
覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー覧] グループボックスから [追加] をクリ
ックすると、メインウィンドウに「管理サーバ追加」が表示されます。

監視 > 管理サーバ群 > 新規

管理サーバ追加

名前	<input type="text"/>
ホスト名	<input type="text"/>
ポート	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
アカウント名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>
説明	<input type="text"/>

OK キャンセル

管理サーバ追加	
名前 (入力必須)	管理サーバ名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
ホスト名 (入力必須)	管理サーバのホスト名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。
ポート (入力必須)	管理サーバのポート番号を入力します。管理サーバのポート番号の既定値は (26150) です。「1~65535」の範囲で設定できます。
URL	管理サーバのURLを入力します。ブラウザを起動して、指定された管理サーバのWebコンソールに接続します。
アカウント名 (入力必須)	SystemProvisioningのアカウント名を入力します。入力できる文字数は32文字以内です。別管理サーバとの通信、接続処理に必要なになります。
パスワード (入力必須)	アカウントのパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字以内です。別管理サーバとの通信、接続処理に必要なになります。
パスワード確認 (入力必須)	確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	管理サーバの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	管理サーバ追加情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	管理サーバ追加情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

6.5.2. 管理サーバ編集

管理サーバの編集を行います。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー
覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー覧] グループボックスから [編集] アイ
コンをクリックすると、メインウィンドウに「管理サーバ編集」が表示されます。

監視 > 管理サーバ群 > local

名前	local
ホスト名	localhost
ポート	26150
URL	http://localhost/Provisioning/
アカウント名	admin
<input type="checkbox"/> パスワード更新	
パスワード
パスワード確認
説明	

OK キャンセル

管理サーバ編集	
名前	管理サーバ名を表示します。編集はできません。
ホスト名 (入力必須)	管理サーバのホスト名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は32文字以内です。
ポート (入力必須)	管理サーバのポート番号を表示し、編集もできます。「1～65535」の範囲で設定できます。
URL	管理サーバのURLを表示し、編集もできます。
アカウント名 (入力必須)	アカウント名を表示し、編集もできます。入力できる文字数は32文字以内です。
パスワード更新	パスワードを更新する場合、チェックボックスをオンにします。
パスワード	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、パスワードの変更ができます。入力できる文字数は128文字以内です。
パスワード確認	[パスワード更新] チェックボックスがオンの場合に限り、確認のため再度同じパスワードを入力します。
説明	管理サーバの説明を入力します。入力できる文字数は255文字以内です。
[OK]	管理サーバ編集情報を保存し、元のウィンドウに戻ります。
[キャンセル]	管理サーバ編集情報を保存せずに、元のウィンドウに戻ります。

6.5.3. 管理サーバ削除

管理サーバを削除します。

[監視] ツリーから [管理サーバ群] アイコンをクリックし、メインウィンドウに [管理サーバー一覧] グループボックスを表示します。[管理サーバー一覧] グループボックスから削除する管理サーバのチェックボックスをオンにし、[アクション] メニューから [削除] をクリックすると、削除されます。

セクション II Web コンソール以外の設定

このセクションでは、SigmaSystemCenter の Web コンソール以外の画面説明を記載します。

- 7 構成情報管理 235

7. 構成情報管理

SystemProvisioningで管理するシステムリソースの情報を格納するデータベース (構成情報データベース) に関する設定について説明します。

本章で説明する項目は以下の通りです。

- 7.1 構成情報管理 235

7.1. 構成情報管理画面

SystemProvisioning で管理するシステムリソースの情報を格納するデータベース (構成情報データベース) に関する設定を行います。SystemProvisioning のインストールディレクトリ %bin 配下の PvmConfig.exe から構成情報管理画面を起動します。

注: 設定内容を変更した場合は、SystemProvisioning を再起動してください。

構成情報管理	
ホスト名	SystemProvisioningの構成情報データベースが動作するホスト名を入力します。 ローカルマシンを使用する場合は "(local)" を指定してください。 入力できる文字は記号を含む半角英数字、文字数は256文字以内です。
インスタンス名	SystemProvisioningの構成情報データベースのインスタンス名を指定します。 SQL Server 2005のセットアップで作成したインスタンス名です。 SystemProvisioningで使用するインスタンス名の既定値は (SSCCMDB) です。 入力できる文字は記号を含む半角英数字、文字数は256文字以内です。

Windows 認証ログインを使用する	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするときに、Windows統合認証を使用する場合は、オンにします。 ネットワークユーザのセキュリティ属性を使用して、ログオンセキュリティをWindows 2000またはWindows 2003と統合し、ログオンアクセスを制御します。ユーザのネットワークセキュリティ属性はネットワークログオン時に確立され、Windowsドメインコントローラにより検証されます。
SQL 認証ログインを使用する	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするときに、SQL認証を使用する場合は、オンにします。 特定のアカウント名とパスワードを使用して信頼関係接続以外で接続すると、SQL Server 2005は、指定したパスワードと一致するパスワードでSQL Serverログオンアカウントがセットアップされているかどうかを調べて認証を行います。SQL Server 2005にログオンアカウントが設定されていない場合は、認証が失敗します。
アカウント名	SystemProvisioningの構成情報データベースにアクセスするためのアカウントを入力します。アカウントは、SQL Server 2005のシステム管理者である必要があります。 システム管理者アカウントの既定値は (sa) です。 入力できる文字は記号を含む半角英数字、文字数は256文字以内です。
パスワード	SystemProvisioningの構成情報データベースへアクセスするためのパスワードを入力します。SQL Server 2005にあらかじめ登録されているアカウント名に対するパスワードを指定します。 入力できる文字は記号を含む半角英数字、文字数は256文字以内です。
パスワード (確認用)	確認のため再度同じパスワードを入力します。 入力できる文字は記号を含む半角英数字、文字数は256文字以内です。
[接続確認]	SystemProvisioningの構成情報データベースに接続確認を行います。
[保存]	接続確認が実施されます。成功した場合は、保存確認メッセージが表示され、[はい(Y)] をクリックすると構成情報管理の変更を保存し、ダイアログを閉じます。[いいえ(N)] をクリックすると、元のダイアログに戻ります。
[閉じる]	構成情報管理の変更を保存せずに、ダイアログを閉じます。